



Galaxy S20+ 5G

SC-52A

取扱説明書

はじめに

「SC-52A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「取扱説明書」
- 初めてご利用になる際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



Wi-Fiの
使いかた

「Wi-Fi」を
説明書アプリで
調べます。



■「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

お知らせ

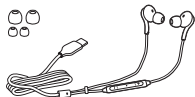
- 本書においては、「SC-52A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
本書は端末カラーが「Cosmic Gray」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

■ SC-52A 本体



■ AKG チューニングマイク付き高品質イヤホン (USB Type-C) (試供品)、イヤホンチップ (試供品)



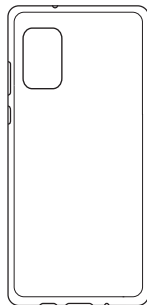
■ SIM 取り出しツール (試供品)



■ データ移行用試供品 (USB ケーブル (C to C))



■ クリアケース (試供品)



■ クイックスタートガイド

■ ご利用にあたっての注意事項

■ データ移行用試供品取扱説明書

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

本体付属品	1
注意事項	
本端末のご利用について	4
おすすめ機能	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	5
取り扱い上のご注意	14
防水／防塵性能	18
ご使用前の準備	
各部の名称と機能	21
ドコモ nanoUIM カード	22
microSD カード	25
充電	28
電源を入れる／切る	31
初期設定	32
本端末で利用する暗証番号について	33
基本操作	
基本操作	34
便利な機能	37
文字入力	39
画面表示とアイコン	42
最近使用したアプリの一覧	44
分割画面表示を利用する	45
ホーム画面	
ホームアプリの切り替えかた	46
docomo LIVE UX	46
エッジスクリーン	52
One UI ホーム	54
アプリ画面	56
アプリ一覧	57
電話／電話帳	
電話をかける	60
電話を受ける	62
通話中の操作	63
通話履歴	64
伝言メモ	65
国際電話（WORLD CALL）を利用する	65
通話設定	66
電話帳	69
メール／ウェブブラウザ	
ドコモメール	72

+メッセージ	72
Eメール	75
Gmail	77
緊急速報「エリアメール」	78
ウェブブラウザ	79

カメラ／ギャラリー

カメラ	83
ギャラリー	91

アプリ

dメニュー	93
dマーケット	93
Playストア	94
Galaxy Store	94
おサイフケータイ	95
iDアプリ	97
GPS／ナビ	97
時計	98
カレンダー	99
Galaxy Notes	100
ボイスレコーダー	101
電卓	102
ドコモデータコピー	102
S Health	103

本体設定

設定メニュー	104
接続	105
サウンドとバイブ	110
通知	112
ディスプレイ	113
壁紙	114
テーマ	114
ロック画面	115
生体認証とセキュリティ	116
プライバシー	120
アカウントとバックアップ	121
ドコモのサービス／クラウド	122
Google™	123
デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール	124
デバイスケア	124
アプリ	126
一般管理	127
ユーザー補助	128
ソフトウェア更新	130
ヒント	131
端末情報	131

ファイル管理	
ストレージ構成	132
ファイル操作	132
データ通信	
Bluetooth® 通信	134
NFC 通信	135
外部機器接続	
パソコンとの接続	136
プリンターとの接続	138
その他の機器との接続	138
海外利用	
国際ローミング (WORLD WING) の概要	139
海外で利用可能なサービス	139
海外でご利用になる前に	140
滞在先で電話をかける／受ける	141
国際ローミングの設定	143
帰国後の確認	144
付録	
試供品	145
トラブルシューティング (FAQ)	146
ソフトウェアアップデート	150
保証とアフターサービス	151
あんしん遠隔サポート	153
主な仕様	153
携帯電話機の電波防護への適合性について	155
輸出入管理規制	159
知的財産権	159
SIM ロック解除	160
索引	
索引	161

注意事項

本端末のご利用について

- ・本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞かれません。
- ・本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださいようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上ご利用ください。
- ・本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- ・microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ・紛失に備え、画面ロックのパスワードなどを設定し本端末のセキュリティを確保してください（P.115）。
- ・万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- ・Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ・利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ・アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ・ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

カメラ機能

■ マルチカメラシステム

超広角カメラ、広角カメラ、望遠カメラの3つを使って、さまざまな角度で撮影できます。→ P.83

■ インテリジェントカメラ

カメラが自動的に撮影対象を認識し、最適な写真撮影ができます。→ P.89

■ ライブフォーカス／ライブフォーカス動画

背景をぼかして静止画や動画を撮影できます。→ P.89

■ シングルテイク

一度の撮影で、さまざまな静止画や動画が自動生成されます。→ P.87

■ ARゾーン

ARを使った機能が利用できます。→ P.90

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※ ² ）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※ ³ ）の発生が想定される」内容です。

- ※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

→ P.18「防水／防塵性能」

 水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→ P.18「防水／防塵性能」

 本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む

 本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」



指示

オプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



禁止

ワイヤレスチャージャーや本端末に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ワイヤレスチャージャーと本端末の間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。

・本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレーク設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイや SIM 取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモ nanoUIM カードや microSD カードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

! 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
指示 電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

! ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
指示 また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

! 心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
指示 突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
指示 電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

! ディスプレイ部や背面パネル、カメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
指示 破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
指示 漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

! ベットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
指示 内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

! モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
禁止 けがなどの事故の原因となります。

! ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
禁止 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

! 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
禁止 火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

! 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
禁止 目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

! ドコモ nanoUIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。
指示 SIM 取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。

! 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
指示 車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

! 本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
指示 お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P.12 「材質一覧」

! 本端末の受話口／スピーカー部、リアカメラ部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
指示 付着物により、けがなどの原因となります。

! ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
指示 暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠ 警告

-  アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
-  DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
-  雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。
禁止 感電などの原因となります。
-  コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
-  アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
-  コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。
-  ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
禁止 発火、発熱、感電などの原因となります。
-  本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。
禁止 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手でアダプタのコードや充電端子、ワイヤレスチャージャー、電源プラグに触れないでください。
濡れ手禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。
また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

禁止 やけどなどの原因となります。

4. ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて

⚠ 注意



ドコモ nanoUIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

指示 切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
サイドキー、音量UPキー／音量DOWNキー	アルミニウム	陽極酸化
ディスプレイ（タッチスクリーン）	ガラス	AFコーティング
保護シート	PET フィルム	AFコーティング
受話口／スピーカー	アルミニウム	陽極酸化
USB Type-C接続端子	コルソン合金	金メッキ
USB Type-C接続端子周辺部	PBT-GF45%	－
スピーカー	アルミニウム	陽極酸化
外装ケース（側面、上部、下部）	アルミニウム	陽極酸化
スリット	PBT-GF45%	－
ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイ	PC	黒印刷
ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイ（飾り）	SUS	－
ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイ（側面）	アルミニウム	陽極酸化
ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイ（パッキン）	シリコン	－
超広角カメラ／広角カメラ／望遠カメラ周辺部	アルミニウム	陽極酸化
超広角カメラ／広角カメラ／望遠カメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
背面パネル	ガラス	ASコーティング

使用箇所		使用材質	表面処理
AKGチューニングマイク付き 高音質イヤホン (USB Type-C)	プラグ（金属部）	銅、ニッケル	ニッケルメッキ
	プラグ（外装）	TPE	腐食処理
	ケーブル（ひも部）	TPE+ 織造	－
	ケーブル分岐部	TPE	腐食処理
	ケーブル	TPE	腐食処理
	スイッチ	PC	UV コーティング
	イヤホンスピーカー部	TPU	腐食処理
	イヤホン（スピーカー側ケーブル境界）	TPE	腐食処理
	ケーブルコントロールリング	TPE	腐食処理
	イヤホン外装	PC	UV コーティング
	イヤホン（AKG部）	PC	腐食処理
	イヤホンチップ	シリコン	腐食処理
SIM取り出しツール		SUS304	バレル研磨
データ移行用試供品（USB ケーブル（C to C））	接続プラグ（金属部）	SUS301	陽極酸化
	接続プラグ（樹脂部）	PC	－
	ケーブル	TPE	－
クリアケース		TPU	－

7. 試供品 (AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C)、イヤホンチップ、SIM取り出しツール、クリアケース) の取り扱いについて

■ AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C)、イヤホンチップ、SIM取り出しツール、クリアケース共通

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

イヤホンチップやSIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→ P.12「材質一覧」

■ AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C)

⚠ 危険



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

自動車などを運転中にAKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) を操作しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



指示

AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) を本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) のコードを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

■ SIM取り出しツール



警告



SIM取り出しツールの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
禁止 けがや失明などの原因となります。



注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
禁止 落下して、けがなどの原因となります。

■ クリアケース



注意



本端末にクリアケースを取り付けるときは、指を挟まないでください。
けがなどの原因となります。
禁止

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SC-52Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモ nanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は0℃～35℃、湿度は0%～95%の範囲でご使用ください。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が動作しない、ワイヤレスチャージャーで充電できないなど、正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→ P.21「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてお願い

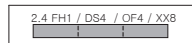
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
- 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。
- 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。
- 本端末にアダプタやUSB接続ケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。
- 磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

ドコモ nanoUIM カードについてのお願い

- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモ nanoUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC 部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ nanoUIM カードに登録されたデータは、microSD カード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ nanoUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth 機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth 機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth 機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth 機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しなくても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末の Bluetooth 機能／無線 LAN 機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



2.4

： 2400MHz 帯を利用する無線設備を表します。

FH/DS/OF/XX ： 変調方式が FH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1 ： 想定される干渉距離が 10m 以下であることを示します。

4 ： 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。

8 ： 想定される干渉距離が 80m 以下であることを示します。

： 2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth 機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてお願い

■無線LAN (WLAN) は、電波を利用した情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しなくても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・無線LANについて

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合は、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

・2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

・5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

- 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
 - 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
 - 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）
- 5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてお願い

■本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

■航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）、SIM取り出しツール、クリアケース）についてお願い

AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）をかけないでください。AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）は防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかる場所でのご利用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末からAKGチューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）を取り外すときは、必ずAKGチューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）のプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

SIM取り出しツール、クリアケース共通

- 無理な力がかからないように使用してください。故障、破損の原因となります。

SIM取り出しツール

- SIM取り出しツールを、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。故障、破損の原因となります。

- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「端末情報」→「認証情報」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

本端末は、ドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイを確実に取り付けた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所に携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

本端末が有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。
- 常温の水道水で手洗いすることができます。
 - ・ 規定（P.18）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ・ ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - ・ 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - ・ 洗った後は所定の方法（P.19）で水抜きしてください。
 - ・ 強くこすらずに洗ってください。

防水／防塵性能を維持するために

- 水や粉塵の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。
 - ・ 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
 - ・ 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、USB Type-C接続端子などを尖ったものでつかないでください。
 - ・ 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
 - ・ ドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。
- ・規定（P.18）以上の強い水流を直接当てないでください。本端末はIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- ・万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ・本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・本端末は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ・送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカーなどに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に水が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ・手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイの取り付け／取り外しはしないでください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

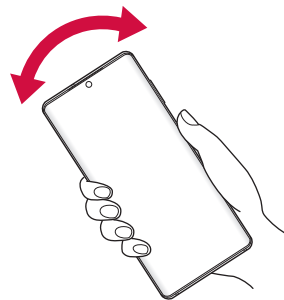
本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

■ 本端末の水抜きについて

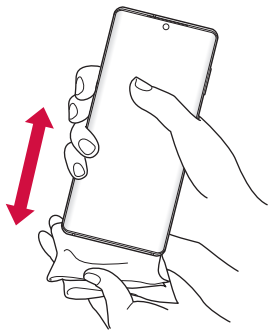
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、USB Type-C 接続端子、キーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を 10 回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

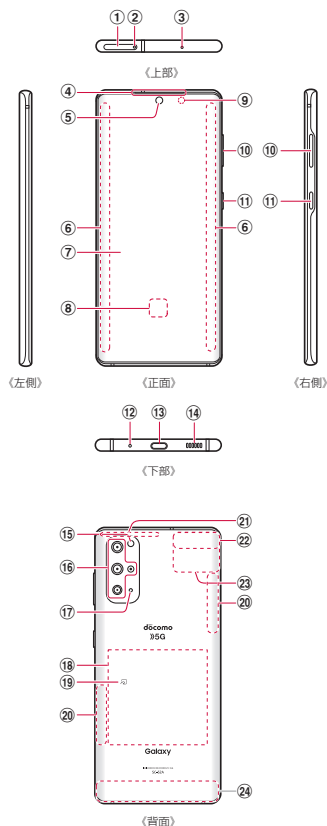
充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を十分に拭き取り自然乾燥させてから、USB Type-C 接続端子に接続してください。
- AC アダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で AC アダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



- ① ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイ (P.23)
- ② ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイエジェクトホール
- ③ 送話口／マイク (上部)
- ④ 受話口／スピーカー※¹
- ⑤ フロントカメラ (P.83)
- ⑥ エッジスクリーン (P.52)
- ⑦ ディスプレイ (タッチスクリーン) ※² (P.34)
- ⑧ 指紋センサー (P.118)
- ⑨ 近接・照度センサー※³：通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- ⑩ 音量UPキー／音量DOWNキー：各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。
- ⑪ サイドキー (P.31、P.36)：電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。1 秒以上押すとメニューが表示され、電源OFF、再起動、緊急時長持ちモードのON / OFFの操作ができます。
- ⑫ 送話口／マイク (下部)
- ⑬ USB Type-C 接続端子：充電時やイヤホンの接続時などに使用します。USB Power Delivery に対応しています。
- ⑭ スピーカー※¹
- ⑮ フラッシュ／ライト
- ⑯ カメラ (P.83)
- ⑰ マイク (背面)
- ⑱ ワイヤレス充電位置：ワイヤレス充電を行うときは、こちらの位置を合わせてください。
- ⑲ 〻 マーク (P.95)
- ⑳ 5G アンテナ※⁴
- ㉑ LTE / GPS アンテナ※⁴
- ㉒ 5G / LTE / GPS アンテナ※⁴
- ㉓ Wi-Fi / Bluetooth アンテナ※⁴
- ㉔ 5G / LTE / FOMA アンテナ※⁴

※¹ 音楽再生などでスピーカーを使用する際は、耳のそばに近づけないように注意してください。

※² お買い上げ時にディスプレイに貼付してある透明フィルムは、お客様のお手元で本端末が届くまでディスプレイを保護することを目的としております。

※³ センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
通話中に近接センサーの動作によって、近接センサー付近が点滅することがあります。

※⁴ 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- カメラのレンズを直射日光などの強い光にあてないようにしてください。強い光にあてると、カメラのイメージセンサーの故障の原因となります。イメージセンサーの故障は回復できず、撮影した写真にドットなどが発生する場合があります。
- エッジスクリーンの、曲面部分の色は見る角度によって変わる場合があります。

ドコモ nanoUIM カード

ドコモ nanoUIM カードは、お客様の電話番号などの情報が記録されている IC カードです。

- 本端末では、ドコモ nanoUIM カードのみご利用できます。ドコモ miniUIM カード、ドコモ UIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモ nanoUIM カードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信や SMS の送受信、パケット通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモ nanoUIM カードを取り付けないと緊急通報番号（110 番、119 番、118 番）に発信できません。
- ドコモ nanoUIM カードについて詳しくは、ドコモ nanoUIM カードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモ nanoUIM カードの暗証番号について

ドコモ nanoUIM カードには、PIN コードという暗証番号が設定されています（P.33）。

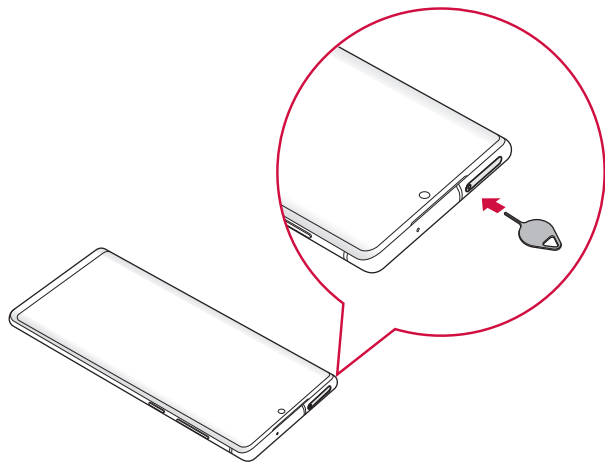
ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外し

- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。
- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

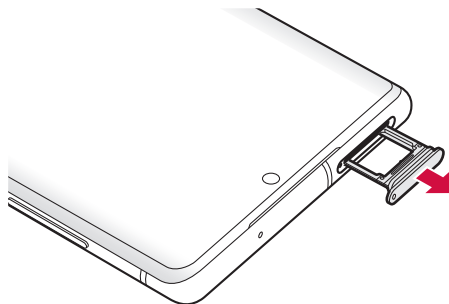
ドコモ nanoUIM カードを取り付ける

1 SIM取り出しツールの先端をドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイジェクトホールに水平に差し込む

- ドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイが少し出てきます。
- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

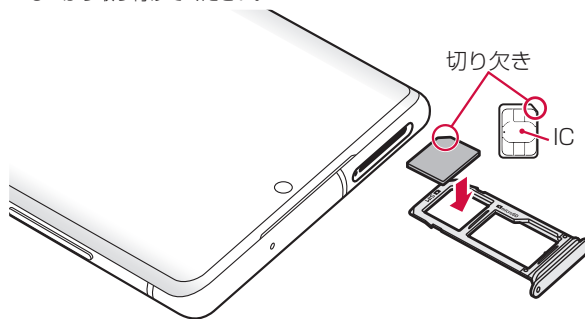


2 ドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイをまっすぐ引き出す



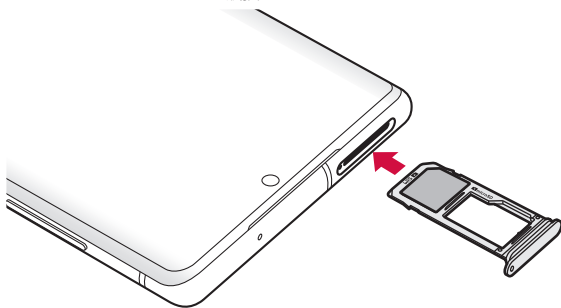
3 ドコモ nanoUIM カードのIC面を下にして、矢印の向きにドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイにはめ込む

- ドコモ nanoUIM カードをドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイにしっかり取り付けてください。



4 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイを本端末に差し込む

- ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイが破損するおそれがあります。



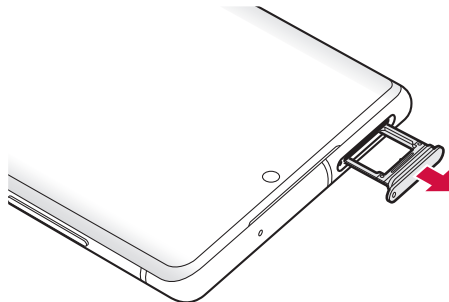
ドコモ nanoUIM カードを取り外す

1 SIM 取り出しツールの先端をドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイJECTホールに水平に差し込む (P.23)

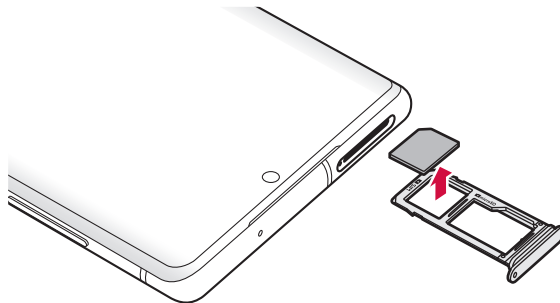
ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイをまっすぐ引き出す

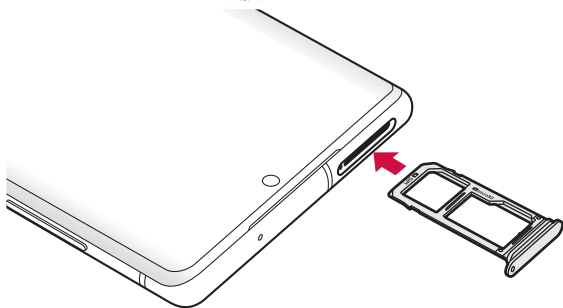


3 ドコモ nanoUIM カードをドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイから取り外す



4 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイを本端末に差し込む

- ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイが破損するおそれがあります。



お知らせ

- ドコモ nanoUIM カードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモ nanoUIM カードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモ nanoUIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモ nanoUIM カードはなくさないようご注意ください。
- SIM 取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。ペーパークリップの例



microSD カード

本端末は、microSD カード（microSDHC カード、microSDXC カードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GB までの microSD カードと 32GB までの microSDHC カードおよび 1TB までの microSDXC カードに対応しています（2020 年 4 月現在）。ただし、市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。対応の microSD カードは各 microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応している microSD カードのスピードクラスは最大クラス 10、UHS スピードクラスはクラス 3 です。ただし、スピードクラスは microSD カードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。
- microSDXC カードは、SDXC 対応機器でのみご利用いただけます。SDXC 非対応の機器に microSDXC カードを差し込むと、microSDXC カードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損した microSDXC カードを再度利用するためには、SDXC 対応機器にて microSDXC カードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC 非対応機器とのデータコピーについては、microSDHC カードもしくは microSD カードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- 他の機器から microSD カードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末から microSD カードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

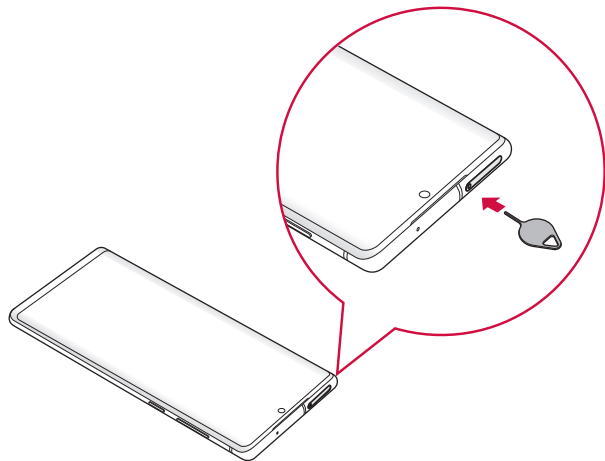
microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

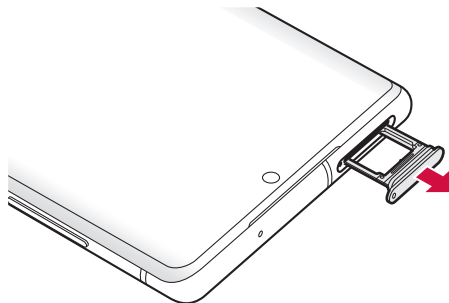
microSDカードを取り付ける

1 SIM取り出しツールの先端をドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイジェクトホールに水平に差し込む

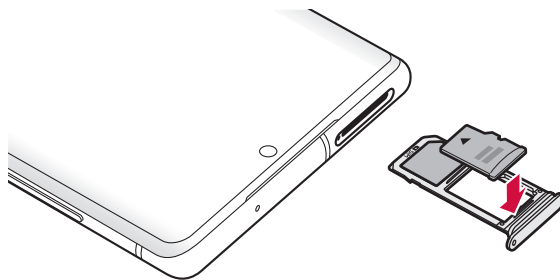
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイが少し出てきます。
- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



2 ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイをまっすぐ引き出す

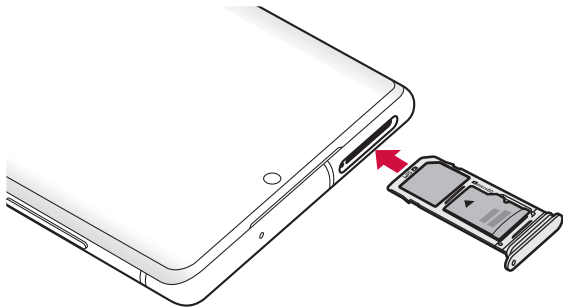


3 microSDカードの端子（金属）面を下にして、矢印の向きにドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイにはめ込む



4 ドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイを本端末に差し込む

- ドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイが破損するおそれがあります。



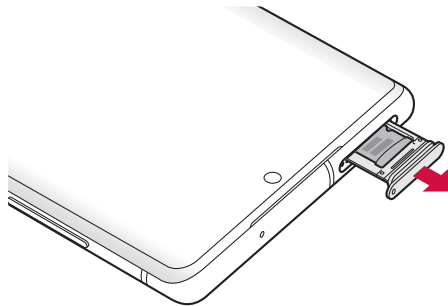
microSD カードを取り外す

1 SIM 取り出しツールの先端をドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイジェクトホールに水平に差し込む (P.26)

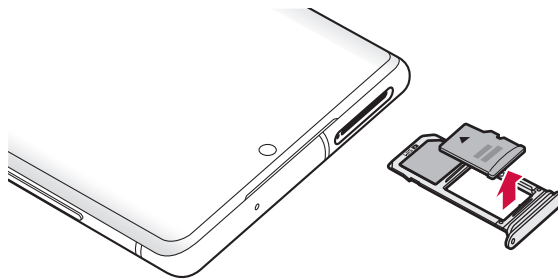
ドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 ドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイをまっすぐ引き出す

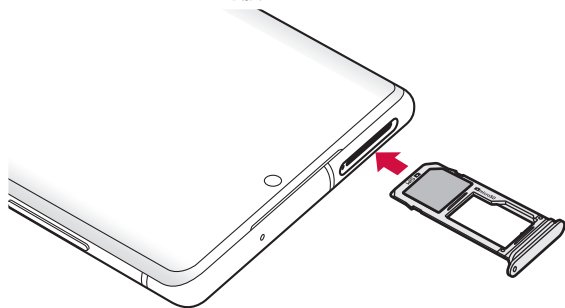


3 microSD カードをドコモ nanoUIM カード / microSD カードトレイから取り外す



4 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイを本端末に差し込む

- ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイが破損するおそれがあります。



お知らせ

- SIM 取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。
ペーパークリップの例



microSD カードを初期化する

microSD カードを初期化すると、microSD カードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスカ」
- 2 「ストレージ」→「詳細設定」
- 3 「外部SDカード」→「初期化」→「外部SDカードを初期化」→「完了」

充電

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリ利用などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1 回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。



Li-ion 00

■ 充電について

- AC アダプタ 07 (別売) は AC100V から 240V まで対応しています。
- AC アダプタ 07 の詳細については、AC アダプタ 07 の取扱説明書をご覧ください。
- AC アダプタのプラグ形状は AC100V 用 (国内仕様) です。AC100V から 240V 対応の AC アダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

■ 電源を入れたままでの長時間 (数日間) 充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたまま長時間おくと、充電が終わった後本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度 AC アダプタ、DC アダプタ、ワイヤレスチャージャーから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度などで異なります。使用時間の目安については、「主な仕様」(P.153) をご参照ください。

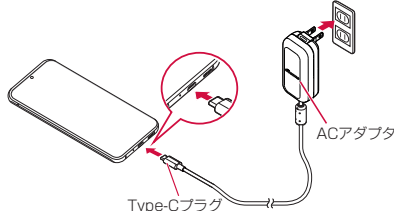
■ 内蔵電池の充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」(P.153) をご参照ください。

本端末を充電する

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 07（別売）を使って充電する方法を説明します。



- 1 本端末のUSB Type-C接続端子に、ACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
- 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4 本端末からACアダプタのType-Cプラグを水平に引き抜く

DCアダプタで充電する

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリソケット（12V / 24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売）が必要です。
詳細については、DCアダプタ、USBケーブル A to Cの取扱説明書をご覧ください。

急速充電や超急速充電を使用する

本端末をより高速に充電できます。

- 急速充電や超急速充電を使用するには、対応している充電器が必要です。通常の充電器では使用できません。
- 本端末が高温になった場合は、充電速度が遅くなったり、停止したりする場合があります。
- 画面をオフにすると、より速く充電できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスカ」

2 「バッテリー」→「充電」→「急速充電」／「超急速充電」

ワイヤレスチャージャーで充電する

Galaxy純正ワイヤレスチャージャー（別売）で充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。
Galaxy純正ワイヤレスチャージャーについてはGalaxyのWebサイトをご参照ください。

- マークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。
- **ワイヤレスチャージャーで充電する場合のご注意**
 - 本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、外してください。
 - 充電するときは、パイプを動作させないでください。振動により本端末が動き、充電が完了できなかったり、落下するおそれがあります。
 - テレビやラジオなどに雑音が入る場合がありますので、なるべく離れた場所で充電してください。
 - 他の無接点充電対応機器から30cm以上離してください。本端末を正しく検出できず、充電できない場合があります。
 - ワイヤレスチャージャーで充電中は、コンテンツの受信などがしにくい場合があります。充電しながらコンテンツの受信などを行う場合は、ACアダプタをご使用ください。また、本端末はACアダプタの電源プラグ部からなるべく離してください。
 - 本端末が高温になった場合は、充電速度が遅くなったり、停止したりする場合があります。
 - 充電しながらゲームや動画など多くの電力を消費する機能を使用すると、充電が停止する場合があります。

USBケーブル A to C を使って充電する

USBケーブル A to C 02 (別売) を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、「USB ケーブル A to C で接続する」(P.136) をご覧ください。
- パソコンとUSB 接続を行うと、パソコン上にポップアップ画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。機能やアプリによっては、起動しようとするとき電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

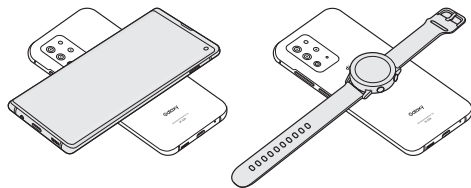
本端末で他の機器を充電する

ワイヤレスパワーシェアを使用する

本端末の内蔵電池を使って他の機器を充電できます。本端末の充電中でも他の機器を充電できます。

本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、本機能が正しく動作しない可能性がありますので、充電する前にカバーなどを外してください。

- 本機能の使用中はイヤホンを使用しないでください。近くの機器に影響を与える可能性があります。



- 1 通知パネルで 
- 2 本端末の背面の中央部に、充電したい他の機器を置く
- 3 充電が完了したら、他の機器を本端末から離す

お知らせ

- 充電が開始されると、音やバイブで通知されます。
- ワイヤレス充電コイルの位置は機器ごとに異なるので、機器に応じて充電位置を調整してください。
- 本機能の使用中に一部の機能が動作しない可能性があります。
- 本機能はWPC (Qi) の対応機器、Galaxy Wearableに対応しておりますが、すべての機器での動作を保証するものではありません。
- 正常に充電するために、充電中には本端末や他の機器を動かさないでください。
- 本端末の充電中に他の機器を充電する場合は、充電速度が遅くなったり、正しく充電されない場合があります。
- 充電速度や充電効率は、他の機器や充電環境に依存することがあります。
- 電池残量が一定レベルを下回ると、給電が停止されます。
- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「バッテリー」→「ワイヤレスパワーシェア」→「バッテリー制限」をタップすると、充電を停止させるバッテリー制限のパーセンテージを設定できます。
- 本機能は電池残量が少なくは使用できません。
- ワイヤレスパワーシェアをONにした状態で他の機器に接続されない状態が一定時間続くと本機能は自動的にOFFになります。
- 本機能を使用すると、お使いのネットワーク環境によっては、ネットワークに影響を与える可能性があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 〇（サイドキー）を2秒以上押す
 - ・起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。
 - ・初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.32）。

2 画面をスワイプ

■電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.42）。
☑が表示されたときは、5G・LTE サービスエリアおよびFOMA サービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

- 1 〇（サイドキー）を1秒以上押す
- 2 「電源OFF」→「電源OFF」
 - ・本端末が振動し、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- ・「画面のタイムアウト」（P.113）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

- 1 〇（サイドキー）を押す
 - ・画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

- 1 画面ロック中に〇（サイドキー）を押す
 - ・ロック画面が表示されます。
- 2 画面をスワイプ

ロック画面について



ロック画面（表示例）

- ① 時計ウィジェット
- ② ダイヤル起動ボタン
- ③ エッジパネルハンドル
 - ・画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルが表示されます（P.53）。
- ④ マチキャラ（例：my daiz）
 - ・メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- ⑤ カメラ起動ボタン

お知らせ

- ・画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- ・画面ロックの解除方法は変更できます（P.115）。

初期設定

電源を入れた後に「始めよう!」と表示された場合は、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle / Galaxyアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。

ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「始めよう!」の

- ・ 言語を変更する場合は、「日本語」をタップします。
- ・ ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」をタップして設定します。
- ・ 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
 - 開始にあたっての確認事項
 - Wi-Fiネットワークを選択
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの追加
 - Googleサービス
 - 端末を保護

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「上記のリンク先の内容に同意する」の → 「次へ」

- ・ 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
 - 機能の利用確認
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定

3 Galaxyアカウントの設定を行う

4 ホーム切替の設定を行う

5 便利な機能の確認を行う

6 「完了」

- ・ 画面にしたがって操作するとホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ・ 設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- ・ オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（5G / 4G / 3G / GSM）であることをご確認ください。Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。
- ・ Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

Googleアカウントの設定を行う

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名 / パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」→「アカウント追加」

2 「Google」

3 画面の指示に従って設定

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケット等のドコモが提供するサービスを利用する時に必要なID / パスワードです。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」

2 「dアカウント設定」

3 画面の指示に従って設定

Galaxyアカウントの設定を行う

Galaxyアカウントを設定すると、Find My Mobile（端末リモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とGalaxyアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」→「アカウント追加」

2 「Galaxyアカウント」

3 画面の指示に従って設定

お知らせ

- ・ Find My Mobile（端末リモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。<https://findmymobile.samsung.com/>
- ・ Galaxyアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。また、パスワードを忘れた場合は、「IDを検索」または「パスワードをリセット」をタップして、画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN / パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード(PUK)は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時に渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN / パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号(コード)です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」(PUK)を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
PINロック解除コード(8桁)を入力→「OK」→新しいPINコードを入力→「OK」→再度新しいPINコードを入力→「OK」をタップします。

■ PINロック解除コード(PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力→「OK」
 - 「SIMカードをロック」がONになります。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」(P.33)を設定している場合に、PINコードを変更できます。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」
- 「SIMカードのPINを変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- ・タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- ・充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- ・本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

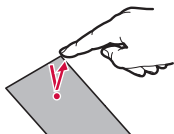
■ タッチスクリーン利用上のご注意

- ・タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- ・次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。



■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。



■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。



■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ ピンチアウトする／ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭めたり（ピンチイン）して表示内容の拡大／縮小ができます。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。



	履歴ボタン 最近使用したアプリの一覧が表示されます。
	ホームボタン ホーム画面が表示されます。ロングタッチすると、Google アシスタントが起動します。
	戻るボタン 直前の画面に戻ります。また、ポップアップ画面、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。一部のアプリを終了できます。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」→「ナビゲーションバー」をタップすると、ナビゲーションバーのタイプやボタンの順序の設定などができます。ナビゲーションバーのタイプを「ジェスチャーで操作」に設定すると、ナビゲーションバーを非表示にし、画面スペースをより広く利用できます。非表示の時に  /  /  の機能を利用するには、画面下部のバーを上ドラッグします。
- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」→  →「標準アプリ」→「アシストアプリ」→「端末アシスタンスアプリ」をタップすると、（ホームボタン）をロングタッチしたときに起動するアプリを選択できます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感じ取るモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 通知パネルを開く（P.43）

2

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

設定を切り替える

トグルスイッチをタップまたはドラッグしたり、チェックボックスをタップしたりすると、設定のON / OFFや有効 / 無効を切り替えることができます。

-  はON、 はOFFの状態です。
-  は有効、 は無効の状態です。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

1 画像として保存したい画面を表示

2 （サイドキー）と音量DOWNキーを同時に押す

お知らせ

- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。
- キャプチャした画像はjpg形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」→「モーションとジェスチャー」→「スワイプキャプチャ」をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。
- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」→「画面キャプチャと画面録画」→「画面キャプチャツールバー」をONにすると、スクリーンキャプチャ後にメニューが表示されます。表示されたメニューから （スクロールキャプチャ）をタップすると、画面をスクロールして表示できる領域を1枚の画像としてキャプチャし続けることができます。キャプチャした画像はjpg形式で保存されます。「共有した画面キャプチャを削除」をONにすると、画面キャプチャを共有後、自動的に削除できます。

画面の表示内容を録画する

表示中の画面を動画として録画できます。

1 通知パネルを開く (P.43)



3 サウンド設定をして「録画を開始」

- ・ カウントダウンが表示され、録画が開始されます。



お知らせ

- ・ 一部のアプリでは画面を録画できない場合があります。
- ・ キャプチャした動画はmp4形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- ・ 動画の停止は通知パネルからもできます。
- ・ をタップすると、録画中に描画ができます。
- ・ をタップすると、インカメラを使った撮影も合わせて録画できます。
- ・ ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」→「画面キャプチャと画面録画」→「画面録画設定」をタップすると、サウンドをつけるかどうかや画質などが設定できます。

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定に変更され、電池の消費を抑えることができます。

- ・ 使用可能なアプリの数が制限されます。
- ・ 画面OFF時にモバイルデータが無効になります。
- ・ Wi-FiやBluetoothなどの接続機能が無効になります。
- ・ マナーモード（バイブ、サイレント）がOFFになります。
- ・ 位置情報がOFFになります。

1 (サイドキー) を1秒以上押す

2 「緊急時長持ちモード」→ 利用規約を確認し、チェックを付ける → 「同意」→ 「ON」

- ・ 表示されるアプリを使用できます。
- ・ 「緊急連絡先」をタップすると、緊急時の医療情報などを登録できます。

お知らせ

- ・ 緊急時長持ちモード画面で をタップすると以下の操作ができます。
 - 「緊急時長持ちモードをOFF」：緊急時長持ちモードを無効にできます。
 - 「アプリを削除」：削除するアプリをタップ → 「完了」でホーム画面のアプリを削除できます。
 - 「緊急連絡先」：緊急時の医療情報などを登録できます。
 - 「設定」：Wi-FiやBluetooth機能を再びONにしたり、音量やパイプの強度設定の変更などができます。
- ・ (サイドキー) を1秒以上押し、「緊急時長持ちモード」をタップしても無効にできます。
- ・ 緊急時長持ちモードを有効にすると、着信音量が最大になります。音量DOWNキーをマナーモードが設定されるまで長押しすると、マナーモード（バイブ）を設定できます。
- ・ 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。また、使用可能なアプリにおいて、使用できる機能が制限されます。
- ・ 緊急時長持ちモードでも、ブラウザは電池をより多く消費します。
- ・ 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部のウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。

便利な機能

便利な機能の使いかた

本端末を動かすなどの動作で、次の操作ができます。

- 一部のアプリでは本機能を利用できない場合があります。
- 便利な機能を利用する前に、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」→ 利用する便利な機能をONにする必要があります。

■ サイドキー

サイドキーを2回押したときの動作を設定できます。

■ Bixby Routines

→ P.38

■ Windowsにリンク

本端末をPCに接続してリンクするかどうかを設定します (P.137)。
※本機能を利用するには、Microsoftアカウントが必要です。

■ スマートポップアップ表示

通知をポップアップ表示で確認するアプリを選択します。

■ 画面キャプチャと画面録画

画面キャプチャと画面録画について設定します (P.35)。

■ Direct share

共有パネルから特定の相手とコンテンツを直接共有できます。

■ アニメーションを抑制

画面のモーションエフェクトを抑制します。

■ モーションとジェスチャー

→ P.37

■ 片手モード

「片手モードを使用」をONにし、画面表示サイズの縮小方法で「ジェスチャー」を選択すると、画面の下端中央で下にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。「ボタン」を選択すると、ホームボタンをすばやく2回タップして、画面サイズを縮小することができます。

■ Game Launcher

「Game Launcher」をONにすると、「Game Launcher」アプリですべてのゲームを自動的にまとめて管理できます (P.59)。

■ デュアルメッセージジャー

同じアプリをそれぞれ個別のアカウントで使用します。
ホーム画面にはもう1つのアプリアイコンが表示されます。
デュアルメッセージジャーが利用可能なアプリはデュアルメッセージジャー画面に表示されているアプリのみです。

■ ビデオエンハンサー

対応するアプリで動画の画質を向上させます。

■ SOSメッセージを送信

SOSメッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。

お知らせ

- デュアルメッセージジャーで同じアプリで複数のアカウントを使用する方法はアプリによって異なります。
- デュアルメッセージジャーの2つ目のアプリを削除するには、デュアルメッセージジャー画面で、削除したいアプリの  →「アンインストール」をタップします。なお、最初（メイン）のアプリを削除すると、2つ目のアプリも削除されます。

モーションとジェスチャー

■ 持ち上げて画面ON

端末を持ち上げると画面がONになります。

■ ダブルタップで画面ON

ダブルタップ操作で画面をONにするかどうかを設定します。

■ スマートステイ

画面を見ている間は表示が消えないように設定します。

■ スマートアラート

不在着信がある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

■ スワイプキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。

■ スワイプして発信／メッセージ送信

「ダイヤル」や「連絡先」アプリで、連絡先または電話番号をスワイプして発信やメッセージ作成画面を表示するかどうかを設定します。

お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーションが正しく動作しない場合があります。
- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外で動作をした場合は、センサーの特性により便利な機能が正しく動作しない場合があります。

Always On Displayを設定する

画面 OFF 時に、時計や通知を表示します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ロック画面」
- 2 「Always On Display」→ 
- 3 表示条件などを設定

お知らせ

- Always On Display の表示を終了するには、 (サイドキー) を押すか、画面をダブルタップします。
- Always On Display を表示するタイミングを変更するには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ロック画面」→「Always On Display」→「タップして表示」／「常に表示」／「特定の時間のみ表示」をタップします。
- 「明るさ自動調整」を ON にすると、本端末の明るさ設定と連動して調整されます。OFF にすると、Always On Display で時計をダブルタップして、手動で明るさを調整できます。

Bixby Routinesを利用する

よく行う操作を、条件を指定してルーチンとして自動的に行うように設定できます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」
- 2 「Bixby Routines」
- 3 
- 4  → 条件を選択 → 「次へ」
- 5  → 実行内容を選択 → 「完了」
- 6 ルーチン名を入力 → 「完了」
 - 「マイルーチン」にルーチンが作成されます。

お知らせ

- 「おすすめ」をタップすると、すでに設定してあるルーチンを編集してルーチンを作成できます。
- Bixby Routines 画面でルーチンの  をタップすると、ルーチンの ON / OFF の設定ができます。
- 作成したルーチンを削除するには、削除したいルーチンをタップ →  → 「削除」をタップします。
-  → 「設定」をタップすると、Bixby Routines の設定ができます。
- 実行中のルーチンは通知パネルで確認できます。通知パネルで「停止」をタップすると、ルーチンを停止できます。
- 一部のルーチンを利用するには Galaxy アカウントへのサインインが必要です。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Galaxy キーボード）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google 音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中にナビゲーションバーの

2 利用したいキーボードを選択

お知らせ

- ナビゲーションバーの の表示／非表示を切り替えるには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」の「キーボードボタンを表示」をタップします。

キーボードのタイプを選択する

1 キーボード表示中に

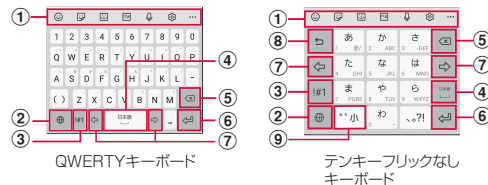
2 「言語とタイプ」→ 入力言語を選択

3 キーボードタイプを選択

Galaxy キーボード（日本語）で入力する

Galaxy キーボード（日本語）は、「QWERTY キーボード」、「テンキーフリックなしキーボード」、「テンキーフリックキーボード」、「テンキー 8 フリックキーボード」の 4 種類のキーボードを利用できます。

- QWERTY キーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。
- テンキーフリックなしキーボード：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。
- テンキーフリックキーボード、テンキー 8 フリックキーボード：フリック操作で入力するキーボードです。



- ① キーボード追加機能が表示されます。
絵文字／顔文字／記号の入力、音声入力やキーボードの設定などの機能を利用できます。
 - … をタップすると、キーボード追加機能に追加できる機能が表示されます。
 - 文字が入力されている場合は、予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。… をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。… をタップすると、元の表示に戻ります。
- ② 入力言語を切り替えます。
- ③ 数字／記号入力モードに切り替えます。
- ④ スペースの入力や予測変換候補の選択ができます。
 - ひらがな漢字入力で文字が入力されている場合に、タップすると予測変換候補を選択できます。
- ⑤ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑥ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。
- ⑦ カーソルを左または右に移動します。
 - 「ワイルドカード予測」を ON に設定している場合は、タップするとワイルドカード予測（P.40）を利用できます。
- ⑧ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。
- ⑨ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi 接続ではご利用になれない場合があります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 「予測テキスト」と「ワイルドカード予測」をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力

2 ⇨ を4回タップ

- 「とう〇〇〇〇」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。
- 読みの文字数を変更する場合は、⇩ / ⇨ をタップします。

3 「東京都」

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- などが表示されます。ドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用する項目をタップ

項目	説明
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
全て選択	入力したすべての文字を選択します。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外の項目が表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「全て選択」「クリップボード」などを利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Galaxy キーボードの設定を行う

Galaxy キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「Galaxy キーボード」

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
言語とタイプ	入力言語とそのキーボードタイプを設定します。
数字と記号	数字と記号のキーボードタイプを設定します。
日本語入力オプション	フリック入力、単語学習、ワイルドカード予測、音声入力などの設定をします。
スマート入力	予測テキスト、よく使うフレーズなどの設定をします。
スタイルとレイアウト	キーボードのテーマ、高コントラストキーボード、キーボードのサイズと透明度などの設定をします。
スワイプ、タッチ、フィードバック	キーボードスワイプコントロール、キーボードの長押し認識時間などの動作を設定します。
初期設定にリセット	キーボード設定のリセットや予測テキストの学習データの消去ができます。
Galaxy キーボードについて	Galaxy キーボードのバージョンを確認します。
お問い合わせ	Galaxy Members を利用できます。

ドコモ文字編集の設定を行う

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「ドコモ文字編集」

Google 音声入力の設定を行う

Google 音声検索時に使用する言語などを設定できます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「Google 音声入力」

画面表示とアイコン

アイコンの見かた

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

通知アイコン ステータスアイコン



主な通知アイコン

- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン	参照先
	発信中／着信中／通話中 P.60
	不在着信あり P.64
	新着 Gmail あり P.77
	新着＋メッセージあり P.72
	新着エリアメールあり P.78
	データ受信／完了 P.135
	データ送信／完了 P.135
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり P.66
	アラーム通知あり P.98
	カレンダーのアラーム通知あり P.99
	音楽再生中／一時停止中 -
	エラーメッセージあり -

通知アイコン	参照先
	USB テザリング機能有効 P.109
	Wi-Fi テザリング機能 ON P.109
	Bluetooth テザリング機能有効 P.109
	テザリング機能を2つ以上同時に ON -
	ソフトウェアアップデートの設定／確認中 P.150
	非表示の通知情報あり -
	VPN 接続中 P.110
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり P.35
	本端末のメモリの空き容量低下 -
	ワイヤレスパワーシェアで接続デバイスを充電中 P.30

主なステータスアイコン

ステータスアイコン	参照先
	電波状態 (弱⇨強) -
	電波状態 (国際ローミング中) (弱⇨強) -
	圏外 -
	機内モード設定中 P.107
	5G ネットワーク使用可能／通信中 -
	4G (LTE) ネットワーク使用可能／通信中*1 -
	3G ネットワーク使用可能／通信中 -

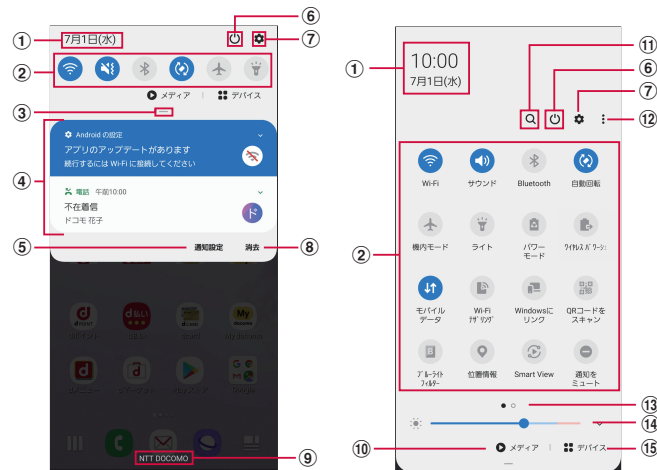
ステータスアイコン		参照先
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能／通信中	-
	GPRSネットワーク使用可能／通信中	-
	Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中	P.105
	IEEE802.11ax (Wi-Fi 6) 使用可能／通信中	-
	インターネット接続がされないネットワーク接続状態／ユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の状態 ・インターネットには接続できません。	P.105
	Bluetooth機能ON※2	P.134
	Bluetoothデバイスと接続中	P.134
	マナーモード (パイプ) 設定中	P.111
	マナーモード (サイレント) 設定中	P.111
	アラーム設定中	P.98
	VoLTE使用可能	-
	電池レベル (低⇄高)	P.28
	充電中	P.28
	Wi-Fi Direct 接続中※2	P.107
	本端末とドコモ nanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロック設定中	P.96
	本端末またはドコモ nanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロック設定中	P.96

※1 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

※2 通知パネル表示時 (P.43) に表示されます。

通知パネルについて

ステータスバーを下にスクロール／フリックすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。通知パネルを上に戻すスクロール／フリックすると通知パネルを閉じることができます。



通知パネルの表示内容

通知パネルの表示内容 (展開時)

- ① 現在の日付と時刻が表示されます。
- ② クイック設定ボタンで、Wi-FiやBluetooth、ライト、Dolby Atmosなどの各種機能のON / OFFを切り替えたり設定したりできます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。通知パネル中央のバー (③) を下にスクロールすると、表示されていないアイコンを表示できます。
- ③ 下にスクロールするとすべてのクイック設定ボタンが表示されます。
- ④ 進行中情報や通知情報*が表示されます。情報を確認したり、タップしてアプリを起動したりすることができます。
- ⑤ 通知について設定します (P.112)。
- ⑥ 電源OFFや再起動などの操作ができます。
- ⑦ 設定メニューが表示されます (P.104)。

- ⑧ 通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- ・ 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。
- ⑨ 接続中の通信事業者名が表示されます。
- ⑩ 本端末や他の Galaxy デバイスで再生中の音楽や動画を操作できます。メディア画面で  をタップして、画面の指示に従って操作すると他の Galaxy デバイスで音楽などの再生ができます。
- ⑪ 文字を入力するとアプリを検索できます。
- ・  をタップすると音声で検索できます。
- ⑫ クイック設定ボタンの順番や表示レイアウトの変更、ステータスバーの通知アイコンの表示設定などができます。
- ⑬ クイック設定ボタン一覧のページ枚数と現在の位置を示します。
- ⑭ ディスプレイの明るさを調整します (P.113)。
- ⑮ Bluetooth デバイスなど、本端末に接続されているデバイスを簡単に操作できます。
- ※ ロック画面で表示した通知パネルの通知の一部が非表示になる、および通知されなくなることがあります。

お知らせ

- ・ クイック設定ボタンは、ON に設定されている場合は青色で表示されます。

最近使用したアプリの一覧

1 (履歴ボタン)

- ・ アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- ・ サムネイルを上フリックすると、一覧から削除できます。
- ・ 「全て閉じる」をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- ・ アプリのサムネイル上部のアイコンをタップすると、以下の操作ができます。
 - 「アプリ情報」: アプリの設定ができます。
 - 「分割画面表示で起動」: 分割画面表示 (P.45) を利用できます。
 - 「ポップアップ表示で起動」: 一部のアプリをポップアップ表示で起動できます。
 - 「アプリの縦横比を変更」: 一部のアプリの縦横比を変更できます。
 - 「素早く使用するために起動状態を維持」: アプリをロックし、「全て閉じる」をタップしても一覧から削除されず起動したままにできます。

お知らせ

- ・ アプリのサムネイル上部のアイコンをタップしたときに表示される項目は、アプリによって異なる場合があります。

アプリを画面に固定する

画面にアプリを固定して、他のアプリを利用できないようにすることができます。

- ・ あらかじめ「アプリ固定モード」(P.116) を ON にしておく必要があります。

1 (履歴ボタン)

2 固定したいアプリのサムネイル上部のアイコン → 「このアプリを固定」

3 「OK」

お知らせ

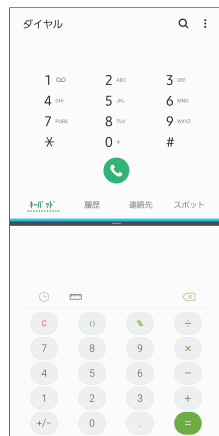
- ・ アプリの固定を解除するには、 (履歴ボタン) と  (戻るボタン) を同時にロングタッチします。

分割画面表示を利用する

画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して使用することができます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。

※ ご使用のアプリによっては、分割画面表示で利用できない場合があります。



分割画面表示例

1 𠂇 (履歴ボタン)

- アプリのサムネイルが表示されます。

2 アプリのサムネイル上部のアイコン → 「分割画面表示で起動」

- 画面が上下に分割され、アプリが画面の上側に表示されます。

3 画面の下側でアプリのサムネイルをタップ

- アプリが画面の下側に表示されます。

お知らせ

- 横画面の場合は左右に分割して表示されます。
- 中央に表示される仕切り線の  を上下（横画面の場合は左右）にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。その際、選択しているアプリは青色で表示されます。
- 分割画面表示を終了するには、中央に表示される仕切り線の  を上または下にフリックします。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

☐(ホームボタン) をタップして表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」→ ☐ → 「標準アプリ」→ 「ホームアプリ」

2 「docomo LIVE UX」／「One UI ホーム」

docomo LIVE UX

ホーム画面を直感的にカスタマイズでき、世の中のトレンドや、お客様一人ひとりにあわせてさまざまな情報が雑誌形式で表示される新しい検索サービス「マイマガジン」が利用できるホームアプリです。

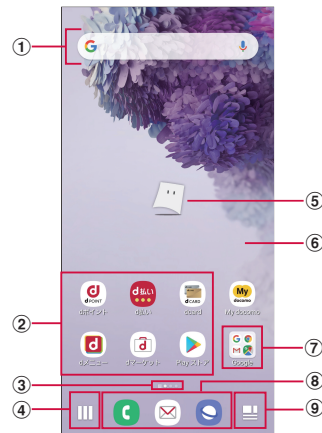
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で ☐ → ☐ → 「ヘルプ」を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはホーム画面上に貼られます。

- ・ ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- ・ アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



ホーム画面の表示内容（表示例）

① ウィジェット

- ・ ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ・ ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

- ② **アプリアイコン**
 - ・ タップすると、アプリを起動できます。
 - ・ ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。＝が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。
- ③ **インジケーター**
 - ・ ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。
- ④ **機能ボタン**
 - ・ アプリを検索、おすすめアプリを利用 (P.49)、壁紙・きせかえの変更、ホーム画面の並べ替え等ができる画面を表示します。
- ⑤ **マチキャラ**
 - ・ タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- ⑥ **カスタマイズエリア**
 - ・ アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
- ⑦ **フォルダ**
 - ・ 複数のアプリアイコンなどが格納されています。
- ⑧ **ドック**
 - ・ ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ⑨ **マイマガジンボタン**
 - ・ マイマガジン (P.50) を表示します。

ホーム画面の管理

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ、または表示された吹き出しの「移動」をタップしドラッグ
 - ・ ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」
 - ・ アプリが格納されているフォルダは削除できません。

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
 - ・ フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。
- 2 「アンインストール」→「OK」
 - ・ アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。
 - ・ 「アプリ無効化」と表示された場合は、アプリを無効化 (P.126) することができます。

フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選択
- 2 フォルダ名をタップ
- 3 フォルダ名を入力
 - ・ キーボードに表示される「完了」をタップします。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 項目を選択

項目	説明
フォルダを作成	フォルダを追加します。
壁紙・きせかえ	壁紙やきせかえを変更することができます。
ウィジェットを貼り付け	ウィジェット一覧を表示します。 ウィジェットをホーム画面に追加する場合は、ホーム画面のウィジェットを貼り付けたい部分をロングタッチ → 「ウィジェットを貼り付け」 → 追加したいウィジェットをタップ ※ スペースが足りない場合、空いているスペースに自動で貼り付けます。
ホーム画面一覧	ホーム画面一覧を表示します。ホーム画面一覧の詳細については → P.48
ホーム設定	ホーム画面の配置のバックアップと復元を行ったり、マチキャラやマイマガジンの設定を行ったりします。

■ 壁紙の変更

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ → 「壁紙・きせかえ」

- ホーム画面で  → 「壁紙・きせかえ」をタップしても操作できます。

2 壁紙にしたい画像をタップ

- 右上の  をタップ → 「他の壁紙を選ぶ」をタップすると、他のアプリから壁紙を選択できます。

3 画面の指示に従って壁紙を設定

■ きせかえの変更

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ → 「壁紙・きせかえ」 →

- ホーム画面で  → 「壁紙・きせかえ」 →  をタップしても操作できます。

2 きせかえを選ぶ → 「設定」

■ マチキャラ表示方法

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ → 「ホーム設定」 → 「マチキャラ設定」

2 「キャラ表示」の /

■ ページの管理

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」

- ホーム画面で  → 「ホーム画面一覧」をタップしても操作できます。

2 【+】をタップでホーム画面の枚数を追加

- ホーム画面のページを削除するには、削除するページのサムネイルの  をタップします。
- アプリが配置されているページは削除することができません。
- ページを並べ替えるには、並べ替えるページのサムネイルをロングタッチ → 任意の場所までドラッグします。

お知らせ

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧を表示できます。
- ページは最大32ページまで追加できます。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で

2 「おすすめアプリ」ボタンをタップ

- 初めて使用するときには利用の確認画面が表示され、「おすすめアプリを見る」をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で「おすすめアプリ一覧へ」をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もオンになります。

3 利用するアプリやサービスを選択

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

お知らせ

- おすすめアプリ一覧画面で  → 各設定の  /  をタップすると、設定をオン/オフに切り替えることができます。
- おすすめアプリの許諾に同意した状態で、ホーム画面で  をタップすると、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されるようになります。おすすめアプリ一覧をもっと見たい場合は「もっとみる」をタップします。

アプリを探す

アプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名で検索したりする機能です。

1 ホーム画面で

2

3 「アプリ名を入力」→ アプリ名を入力

- 「つかった順」「インストール順」「アプリ名順」をタップすると、任意の並び順ですべてのアプリを一覧で表示することができます。

4 アプリを選択

- アプリが起動します。
-  をタップすると選択したアプリにフォーカスが当たった状態で、アプリが配置されたホーム画面が表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、dアカウントの設定が必要です (P.122)。

ホーム画面のバックアップ

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ → 「ホーム設定」
- 2 「配置のバックアップと復元」
- 3  → 「バックアップ」

ホーム画面を復元する

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ → 「ホーム設定」
- 2 「配置のバックアップと復元」
- 3 「最新のバックアップデータを復元」 / 「バックアップデータ一覧から復元」
- 4 「復元する」
 - ・ 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択 → 「復元」 → 「復元する」

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読みたい記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

記事の見かた

- 1 ホーム画面で 
 - ・ 表示するジャンル選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択し「OK」をタップします。
 - ・ ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
 - ・ 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。
- 2 読みたい記事をタップ
 - ・  をタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

表示ジャンル設定

- 1 ホーム画面で 
- 2  → 「表示ジャンル設定」
 - ・ チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
 - ・ 右上の  をタップするとジャンルの並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

画面の見かた



my daiz NOW (表示例)

1 ホーム画面で右にフリック

- ・ 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- ・ 左右にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- ・ カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- ・ 画面左上に表示されるmy daiz (キャラクター) をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

表示設定

1 ホーム画面で [≡] → 「ホーム画面一覧」

2 my daiz NOWの [🔴] をタップ

- ・ my daiz NOWを非表示にできます。
- ・ [🔴] をタップすると再表示できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で [≡] → :

2 「アプリ情報」

- ・ docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

エッジスクリーン

エッジスクリーンでさまざまな機能が利用できます。ここでは、ホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した場合で説明しています。

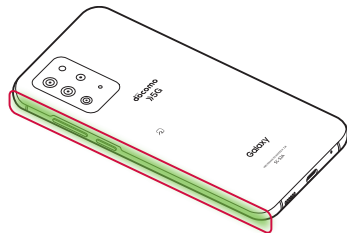
■ エッジパネル → P.52、P.53

各アプリのショートカット（Apps edge）などを利用できます。エッジパネルは追加できます。



■ Edge lighting → P.54

着信などの受信を光でお知らせします。



エッジパネルを設定する

エッジパネルをONにすると、画面ON時に、エッジパネルハンドルが表示され、スワイプするとエッジパネルを表示できます。エッジパネルには、アプリや機能などを表示できます。

また、使用するエッジパネルを追加したり、エッジパネルやエッジパネルハンドルの位置などを設定したりできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」→「エッジスクリーン」

- ・ エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

2 「エッジパネル」→

エッジパネルを追加する

エッジスクリーンに、使用したいエッジパネルを追加します。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」

2 追加したいエッジパネルにチェックを付ける

エッジパネルをダウンロードする

Galaxy Storeからエッジパネルをダウンロードできます。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」

2 「Galaxy Store」

- ・ 以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルを編集する

エッジパネルに表示するアプリや機能などを編集します。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」

2 エッジパネル下の「編集」

- ・ 以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルハンドルを設定する

エッジパネルハンドルの位置や色、サイズなどを設定できます。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」

2 ； → 「ハンドル設定」

3 各項目を設定

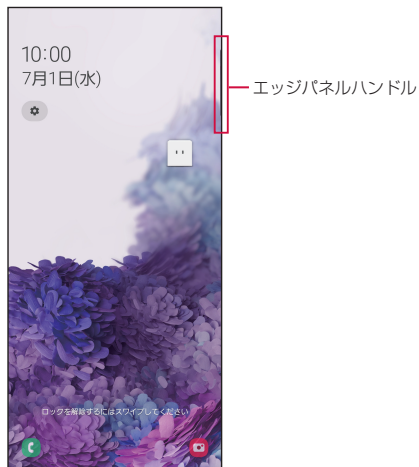
お知らせ

- エッジパネルが複数選択されている場合は、エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」→**⋮**→「並べ替え」をタップするとエッジパネルの並び順を変更できます。

エッジパネルを利用する

1 エッジスクリーンのエッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

- エッジパネルが表示されます。



エッジパネルハンドルを
右側に設定した場合の例

2 エッジパネルをスワイプして使用したいパネルを表示する



- ① 設定**
 - エッジパネルの設定ができます (P.52)。
- ② 現在の位置**
 - エッジパネルの枚数と現在の位置を示します。
- ③ 機能**
 - 各エッジパネルの機能が表示されます。
- ④ 編集**
 - 表示されているエッジパネルの編集ができます。

Edge lightingを設定する

Edge lightingをONにすると、通知をエッジスクリーンの点灯とポップアップで知らせます。Edge lightingで通知する条件や通知を受信するアプリを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」→「エッジスクリーン」

- エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

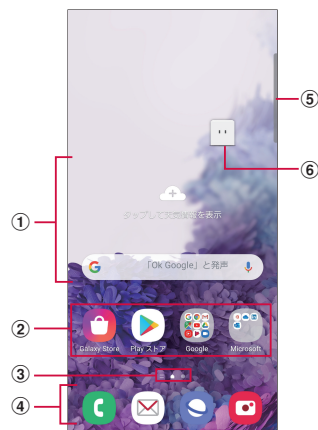
2 「Edge lighting」→

- 「点灯スタイル」をタップすると、エフェクトや色などを設定できます。
- 「アプリを選択」をタップすると、通知にEdge lightingを使用するアプリを選択できます。
- 「Edge lightingでお知らせ」をタップすると、Edge lightingで通知する条件を設定できます。

お知らせ

- 通知の種類によってはEdge lightingで通知されない場合があります。
- 本端末を伏せた状態で通知を受けた場合の色を変更することはできません。

One UI ホーム



ホーム画面の表示内容（表示例）

- ① ウィジェット（例：天気予報、Google検索）**
 - ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリ）の起動や操作を行います。
- ② ショートカット**
 - アプリなどを起動できます。
- ③ ホーム画面の現在の位置**
- ④ ドック**
 - ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
 - ショートカットやフォルダなどを配置できます。
- ⑤ エッジパネルハンドル（P.53）**
- ⑥ マチキャラ（例：my daiz）**
 - メール受信や着信などの情報をお知らせします。

お知らせ

- ホーム画面で画面を上または下にフリックすると、アプリ画面（P.56）が表示されます。
- ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面設定」→ 「アプリボタン」をタップすると、ホーム画面にアプリボタンを表示するかどうかを設定できます。

ショートカットやウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面でショートカットやウィジェットの無い壁紙部分をロングタッチ
 - ・ アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で画面を上または下にフリックし、手順3へ進みます。
- 2 「ウィジェット」
- 3 ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ → 追加したい位置までドラッグして離す

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面でショートカットをロングタッチ → まとめたショートカット上にドラッグ
- 2 フォルダ名を入力
 - ・ キーボードに表示される「完了」をタップします。

壁紙の変更

- 1 ホーム画面でショートカットやウィジェットの無い壁紙部分をロングタッチ
- 2 「壁紙」
- 3 「マイ壁紙」／「ギャラリー」／「壁紙サービス」
- 4 設定したい壁紙を選択
- 5 画面の指示に従って設定

お知らせ

- ・ 「他の壁紙を検索」をタップすると、Galaxy Themes から壁紙をダウンロードできます。
- ・ 「壁紙にダークモードを適用」をONにすると、壁紙にダークモードを適用できます(P.113)。

テーマの変更

- 1 ホーム画面でショートカットやウィジェットの無い壁紙部分をロングタッチ
- 2 「テーマ」
- 3 変更するテーマを選択 → 画面の指示に従って操作

お知らせ

- ・ ショートカット、ウィジェット、フォルダを削除するには、ショートカット、ウィジェット、フォルダをロングタッチ → 「ホームから削除」をタップします。
- ・ ネットワークに接続するウィジェットや壁紙、テーマの場合、パケット通信料が発生する場合や有料の場合があります。

Galaxy Dailyを利用する

Galaxy Dailyでは、アプリの通知情報などをまとめて表示します。本端末の使用状況などを分析し、おすすめ情報などを表示できます。

- 1 ホーム画面で画面を右にフリック
- 2 画面を上下にスワイプして情報を見る

お知らせ

- ・ Galaxy Dailyのすべての機能を利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- ・ Galaxy Dailyで表示される情報は定期的に自動更新されます。手動更新するには、画面を下にスワイプします。
- ・ ■ → 「カード」をタップすると、Galaxy Dailyにカードとして表示するアプリの設定などができます。
- ・ Galaxy アカウントにサインインすると、よりニーズや好みに合ったGalaxy Daily コンテンツを利用できます。

アプリ画面

ホームアプリが「One UI ホーム」のアプリ画面について説明します。

1 ホーム画面で画面を上または下にフリック

- ・アプリ画面が表示されます。



アプリ画面の表示内容（表示例）

- ① 検索**
 - ・文字を入力するとアプリを検索できます。
 - ・検索欄をタップし、 をタップすると音声で検索できます。
- ② フォルダ**
 - ・複数のアプリが格納されています。
- ③ アプリ**
- ④ メニュー**
 - ・アプリを並べ替えたり、ホーム画面やアプリ画面の設定を変更したりすることができます。
- ⑤ マチキャラ（例：my daiz）**
 - ・メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- ⑥ アプリ画面の現在の位置**

ショートカットのホーム画面への追加

- 1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ
- 2 ホーム画面が表示されたら追加したい位置までドラッグして離す

アプリの並べ替え

- 1 アプリ画面で移動したいアプリをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリの削除／無効化

- 1 アプリ画面で削除／無効にしたいアプリをロングタッチ
- 2 「アンインストール」／「無効」
- 3 「OK」／「無効」

お知らせ

- ・無効にしたアプリを有効にしたい場合は、アプリ画面で「設定」→「アプリ」→「全て」→「無効」→有効にしたいアプリをタップ→「有効」をタップします。

アプリ一覧

- ・ホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した場合で説明しています。
- ・アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- ・一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- ・インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	説明
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。
	dcard	dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。
	My docomo	お客様のご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめのサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→ P.93
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→ P.93
	Play ストア	Google Play からアプリをダウンロードできます。→ P.94
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	Gmail	Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。→ P.77
	マップ	Google マップで現在地の確認や目的地の検索などができます。→ P.98
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	ドライブ ^{*1}	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。

アイコン	アプリ	説明
	Playムービー & TV ^{*1}	Google Playから映画を購入できます。
	Duo ^{*1}	ビデオ通話を行います。
	フォト ^{*1}	写真や動画を閲覧できます。Google フォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	ダイヤル	「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信ができます。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→ P.72
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。→ P.79
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→ P.72
	Disney DX	ディズニー、ピクサー、マーベル、スター・ウォーズの4ブランドのニュースやコンテンツを楽しむことができます。
	TikTok	TikTok はショート音楽動画コミュニティです。他の人とコミュニケーションをとったり、音楽動画の撮影、投稿ができます。
	Amazon ショッピング	Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。
	設定	本端末の各種設定ができます。→ P.104
	電卓 ^{*1}	電卓を利用して、さまざまな計算ができます。→ P.102
	時計	アラーム、世界時計などを利用できます。→ P.98
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。→ P.102

アイコン	アプリ	説明
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→ P.78
	あんしんセキュリティ	ウイルス、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策がご利用いただけるアプリです。
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種ごとの画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→ P.153
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→ P.69
	データ保管BOX	データ保管BOX をご利用いただくためのアプリです。データ保管BOX は、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります（ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です）。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換の他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	地図アプリ	車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要です。
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一瞥で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→ P.95

アイコン	アプリ	説明
	iD アプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→ P.97
	ローソン	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
	マクドナルド	マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。→ P.132
	Galaxy Members ^{*1}	Galaxy製品に関する必要な回答を得ることや、イベント、ユーザーコミュニティ、診断、およびカスタマーサービスを活用することができます。
	Galaxy Store	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。→ P.94
	Galaxy Wearable ^{*1}	Galaxyの周辺機器を本端末に接続する時に使用し、それらの機能も管理するアプリです。
	Galaxy Global Goals ^{*1}	グローバルゴールを支援するためのアプリです。
	Galaxy Notes ^{*1}	ノートを作成します。→ P.100
	S Health ^{*1}	健康管理をサポートできるアプリです。→ P.103
	ボイスレコーダー ^{*1}	音声を録音できます。→ P.101
	カレンダー	スケジュールを管理できます。→ P.99
	連絡先	Galaxy が提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。
	ARゾーン	さまざまなARアプリが使用できます。→ P.90
	ヒント	本端末のヒントが確認できます。

アイコン	アプリ	説明
	LinkedIn ^{※1}	ビジネスでのつながりに特化したビジネス用ソーシャルネットワークサービスです。
	Outlook ^{※1}	電子メール機能や予定表などの機能が実装されている、個人情報管理用 Microsoft Office アプリです。
	Office Mobile ^{※1}	Android向けの Microsoft Office アプリです。
	OneDrive	Microsoft OneDrive アプリです。オンラインストレージを利用できます。
	YT Music ^{※1}	YouTube Music が利用できます。
	辞書	辞書を利用して単語などを調べることができます。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。→ P.83
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。→ P.91
	Game Launcher	ゲームの管理をします。→ P.37
	マイマガジン ^{※2}	マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→ P.50

※1 「工場出荷状態に初期化」を行うと、アンインストールされます。再度ダウンロードする際には、Wi-Fi 接続が必要な場合があります。

※2 ホームアプリが「One UI ホーム」の場合に表示されます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.94)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。

電話／電話帳

電話をかける

1 ホーム画面で

2 相手の電話番号を入力

- ・同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。



ダイヤル画面

① 連絡先登録／更新*

電話番号を連絡先に追加登録または更新します。

② 電話番号入力順

入力した電話番号が表示されます。

③ ビデオコール*

ビデオコールを発信できます。

④ メニュー

メニューを表示します

⑤ 検索

最近の検索履歴を表示します。

⑥ 電話発信

入力した電話番号に電話をかけます。

⑦ 削除キー*

一番右側の番号またはカーソルの左側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

3

4 通話が終了したら

お知らせ

- ・1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」(通知)／「184」(非通知)を入力します。「発信者番号通知」(P.66)を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- ・銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。
 - タイヤル画面で、電話番号を入力 → **ⓘ** → 「2秒間の停止を追加」 → 任意の番号を入力 → **☑** をタップすると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号(番号)が自動的に送信されます。
 - タイヤル画面で、電話番号を入力 → **ⓘ** → 「待機を追加」 → 任意の番号を入力 → **☑** をタップすると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号(番号)が送信されます。
- ・VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」*1が「5G / 4G / 3G / GSM(自動接続)」[4G / 3G / GSM(自動接続)]のいずれかに設定され、「通話モード設定」*2がONに設定されていること
 - 国内で「通話モード設定」をOFFにすると音声通信及びデータ通信が利用できなくなるため、常時ONで利用してください。
- ※1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」
- ※2 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「通話モード設定」
- ・VoLTE (HD+) は、通話やビデオコールの音声はVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。VoLTE (HD+) のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE (HD+) 対応機種である必要があります。
- ・ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話と切り替えられます。
 - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
 - 映像はベストエフォート通信(通信の混雑具合に応じた最適速度となる)のため、通信環境により品質は異なります。
 - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
 - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

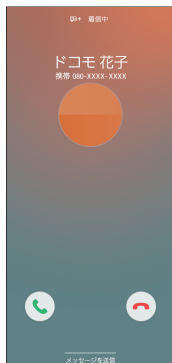
お知らせ

- ・本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- ・本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- ・かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- ・日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- ・「番号指定拒否」(P.66)を設定した状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、番号指定拒否はOFFになります。
- ・一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ・ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。



着信中の画面
(音声通話)



着信中の画面
(ビデオコール)

2 / を表示される円の外側までドラッグ

- 通話が始まります。

着信拒否する場合

 /  を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 拒否理由は変更できます (P.67)。
- 「リマインダーを追加」がONの状態、登録済みの拒否メッセージを送信／新しいメッセージを作成を選択した場合は、リマインダーに自動的に登録されます。
- 「新しいメッセージを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

「伝言メモ」で応答する場合 (音声通話のみ)

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

ビデオコールで自分の映像を相手に送信したくない場合

「自分を非表示」をタップしてから、 を表示される円の外側までドラッグします。

ビデオコールを音声通話で受ける場合

 を表示される円の外側までドラッグします。

- 音声通話が始まります。

3 通話が終了したら /

お知らせ

- 着信中に $\square$ (サイドキー)、音量UPキー／音量DOWNキーを押すと、着信音やバイブを停止できます。
- 「スグ電設定」(P.68) の「応答」をONにすると、電話がかかってきた際に、本端末を耳に当てるだけで電話を受けられます。
- 「通話設定」の「その他の通話設定」(P.67) の「発信者情報を表示」をOFFにすると、着信中の画面の「最近の通話」を非表示にできます。

アプリ起動中に着信を受ける

アプリの起動中に音声通話の着信があると、ポップアップに着信が表示されます。



メッセージを送信

着信中の画面

- 「応答」／「拒否」をタップすると通話を開始／拒否できます。
- 「メッセージを送信」をタップすると、着信拒否をして相手にSMSで拒否理由を伝えたり、伝言メモで応答したりすることができます。
- 画面をタップすると、全画面表示になります。

通話中の操作

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。

2 / を表示される円の外側までドラッグ

- 通話中画面が表示され、通話が開始されます。



音声通話中の画面

ビデオコール通話中の画面

① 高音質表示

② メニューアイコン

- タップしてそれぞれの操作を行います。
- 録音／録音を停止：通話を録音できます。
- ビデオコール：ビデオコールに切り替えます。
- Bluetooth：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
- スピーカー：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
- 消音：自分の声を相手に聞こえないようにします。
- キーパッド／非表示：キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてブッシュ信号を送信します。

③ /

通話を終了します。

④ /

通話中画面のメニューを表示します（P.64）。

⑤ 音声通話

音声通話に切り替えます。

⑥ 自分の画像

 → 「映像エリアを切替」をタップすると、自分の画像と相手の画像が入れ替わります。

⑦ 相手の画像

相手の設定によっては、代替画像が表示されます。

⑧ カメラ

自分の画像を相手に送信するかどうかを切り替えます。

⑨ 切替

相手に送信する映像のカメラを内側／外側で切り替えます。

⑩ 消音

自分の声を相手に聞こえないようにします。

⑪ スピーカー

相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。

お知らせ

- 音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するメッセージが表示されます。「承認」をタップするとビデオコール通話中の画面になります。
- ビデオコール通話中にアプリを「ダイヤル」アプリから切り替えた場合、相手に映像が送信されなくなります。
- ビデオコール中に「AR絵文字」をタップすると、AR絵文字（P.90）を使用できます。

通話中画面のメニュー

通話中画面で **■** / **■** をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
通話を追加※1※2	別の相手に電話をかけます。
通話を保留※1※2	通話を保留します。保留中に「通話を再開」をタップすると通話を再開します。
連絡先を表示／連絡先に追加※2	連絡先を表示／連絡先に追加します。
メッセージを送信※3	メッセージを送信します。
キーパッド※4	キーパッドを表示します。
Bluetoothデバイスに切替／本体に切替※4	Bluetoothデバイスを利用して通話するかどうかを設定します。
音声通話に切替※4	音声通話に切り替えます。
映像エリアを切替※4	自分の画像と相手の画像を入れ替えます。

※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

※2 音声通話中のみ表示されます。

※3 音声通話中のみ表示されます。接続しているネットワークによって、表示されない場合があります。

※4 ビデオコール通話中のみ表示されます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に音量UPキー／音量DOWNキーを押します。
- 音声通話中の画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合やスピーカーをONにしている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、**□**（サイドキー）を押したりすると、通話中画面を表示できます。

通話履歴

履歴画面では、通話履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で **C** → 「履歴」

- 履歴画面が表示されます。



- 検索**
連絡先を検索します。
- 名前、電話番号**
・ タップすると、発信、メッセージ送信、ビデオコール発信、通話相手との履歴詳細などの確認ができます。
- 履歴の内容**
・ 通話履歴の内容（発信／着信／不在着信／ビデオコール）や件数、どれくらい前の履歴か、などが表示されます。
- 切替タブ**
キーパッド、履歴、連絡先、スポットの表示を切り替えます。
- メニュー**
メニューを表示します。

お知らせ

- 不在着信がある場合はステータスバーに **■** が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、画面の指示に従って操作してください。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

- ・ビデオコールでは伝言メモは利用できません。

1 ホーム画面で  →  → 「設定」

2 「伝言メモ設定」→「メッセージで自動応答」→「毎回」／「バイブ／サイレント設定中は有効」／「手動」

- ・「応答メッセージを再生するまでの時間」をタップすると応答時間を0～120秒まで設定できます。
- ・「言語」をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。

お知らせ

- ・録音された伝言メモがある場合は、通知パネルに通知が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、「新しい録音メッセージ」→「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモを確認できます。ホーム画面で  →  → 「設定」→「伝言メモ設定」→「録音メッセージ」をタップしても、伝言メモを確認できます。
- ・1件あたりの最大録音秒数や保存件数については、「主な仕様」(P.153) をご参照ください。

国際電話 (WORLD CALL) を利用する

WORLD CALL は国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。海外での利用については、「海外利用」(P.139) をご参照ください。

- ・通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

1 ホーム画面で  → 「0」「1」「0」→ 国番号 → 地域番号 (市外局番) → 相手の電話番号を入力

- ・地域番号 (市外局番) が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 

3 通話が終了したら 

お知らせ

- ・「国番号 - 地域番号 (市外局番) - 電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALL で発信」をタップすると「+」が国際電話アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で **C** → **:** → 「設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目	説明
ネットワークサービス	留守番電話サービス ^{*1} かかってきた電話に回答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス ^{*1} かかってきた電話に回答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン ^{*1} 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知 電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。
	迷惑電話ストップサービス 相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス 番号通知お願いサービスを開始／停止します。
	着信通知 着信通知を開始／停止します。
	英語ガイダンス 英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定 遠隔操作を開始／停止します。
	公共モード（電源 OFF）設定 電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定	→ P.143
番号指定拒否	拒否する番号のカテゴリ 拒否する番号のカテゴリを設定します。
	電話番号を追加 着信とSMS ^{*2} を拒否する電話番号を管理します。

項目	説明
通話録音	通知 通話の録音が完了したときに、通知を受信します。
	自動録音 選択した番号に発信した通話を自動的に録音します。
	通話の録音ファイル 録音したファイル ^{*3} が表示されます。
	保存先 ^{*4} 保存先を選択できます。
通話通知と着信音	通話開始時のパイプ 発信先の相手と通話を開始したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のパイプ 通話終了時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時に音を再生 発信時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時に音を再生 通話終了時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知 アラームや通知音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信音 着信音を設定します。
	パイプパターン パイプパターンを設定します。
	着信時にパイプ 着信時にパイプを振動させるかを設定します。
	キーボード音を再生 ダイヤルキーボードをタップしたときに操作音を再生します。
	通話応答／終了
	発信者名を読み上げ Bluetoothデバイスおよびヘッドセット接続時に発信者名を読み上げるかどうかを設定します。
	自動応答 ヘッドセットやBluetoothデバイスが接続された状態で電話がかかってきた場合に、設定した時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。
	音量アップキーを押して応答 音量UPキーを押して着信に応答するかどうかを設定します。

項目		説明
通話応答／終了	サイドキーを押して通話終了	⏏ (サイドキー) を押して通話を終了するかどうかを設定します。 「サイドキーを押して通話終了」が ON の状態で、通話中にスリープモードになった場合は、⏏ (サイドキー) を押してスリープモードを解除してから ⏏ (サイドキー) を押すと通話を終了できます。
クイック拒否メッセージ		→ P.67
アプリ使用中の着信の表示		他のアプリの使用時の着信の表示方法を設定します。
伝言メモ設定※1	メッセージで自動応答	→ P.65
	応答メッセージを再生するまでの時間	→ P.65
	言語	→ P.65
	録音メッセージ	→ P.65
自動市外局番		電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する局番 (エリアコード) を登録できます。
スグ電設定		→ P.68
オフィスリンク設定※5		オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。
ビデオコールに使用するアプリ		ビデオコールに使用するアプリを設定します。
その他の通話設定		近くの場所を検索、番号が未登録の連絡先を非表示などについて設定します。
電話アプリについて		「ダイヤル」アプリについて確認します。

※1 ビデオコールではご利用いただけません。

※2 「+メッセージ」アプリで「+メッセージサービスを利用」をオフに設定している場合に、登録した番号からのSMSを拒否します。

※3 通話の録音ファイルがあるときのみ表示されます。

※4 microSD カードを取り付けている場合のみ表示されます。

※5 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

・ お買い上げ時は3件の拒否メッセージが登録されています。

- 1 ホーム画面で  → **⋮** → 「設定」→ 「クイック拒否メッセージ」
- 2 拒否メッセージを入力 → **+**

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 → 「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

削除したい拒否メッセージの  をタップします。

指定した電話番号からの着信やSMSを拒否する

着信やSMSを拒否したい相手の電話番号を登録したり、番号カテゴリを選択したりできます。

- 1 ホーム画面で  → **⋮** → 「設定」→ 「番号指定拒否」
- 2 拒否したい電話番号を入力 → **+**

・ 「拒否する番号のカテゴリ」→ 拒否したい番号カテゴリにチェックを付けると、まとめて拒否できます。

・ 「履歴」／「連絡先」をタップすると、履歴、連絡先から電話番号を選択して登録できます。

登録済みの電話番号を削除する場合

削除したい電話番号の  をタップします。

スグ電設定をする

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で  →  → 「設定」 → 「スグ電設定」

項目		説明
応答		本端末を耳に当てることで応答できます。
ミュート（保留）		通話中にミュート（保留）キーワードを含んだ言葉を発した後に本端末を耳から離すことで本端末のマイクを OFF（ミュート）にできます。
切断	モーション	通話中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を 2 回振ることで切断できます。
	音声	通話中に切断キーワードを発した後に本端末を耳から離すことで切断できます。
発信		ホーム画面で本端末を 1 回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または通話履歴に登録された相手に発信できます。
消音・拒否		着信中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を 2 回振ることで消音・拒否できます。「OFF」「消音」「拒否」「拒否して SMS 送信」から選択して設定できます。
発信ランキング		発信回数の多い相手の確認ができます。
利用者情報の送信		利用者情報の送信について設定できます。
ローミング時スグ電無効		海外渡航時にスグ電機能を自動的に OFF にできます。

お知らせ

- スグ電は以下の場合には正しく動作しません。
 - スピーカーホン利用時
 - イヤホン、ヘッドセット利用時
 - 通話機能を持つ Bluetooth 機器と接続中の場合（ミュート（保留）、切断（音声）、発信（モーション））
 - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
 - 寝ている体勢の場合
 - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
 - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- 着信中に画面 ON のまま鞆やポケットに入れると、まれにモーションが実行されたときみなされ、応答または切断される場合があります。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。（応答をする際）髪の上から受話口／スピーカーをあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口／スピーカーをあててください。（切断（モーション）／消音・拒否をする際）黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断（モーション）／消音・拒否されない）場合があります。その場合は直接置かず、机などから 1cm 程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断（モーション）／消音・拒否）します。
- スグ電はビデオコールには非対応です。
- スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、お知らせアイコンを表示しています。ステータスパネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/>

切断（モーション）について

- モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- 切断する際に、本端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
- 本端末を強く振ると、モーションが実行されたときみなされ、切断される場合があります。

切断（音声）について

- 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）

ミュート（保留）、切断（音声）について

- ・ミュート（保留）、切断（音声）をONにしている状態で通話している時は、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できない場合がございます。通話中にご利用になりたい場合は、終話後にミュート（保留）、切断（音声）の両機能をOFFにすることで利用可能になります。
- ・伝言メモ、通話録音の起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモ、通話の録音中）は、ミュート（保留）、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート（保留）、音声での切断が可能になります。
- ・「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- ・スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- ・通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話の仕方によっては、音声認識ができない場合がございます。

発信について

- ・ホーム画面またはロック画面（画面ロックの解除方法が「スワイプ／タッチ」の場合のみ）表示中に発信が可能です。

消音・拒否について

- ・本端末を強く振ると、モーションが実行されたときみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

ローミング時スグ電無効について

- ・スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

電話帳

電話帳に登録する

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

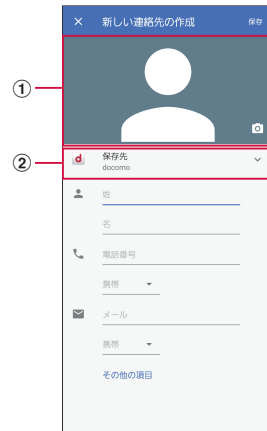
- ・電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。
- ・「ドコモ電話帳」アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、クラウド機能に関する画面が表示され、設定ができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」

- ・お買い上げ時は、連絡先一覧画面が表示されます。

2

- ・アカウント選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



連絡先編集画面

- ① 画像欄
📷 をタップすると、画像を登録できます。
- ② 保存先
アカウントを選択できます。

3 必要な項目を入力

4 「保存」

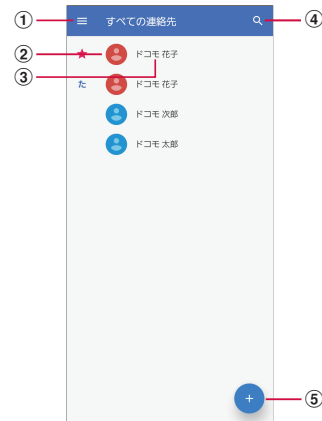
- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で  → 表示するアカウントをタップして表示の設定を変更します。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「連絡先」をタップしてGalaxyが提供する「連絡先」アプリを起動すると、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」



連絡先一覧画面

- ① **メニュー**
 - メニューを表示します。
- ② **電話帳に設定された写真**
- ③ **電話帳に登録された名前**
- ④ **検索**
 - 連絡先を検索します。
- ⑤ **登録**
 - 連絡先を登録します (P.69)。

2 確認したい連絡先をタップ

- 連絡先詳細画面が表示されます。
- 連絡先を編集する場合は、 をタップします。

電話帳から電話をかける

1 連絡先詳細画面で電話をかけたい相手をタップ

2

- ・  をタップするとメッセージを作成したり、 をタップするとビデオコールを発信したりすることができます。
- ・ メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。

連絡先をお気に入りに追加する

1 連絡先詳細画面で をタップして、 にする

- ・ 連絡先一覧画面のインデックスの★に表示されます。

ラベル（グループ）を追加／編集する

1 連絡先一覧画面で → 「ラベルを作成」

2 「アカウントの選択」→ ラベル名を入力

3 「OK」

ラベル（グループ）に連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面で → 追加したいラベル（グループ）をタップ

2 → 追加したい連絡先をタップ

- ・ ラベル（グループ）から連絡先を削除する場合は、削除したい連絡先を含むラベル（グループ）をタップ →  → 「連絡先を削除」→ 削除したい連絡先の  をタップします。

お知らせ

- ・ ラベル（グループ）に追加できる連絡先は、保存先が同じアカウントの連絡先のみです。
- ・ ラベル「ICE」には緊急連絡先を追加できます。追加した連絡先には、端末のロックを解除することなく「緊急通報」をタップして発信できます。「ICE」に追加できる連絡先は、「アプリフォルダ」→「連絡先」→  → 連絡先の保存先を「本体」で保存した連絡先のみです。

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモ nanoUIMカードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

1 連絡先一覧画面で → 「設定」→ 「インポート」／「エクスポート」

- ・ 画面の指示に従って操作します。

ドコモ電話帳を設定する

1 連絡先一覧画面で → 「設定」

2 項目を選択

- ・ 画面の指示に従って操作します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、本端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPC ブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス (SMS) での送受信をすることができます。

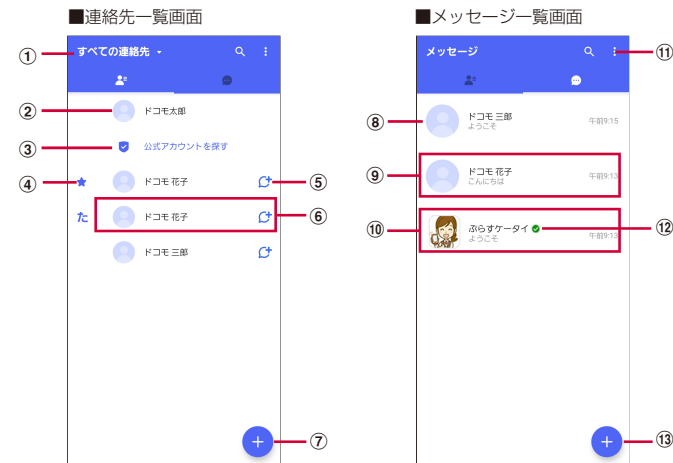
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

+メッセージの詳細については、ホーム画面で「+メッセージ」→「i」→「マイページ」→「ヘルプ」→「使い方ガイド」を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で「+メッセージ」

- をタップすると連絡先一覧画面が、をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



- ① 切替タブ：タップすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者（のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

- ② **マイプロフィール**：お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。
- ③ **公式アカウントを探す**：タップすると公式アカウントストアが表示されます。
- ④ **お気に入りの連絡先**：お気に入り設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。
- ⑤ **+**：+メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができます。写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。
- ⑥ **連絡先**：タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。
- ⑦ **+**：タップすることで連絡先を追加できます。
- ⑧ **プロフィール画像**：相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。
- ⑨ **メッセージ**：タップするとメッセージ画面を表示することができます。
- ⑩ **公式アカウント**：企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角で表示されます。
- ⑪ **!**：サブメニューを表示します。
 - ・すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。
 - ・マイページ：マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。
- ⑫ **✓**：ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。
- ⑬ **+**：新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で「+メッセージ」

2 **+** → **!** → 「新しいメッセージ／新しいグループメッセージ」

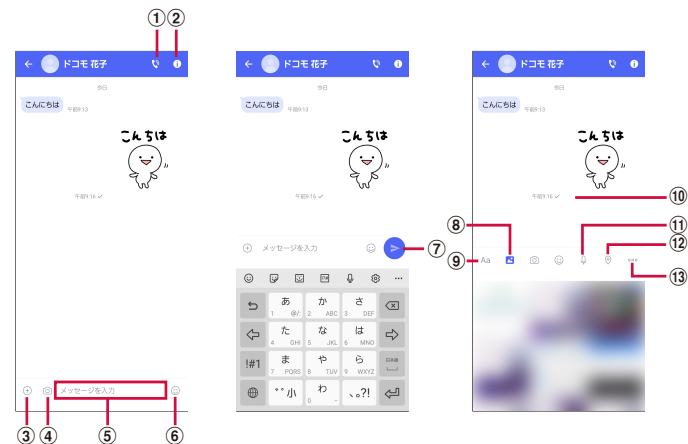
- ・グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者（連絡先に **+** マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- ・連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「名前や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- ・グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、「OK」をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップして文字を入力 → **➡**

- ・宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



- ① **!**：電話アプリが起動し、発信できます。
- ② **!**：サブメニューを表示します。
 - ・連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。
- ③ **+**：写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。
- ④ **📷**：タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。
- ⑤ **📄**：メッセージ入力欄：メッセージを入力することができます。
- ⑥ **😊**：スタンプ選択画面への切り替え
- ⑦ **➡**：入力したメッセージを送信します。
- ⑧ **🖼️**：画像選択画面への切り替え
- ⑨ **Aa**：テキスト入力画面への切り替え
- ⑩ **📶**：メッセージの配信状態を表示します。
 - ✓：相手がメッセージを開覧済み
 - ✓：送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
 - ✓：相手が端末にメッセージを受信済み（アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
 - ✗：メッセージ送信に失敗
- ⑪ **📷**：音声録音画面への切り替え
- ⑫ **📍**：地図画面への切り替え
- ⑬ **...**：連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

お知らせ

ショートメッセージサービス (SMS) についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184 / 186を付した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 読みたいメッセージのスレッドを選択
 - ・メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P.73) を参照してください。

メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → スレッドを選択
- 3 転送するメッセージをロングタッチ → 
- 4 宛先を選択し、メッセージを入力 → 

メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → スレッドを選択
- 3 削除するメッセージをロングタッチ →  → 「削除」
 - ・本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
 - ・画像選択時等、こみ箱アイコンが表示されない場合があります。その場合は、 → 「削除」 → 「削除」をタップしてください。

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 削除するスレッドをロングタッチ
- 3  → 「削除」
 - ・グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 「マイページ」 → 「設定」
- 3 項目を選択

項目	説明
メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスワードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 「公式アカウントを探す」
- 3 「公式アカウントストア」画面にて利用したいアカウントをタップ
- 4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを付ける
- 5 「利用する」

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。
- 設定するEメールアカウントによって、手順が異なります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Outlook」
 - 画面の指示に従ってアカウントを追加してください。

Eメールを作成して送信する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Outlook」
- 2 
 - Eメール作成画面が表示されます。
- 3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力
 - CC/BCCを追加する場合は、CC欄またはBCC欄にアドレスを入力します。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 本文欄に本文を入力
- 6 

お知らせ

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Outlook」
- 2 受信メール一覧を下にスライド
- 3 確認したいEメールをタップ

- ・ 本文画面が表示されます。

お知らせ

- ・  →  → 「通知」 → 「通知」 でEメールの通知について設定できます。
- ・ 本文画面で送信元をタップして「連絡先の追加」をタップすると、メールアドレスを連絡先に登録したりできます。
- ・ データが添付されている場合はEメール一覧画面に  が表示されます。ファイル名をタップすると添付データを確認できます。
- ・ 「フィルター」をタップすると、表示するメールのフィルタリングができます。
- ・  をタップすると、メールの検索ができます。
- ・  をタップすると、予定の作成ができます。
- ・ 本文画面で  をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Eメールの設定を変更する

アカウント設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Outlook」
- 2  →  → 設定したいアカウントをタップ
- 3 設定したい項目をタップ

項目	説明
連絡先の同期	連絡先アプリと同期するかどうかを設定します。
外部の画像をブロック	インターネット上でホストされている画像の自動読み込みをOFFにするかどうかを設定します。
詳細設定	エイリアスについて設定します。
アカウントのリセット	アカウントをリセットします。
アカウントの削除	アカウントを削除します。

基本設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Outlook」
- 2  → 
- 3 設定したい項目をタップ

Gmail

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です (P.32)。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。
- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ≡ →「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
 - Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 読みたいメールをタップ
 - 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
 - メール作成画面が表示されます。
- 3 宛先に送信先のメールアドレスを入力
 - 複数の相手に送信する場合は、カンマ (,) で区切ります。
 - Cc/Bccを追加する場合は、✓ をタップします。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 「メールを作成」欄に本文を入力
- 6 

アカウントを切り替える

複数のEメールアカウントを登録している場合は、アカウントを切り替えることができます。

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 右上のアカウント名のアイコンをタップ
- 3 切り替えるアカウントをタップ
 - 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- ・ エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- ・ 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- ・ 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- ・ 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- ・ 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- ・ 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」→ エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」→ 削除したいエリアメールにチェックを付ける
- 3 「削除」→「OK」

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」→ ⓘ →「設定」
- 3 項目を設定

項目	説明
エリアメールの許可	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
エリアメールの履歴	受信したエリアメールの一覧を表示します。
バイブレーション	エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
メッセージ受信を再通知する	受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。1回を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。2分毎を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。15分毎を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

項目	説明
最大音量を使用する	エリアメール受信時の音量を設定します。 ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。 OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定	受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

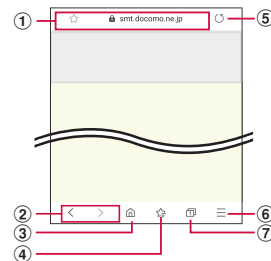
ブラウザアプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で

- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー）が表示されます。



ブラウザ画面

- ① **アドレスバー**
ウェブページのURL や検索したいキーワードを入力します。
アドレスバーをタップすると、クイックアクセスが表示されます。
- ② **戻る／進む**
- ③ **ホーム**
ホームページに設定されているウェブページに戻ります。
- ④ **ブックマーク**
- ⑤ **再読み込み**
- ⑥ **メニュー**
ブラウザのメニューを表示します。
- ⑦ **タブ**
タブを切り替えたり、閉じたり、新しいタブを開いたりします。

お知らせ

- ・アドレスバーやアイコンが表示されていない場合は、画面を下にフリック／スワイプすると表示されます。
- ・ブラウザ画面では、ピンチアウト／ピンチイン操作で画面の拡大／縮小、スクロール／フリック操作で画面のスクロール、ロングタッチ操作でテキストのコピーなどができます。

ウェブブラウザを終了する

- 1 **III** (履歴ボタン) → ブラウザのサムネイルを上フリック
 - ・ブラウザ画面で  (ホームボタン) や  (戻るボタン) をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

新しいタブを開く

- 1 ホーム画面で 
- 2 
 - ・タブマネージャーが表示されます。
- 3 「新規タブ」
 - ・ホームページ (P.82) に設定したページが表示されます。
- 4 画面上部の検索ボックスにURLまたは検索したいキーワードを入力
 - ・タブを閉じる場合は、 → 閉じたいタブの  をタップします。

シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。
また、シークレットモードが有効な間に保存したすべてのブックマークおよびウェブページは、シークレットモードが無効な間は表示できません。

- 1 ホーム画面で 
- 2 
 - ・タブマネージャーが表示されます。
- 3 「シークレットモードをON」
- 4 「開始」
 - ・タブマネージャー画面で  → 「シークレットモード設定」 → 「パスワードを使用」をタップすると、シークレットモードを使用するときにパスワードを設定できます。

お知らせ

- ・シークレットモードをOFFにする場合、タブマネージャー画面で「シークレットモードをOFF」をタップする、またはウェブブラウザを再起動してください。
- ・シークレットモードで閲覧中のウィンドウは、アドレスバーなどがグレーで表示されます。
- ・シークレットタブで閲覧したウェブページは、閲覧履歴や検索履歴に表示されません。また、Cookie は本端末に保存されません。ただし、シークレットタブで閲覧中にダウンロードしたファイルやブックマークなどは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

- 1 ホーム画面で 
- 2 リンクをロングタッチ
- 3 利用したい項目をタップ

お知らせ

- ・表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 三 → 「履歴」
 - ・ 履歴の一覧が表示されます。
 - ・ 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ・ 履歴の一覧で  → 「履歴を全て削除」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ウェブページをブックマークに追加する

- 1 ホーム画面で 
- 2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → ☆

お知らせ

- ・ ブックマークを編集するには、 → 編集したいブックマークをロングタッチ →  → 「ブックマークを編集」 → 各項目を編集 → 「保存」をタップします。

ブックマークからウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 ☆
 - ・ ブックマークの一覧が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ・ ブックマークの一覧で  をタップすると、ブックマークの管理ができます。

ブックマーク／履歴／保存したページのメニュー

ブックマーク／履歴／保存したページをロングタッチすると画面下部にメニューが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で 

2 ≡ →「設定」

3 設定したい項目をタップ

項目	説明
ホームページ	ホームページを設定します。
標準検索エンジン	検索エンジンを設定します。
Galaxy クラウドと同期	Galaxy アカウントにサインインすると、ブックマークや保存したページなどを同期します。
画面表示	画面の拡大／縮小、テキストサイズ、メニューのカスタマイズについて設定します。
プライバシーとセキュリティ	Cookie や個人データなどについて設定します。
サイトおよびダウンロード	ポップアップのブロックやサイトからの通知、ダウンロードファイルの保存先などについて設定します。
便利機能	「トップに移動」ボタンを表示するかどうか、QR コードスキャナーを利用するかなどを設定します。
高コントラストモード	高コントラストモードを有効にするかを設定します。
お問い合わせ	Galaxy Members を利用できます。
ブラウザについて	ブラウザのバージョン情報を表示します。

カメラ／ギャラリー

カメラ

本端末のリアカメラは広角カメラ、光学3倍ズームの望遠カメラ、超広角カメラ、深度測位カメラの4種類のカメラで構成されています。ライブフォーカス機能を使うと、背景をぼかして被写体を際立たせることができます。光学3倍ズームの望遠カメラを使用すると、ズーム時でも明るく鮮明な写真が撮影できます。超広角カメラを使用すると、より広範囲の写真が撮影できます。

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出る場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手で持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードを取り外す場合、電源を切ってから行ってください。
- 超広角レンズを使用することで写真や動画に歪みが出る場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

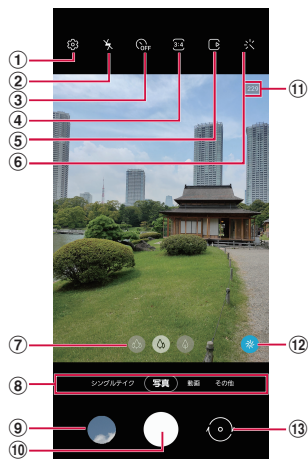
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどに配慮ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で「カメラ」

- 初めて起動したときは、microSDカードが取り付けられていると保存先の変更画面が表示されます。内容を確認して画面の指示に従って操作してください。
- 位置情報タグに関する画面が表示された場合は、内容を確認して画面に従って操作してください。
- 設定の状況によって、表示されるアイコンが異なります。



静止画撮影画面

- ① **設定**
 - タップすると、設定メニューが表示されます。→ P.86
- ② **フラッシュ設定**
 - フラッシュを自動 / ON / OFF に切り替えます。
- ③ **タイマー**
 - セルフタイマーを設定します。
- ④ **縦横比**
 - 画面表示の縦横比を変更できます。
 - をタップすると、高解像度で撮影できます。
- ⑤ **モーションフォト**
 - モーションフォト（写真を撮影する前の短いシーンのビデオクリップを撮影できます。）の ON / OFF を切り替えます。

- ⑥ **フィルター**
 - 選んだ写真の色合いに基づいたフィルターを作成することもできます。
- ⑦ **カメラの切り替え**
 - 広角（標準）カメラ（）、望遠カメラ（）、超広角カメラ（）を切り替えます。
 - 撮影する画像サイズによって、切り替えができない場合があります。
- ⑧ **カメラモードの切替** → P.87
- ⑨ **サムネイル**
 - タップすると、ギャラリーが起動します。
- ⑩ **シャッター（静止画撮影）ボタン** → P.85
 - シャッター（静止画撮影）ボタンを上ドラッグすると、フローティングシャッターボタンを追加できます。→ P.86
- ⑪ **撮影可能枚数、HDR有効**
 - 撮影可能枚数は目安です。撮影をしても表示が変わらない場合があります。
- ⑫ **シーン別に最適化** → P.89
- ⑬ **リアカメラとフロントカメラの切替**
 - 自分撮りができます。
 - 撮影画面で上下にフリックしても切り替えられます。

お知らせ

- カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- 撮影画面をタップすると、フォーカスアイコンと明るさ調整バーが表示されます。
- 自分撮りの画面で をタップすると、ワイド自分撮りで自分撮りができます。
- サイドキーを2回押してもカメラを起動できます。

静止画の撮影

1 ホーム画面で「カメラ」

2 被写体にカメラを向ける

- ・ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- ・一定のズーム倍率になると、画面上に静止画のうточどこがズームされているかわかるガイドが表示されます。

3 □

- ・シャッター音が鳴り、撮影されます。
- ・撮影した静止画は自動的に保存されます。
- ・撮影時に □ をUSB端子側にドラッグしてロングタッチすると、最大で100枚の写真を連続撮影することができます。
- ・□をロングタッチすると、動画撮影ができます。手を離すと録画は終了します。

お知らせ

- ・音量UPキー／音量DOWNキーを押しても静止画を撮影できます (P.86)。
- ・フロントカメラでの撮影画面で □ をタップする代わりに、手のひらをフロントカメラに向けても、静止画撮影ができます (P.86)。
- ・連続撮影した写真は、保存先を「外部SDカード」に設定していても内部ストレージに保存されます。

動画の撮影

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「動画」

- ・撮影画面で左にフリックしても切り替えられます。
- ・📷をタップするとスーパー手振れ補正のON / OFFができます。
- ・📷をタップするとAR手描きを利用できます。
- ・📷→📷をタップすると、8K（高解像度）で録画できます。

3 被写体にカメラを向ける → 📷

- ・開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ・ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- ・動画撮影中に 📷 をタップすると、静止画も撮影できます。
- ・撮影を一時停止するには ⏸ をタップします。一時停止中に 📷 をタップすると、撮影を再開できます。
- ・撮影画面をズームインすると、ズームした方向に合わせて音をマイクが拾い撮影対象の音量が大きくなります。

4 撮影を停止するときは、■

- ・終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- ・動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- ・動画撮影中にズーム機能を長時間使うと、本端末の過熱を防ぐために、動画の画質が低下する場合があります。
- ・光学ズームは暗い環境では動作しないことがあります。
- ・音量UPキー／音量DOWNキーを押しても動画を撮影／停止できます (P.86)。

カメラの設定

1 ホーム画面で「カメラ」

2

- カメラモードにより設定できない項目があります。

項目	説明
シーン別に最適化	「シーン別に最適化」ボタンを撮影画面に表示するか、インテリジェント機能を使用するかどうかを設定します。 → P.89
撮影ガイド	写真の理想的な構図を提案するガイドを利用するかどうかを設定します。→ P.89
自分撮りモードを自動切り替え	撮影対象内に3人以上いると、自動的にワイド自分撮りに切り替えるかどうかを設定します。
QRコードをスキャン	QRコードをスキャンするかどうかを設定します。
シャッターをUSB端子側にスワイプして長押し	シャッター（静止画撮影）ボタンをUSB端子側にスワイプしてロングタッチするときの操作を設定します。 ・「GIFを作成」を選択すると、USB端子側にスワイプしてロングタッチしている間のGIF動画を作成できます。
保存オプション	保存する画像の形式、画像の補正を行うかどうかなどを設定します。 ・「超広角形状補正」をONにすると、超広角カメラで撮影された写真の歪みを補正できます。
リア動画サイズ	リアカメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。 ・解像度をUHD（60 fps）で撮影した動画は、保存先を「外部SDカード」に設定していても内部ストレージに保存されます。
フロント動画サイズ	フロントカメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。
録画の拡張オプション	HEVC形式で保存するか、HDR10+形式で録画するか、動画の撮影中にマイクのズームをカメラのズームに合わせるかどうかを設定します。 ・「HEVC形式で保存」をONにして撮影した動画は、他のデバイスで再生したり、共有することができない場合があります。 ・「HDR10+動画」で撮影した動画の再生には、対応する再生機器またはサービスが必要です。

項目	説明
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON / OFFを設定します。
自動HDR	HDRを使用するかどうかを設定します。
自分撮りのトーン	自分撮りの際の色合いを設定します。
追尾オートフォーカス	撮影画面で選択した被写体を追尾してフォーカスを合わせ続けます。
プレビュー通りの写真	自分撮りの画像を反転させずにプレビュー通りに保存します。
グリッドライン	撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。
位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 ・GPSの電波を正しく受信するため、受信にくい場所での使用は避けてください。→ P.97 ・撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、OFFに設定してください。
撮影方法	音量UPキー／音量DOWNキーでの操作、音声コントロール、フローティングシャッターボタン、手のひらを向ける機能のON / OFFを設定します。
保存先*	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
設定をリセット	カメラの設定をリセットします。
お問い合わせ	Galaxy Membersを利用できます。
カメラについて	カメラアプリのバージョンを確認します。

* microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

3 設定が終了したら、<

お知らせ

- ・「超広角形状補正」をONにした際に、プレビュー画面よりも画角が縮み、意図通り撮影されない可能性があります。
- ・人物などの被写体が画面の端にいる場合は、「超広角形状補正」をONにしても補正が適用されない場合があります。
- ・以下の場合は追尾オートフォーカス機能が動作しない場合があります。
 - 被写体が大きすぎる、小さすぎる場合
 - 被写体が極端に動きすぎる場合
 - 逆光、暗い場所で撮影している場合
 - 被写体の色やパターンと背景が同じ場合
 - 被写体に日よけのように水平なパターンが含まれる場合
 - 極端にカメラが揺れている場合
 - 動画の解像度が高い場合
- 3倍の光学ズームを使ってズームイン、ズームアウトしている場合

カメラモードを切り替える

1 ホーム画面で「カメラ」

2 カメラモードを選択

項目	説明
シングルテイク	シングルテイクで撮影します。→ P.87
写真	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整して撮影します。
動画	動画を撮影します。→ P.85
その他	BIXBY VISION Bixby Visionが利用できます。→ P.88
	ARゾーン AR機能が利用できます。→ P.90
	プロ ISO 感度、露出値、およびシャッタースピードなどを手動で調整します。
	パノラマ 水平または垂直の方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。 ・カメラを一方にゆっくりと動かし、ガイドから白枠がずれないように、本端末を一方にゆっくりと動かしてください。 ・被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。
	食事 強調する領域を指定したり色調を変更して写真を撮影します。

項目	説明
その他	ナイト 非常に暗い場所でも明るい写真を撮影できます。 ・ズーム倍率「x1.0」未満を利用時、撮影状況により、明るさや色の再現で十分な結果が得られないことがあります。
	ライブフォーカス 背景をぼかした写真などのエフェクト撮影ができます。 → P.89
	ライブフォーカス動画 背景をぼかした動画などのエフェクト撮影ができます。 → P.89
	プロ動画 ISO 感度、露出値を調整して動画を撮影します。
	スーパースローモーション スーパースローモーションで再生できる動画を撮影します。 → P.90
	スローモーション スローモーションで撮影します。
ハイパーラプス	さまざまな速度で録画して、オリジナルのタイムラプス動画を作成します。録画するシーンや本端末の動きに応じて、速度を自動的に調整することもできます。

シングルテイクで撮影する

一度の撮影で、さまざまな静止画や動画が自動生成されます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「シングルテイク」

3 をタップし、カメラを動かして撮影する

- ・自動的に撮影が停止します。

4 サムネイルをタップ

- ・生成されたさまざまな撮影結果を確認します。

Bixby Visionを利用する

Bixby Visionでは認識した画像を元に関連情報などを表示できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「BIXBY VISION」

- Bixby Visionに関する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- Bixby Vision画面で **設定** → 「設定」をタップし、Bixby Visionで認識させる対象をあらかじめ選んでください。

3 モードを選ぶ

4 対象にカメラを向ける

- 関連情報が表示されます。
- **アプリ** → 「アプリ」をタップすると、Bixby Vision に対応するAR アプリをダウンロードできます。

Bixby Visionを設定する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「BIXBY VISION」

3 **設定** → 「設定」

項目	説明
ユーザー補助用 Bixby Vision	テキストの読み上げ、風景の説明、色の検出などのモードを追加します。
モード	認識させるモードを設定します。
アプリ	Bixby Vision用のさまざまなARアプリを設定できます。
Bixby Visionアイコンを追加	Bixby Visionのアイコンをホーム画面およびアプリ画面に追加します。
位置情報タグ	各写真に位置情報を追加や埋め込み、および保存します。
Bixby Visionについて	Bixby Visionのバージョンなどを確認します。

お知らせ

- 本機能を使用するにはネットワーク接続が必要です。
- Bixby Visionは「ギャラリー」からも利用できます（P.91）。
- ワインのラベルがうまく認識されない場合は、角度を変えて数回撮影してください。
- 画像のサイズやフォーマット、解像度などによっては、本機能が利用できなかったり、検索結果が得られない場合があります。

ライブ翻訳を利用する

1 Bixby Vision 画面で「翻訳」

2 認識させる対象が認識領域に入るようにカメラを向ける

3 画面上で翻訳元言語と翻訳先言語を選択する

- 認識させる対象の文字が翻訳されて表示されます。

ライブフォーカスで撮影する

背景をぼかして静止画を撮影できます。ライブフォーカスはフロントカメラでも利用できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ライブフォーカス」

3  → 調整バーで背景ぼかしなどを調節

- 調整バーの上のアイコンをタップすると、ぼかし以外のエフェクトを利用できます。

4 撮影する

- 撮影した静止画は自動的に保存されます。

お知らせ

- 本端末と被写体を約 1m ～ 1.5m 離し、撮影してください。
- 十分な光がある場所で撮影してください。
- ライブフォーカスで撮影した画像は「ギャラリー」で「バックグラウンドエフェクトを変更」をタップすると、撮影後に背景のぼかしなどのエフェクトを変更できます。
- 以下の場合は背景のぼかしが適用されない場合があります。
 - 本端末や被写体が動いている場合
 - 被写体が薄いまたは透明である場合
 - 被写体が背景と同じ色である場合
 - 被写体や背景が平らである場合

ライブフォーカス動画で撮影する

被写体の人物の背景にエフェクトをかけて動画を撮影できます。ライブフォーカス動画はフロントカメラでも利用できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ライブフォーカス動画」

3  → 調整バーで背景ぼかしなどを調節

- 調整バーの上のアイコンをタップすると、ぼかし以外のエフェクトを利用できます。

4 撮影する

- 撮影した動画は自動的に保存されます。

お知らせ

- 本端末と被写体を約 0.5m ～ 1.5m 離し、撮影してください。
- 十分な光がある場所で撮影してください。
- 以下の場合は背景のぼかしが適用されない場合があります。
 - 本端末や被写体が動いている場合
 - 被写体が薄いまたは透明である場合
 - 被写体が背景と同じ色である場合
 - 被写体や背景が平らである場合

インテリジェント機能を利用する

シーン別に最適化を利用する

カメラが自動的に撮影対象を検出し、写真の色設定を自動的に調整し最適な写真を撮影できます。撮影対象は食べ物、人物、花、テキストなどのシーンから選択されます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 

お知らせ

- 「シーン別に最適化」のアイコンは検出した撮影対象に応じたアイコンが表示されます。
- 本機能はカメラモードが写真の場合のみ有効です。
- テキストが認識され、撮影画面に「タップでスキャン」と表示された場合は、「タップでスキャン」をタップすると、正面から見たような歪みのないキャプチャを撮影できます。

撮影ガイドを利用する

カメラが撮影対象の位置と角度を認識し、理想的な構図を提案します。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 

3 「撮影ガイド」→ <

4  をベストショットの  に合わせる

- ガイドが黄色くなります。

5 撮影する

- 理想的な構図の写真が撮影できます。

お知らせ

- 本機能はカメラモードが写真の場合のみ有効です。

スーパースローモーションで撮影する

スーパースローモーションでは、見逃したくない瞬間をスローモーションで撮影することができます。撮影後、動画には自動的に音楽が追加されます。

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「スーパースローモーション」
- 3 

- ・  をタップして  にすると、撮影対象が検出領域で検出され、自動的にスーパースローモーションで撮影されます。検出領域をドラッグすると、領域を移動したり領域のサイズを変更できます。

お知らせ

- 十分な光がある場所で撮影してください。十分な光がない屋内で撮影した場合は、次のような撮影結果になる場合があります。
 - 光が少ないことにより画面が暗くなる。
 - 蛍光灯のような光の下で撮影することにより、画面がちらつく。
 - ノイズが発生する。
- 撮影中に本端末が動いた場合は、意図しない瞬間が認識され、スーパースローモーションとして撮影されることがあります。
- 撮影方法で  を選択した場合は、下記の状態になっていると意図しない瞬間が認識され、スーパースローモーションとして撮影されることがあります。
 - 本端末が動いた時
 - 四角い枠の内側で、撮影したい対象の近くで他の物体が動いている場合
 - 蛍光灯などちらつく光の下で撮影する場合
- スーパースローモーション動画はHEVC形式、HDR10+では保存できません。

撮影した動画をアニメーションGIFまたはMP4で保存する

- 1 ホーム画面で「ギャラリー」
- 2 スーパースローモーション動画を選択
- 3 画面を上ドラッグ
- 4 「スーパースロークリップ」から保存したい動画を選択
- 5 「保存」→「GIF」／「MP4」
 - ・ 動画がアニメーションGIFまたはMP4として保存されます。

お知らせ

- ・ アニメーションGIFの解像度は元の動画より低下する場合があります。

ARゾーンを利用する

AR絵文字やAR手書きなどのAR機能が利用できます。

AR絵文字を作成する

顔を認識させてAR絵文字を作成し、「ギャラリー」などで利用できます。作成した絵文字は顔の動きを認識して動きます。

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字カメラ」
- 3 
 - ・ 画面の指示に従ってAR絵文字を作成します。

AR手書きを利用する

認識させた人物や空間上の物体に追従させながら、手書きで書くことができ、その様子を動画でも撮影できます。

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「ARゾーン」→「AR手書き」
- 3 
- 4 手書きで描画する
- 5 
 - ・ 手書きで描画した動画が保存されます。

お知らせ

- ・ リアカメラで利用するには、別途 AR用のアプリのインストールが必要です。

AR絵文字を編集する

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字スタジオ」
 - ・ 画面の指示に従ってAR絵文字を編集します。

AR絵文字を利用する

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字スタンプ」
 - ・ 画面の指示に従ってAR絵文字スタンプを作成します。

スタンプを利用する

自分撮りの際にスタンプを利用できます。

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- 2 「その他」→「ARゾーン」→「デコピク」
 - ・ 画面の指示に従って撮影します。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードなどに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、AGIF、DNG
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM、AV1

- 1 ホーム画面で「ギャラリー」
 - ・ 撮影日別に並んだデータ一覧画面が表示されます。
 - ・ 「画像」／「アルバム」／「ストーリー」／「共有」をタップすると、表示を変更することができます。
 - ・ 「：」をタップすると、カメラを起動したり、各データ一覧画面の機能メニューを表示したりすることができます。
 - ・ Galaxyアカウントにサインインし「共有」をタップすると、アルバムを共有できます。本機能を利用するには電話番号の認証が必要です。

- 2 データをタップ
 - ・ アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
	データ一覧画面に戻ります。
	Bixby Visionが利用できます。
	画面を回転します。 ・ 画面の自動回転がOFFの場合に表示されます。
	選択したデータ種別ごとの機能メニューを表示します。
	「お気に入り」にデータを追加します。
	画像を回転、トリミングなどができます。
	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
	データを削除します。

項目	説明
	連続撮影した写真から画像を選択します。 ・ 連続撮影した場合に表示されます。
バックグラウンドエフェクトを変更	ライブフォーカスで撮影した画像のぼかしなどのエフェクトを変更することができます。
モーションフォトを表示	写真撮影する前の短い動画が表示されます。 ・ モーションフォト機能をONにして撮影した場合に表示されます。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ

- ・ 静止画が表示されます。
- ・ データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

お知らせ

- ・ 静止画の表示画面で画面を上フリックすると、データの詳細を確認できます。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップ

- ・ データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

2 「動画を再生」

- ・ 再生が開始されます。

お知らせ

- ・ 静止画または動画の画面で上にフリックすると、データの詳細を確認できます。
- ・ 本端末のステレオスピーカーでは、ダイナミックなサウンドが再生できます。
また、Dolby Atmosを有効にすると、包み込まれるようなサウンドで再生されます。Dolby Atmosを有効にするには、通知パネルで「Dolby Atmos」をタップします。

動画を編集する

動画のトリミングや、効果の追加、キャプションの追加などができます。

1 データー一覧画面で編集する動画をタップ

- ・ データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

2 「動画を再生」

3 → 「エディター」

- ・ 画面の指示に従って動画を編集します。

お知らせ

- ・ データー一覧画面で編集する動画をロングタッチ→ をタップすると、簡単な動画の編集ができます。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ・ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- ・dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください (P.42)。
- ・dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ・dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で「dマーケット」

お知らせ

- ・dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Google Playのご利用には、Google アカウントの設定が必要です (P.32)。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認
- 3 無料アプリの場合は「インストール」、有料アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指示に従って操作
 - ・多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- ・アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- ・アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- ・お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- ・アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- ・購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- ・Google Playの詳細については、Playストアの画面で ☰ → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。
- ・アプリの自動更新の設定は ☰ → 「設定」からできます。
- ・アプリのアンインストールについては、「アプリのアンインストール」(P.56)をご参照ください。

Galaxy Store

Galaxy Storeを利用して、おすすめの豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

Galaxy Storeに接続する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Galaxy Store」
- 2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- ・Galaxy Storeは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからGalaxy Storeサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ^{*1}、ドコモnanoUIMカード内データ^{*2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データ、ドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

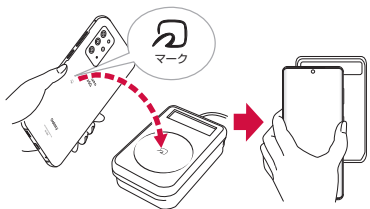
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「おサイフケータイ」
 - 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 利用したいサービスをタップ
- 3 サービスに関する設定を行う
 - サービスのアプリまたはサイトから設定してください。
- 4  マークを読み取り機にかざす

お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができません。
- 本端末の電源を切っても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末のパワーモード設定（P.125）やデータセーバー設定（P.108）にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部の機能がご利用できなくなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- ・マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- ・マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- ・マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC / おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC / おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「おサイフケータイ」

2  → 「NFC / おサイフケータイ ロック」→  → パスワードを入力 → 「OK」

- ・初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。
- ・ロックを解除する場合は、 → 「NFC / おサイフケータイ ロック」→  → パスワードを入力 → 「OK」 をタップします。

お知らせ

- ・「NFC / おサイフケータイ ロック」をご利用になると、ステータスバーに  または  が表示されます。
- ・「NFC / おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC / おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC / おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ・「NFC / おサイフケータイ ロック」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、「NFC / おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ・NFC / おサイフケータイのパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- ・「NFC / おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC / おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモ nanoUIM カードを取り付けた状態で行ってください。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- ・ おサイフケータイでiDをご利用の場合、iD アプリで設定を行う必要があります。
- ・ iD サービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ・ 海外でiD アプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ・ iD に関する情報については、iD のホームページ（<https://id-credit.com/>）をご覧ください。

GPS／ナビ

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「位置情報」

2  →「同意する」

GPSのご利用にあたって

- ・ システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ・ ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ・ 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ・ 建物の中や直下
- ・ 地下やトンネル、地中、水中
- ・ かばんや箱の中
- ・ ビル街や住宅密集地
- ・ 密集した樹木の中や下
- ・ 高圧線の近く
- ・ 自動車、電車などの室内
- ・ 大雨、雪などの悪天候
- ・ 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Google マップを利用するには、データ接続可能な状態（5G / 4G / 3G / GSM）にあるか、Wi-Fi 接続が必要です。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Google マップを開く

- ホーム画面で「Google」→「マップ」
 - メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 検索ボックスに地名などを入力

Google マップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Google マップの「経路」機能を利用します。

- ホーム画面で「Google」→「マップ」
-  → 移動方法を選択
- 上の検索ボックスに地名などを入力
- 下の検索ボックスに地名などを入力
- 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Google マップを利用して、現在地周辺のお店や施設などを検索できます。

- ホーム画面で「Google」→「マップ」
- 検索ボックスをタップ → 以降は画面の指示に従って操作

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「時計」
- 画面下部のタブをタップ
 - 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

- 「アラーム」画面で  → 各項目を設定 → 「保存」
 - 時／分の数字をタップするとテンキーが表示されます。
- アラームを止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ
 - スヌーズを ON にした場合は、「スヌーズ」をタップすると設定した時間経過後に再度アラームが鳴動します。 /  をタップするとスヌーズの時間を変更できます。
 - 「アラーム」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で削除するアラームをロングタッチ → 「削除」をタップします。
- 登録したアラームを OFF にするには、 をタップして  にします。

世界時計を利用する

登録した都市の日付と時刻と時差を一覧で確認できます。

- 「世界時計」画面で  → 表示される地図上の都市をタップ → 「追加」
 - 現在地から都市を登録する場合は、 → 都市をタップします。

お知らせ

- 「都市を追加」画面で検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力すると、都市名／国名で検索することができます。
- 登録した都市を削除するには、「世界時計」画面で削除する都市をロングタッチ → 「削除」をタップします。
-  → 「タイムゾーンコンバーター」をタップすると、タイムゾーンコンバーターが利用できます。

ストップウォッチを利用する

- 1 「ストップウォッチ」画面で「開始」
 - ・測定が開始されます。
 - ・ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。
- 2 測定を止めるには「停止」
 - ・測定を再開するには「再開」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

- 1 「タイマー」画面で時間、分、秒を設定
 - ・時間／分／秒の数字をタップするとテンキーが表示されます。
- 2 「開始」
 - ・タイマーが開始されます。
- 3 タイムアップ通知音を止めるには、**解除**を表示される円の外側までドラッグ
 - ・「タイマー」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
 - ・「リスタート」をタップすると、同じ設定でタイマーがリスタートします。

お知らせ

- ・タイマー画面の **+** をタップすると、よく使用する時間のプリセットタイマーを追加できます。

カレンダー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Google アカウ
ントを登録すると、Google カレンダーと同期することもできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「カレンダー」
- 2 **+**



イベント登録画面

- 3 項目を設定 → 「保存」

Galaxy Notes

テキストを入力したり、絵を描いたりしてノートを作成できます。撮影した写真または絵をノートに追加したり、録音したデータをノートに保存することもできます。

ノートを作成する

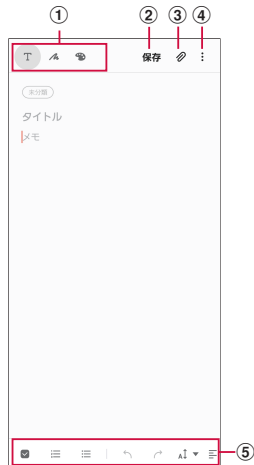
1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Galaxy Notes」

- 一覧画面が表示されます。

2 +

3 ノート作成 → 「保存」

■ 編集画面



編集画面

① ツールバー

- メモの作成方法や、使用するブラシの選択ができます。
- 選択した項目に対応したメニューが画面上や画面下に表示されます。

② 保存

- 現在のノートを保存し、表示画面に戻ります。

③ ファイルを追加

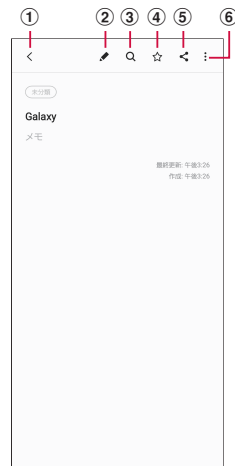
- 画像データや音声データ、オーディオデータを添付します。

④ メニュー

- リッチテキストメニューの表示/非表示を設定します。

⑤ リッチテキストメニュー

■ 表示画面



表示画面

① 一覧画面を表示

② ノートを編集

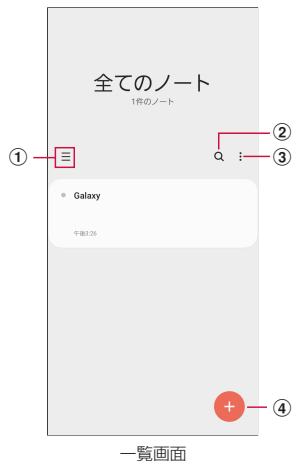
③ ノート内を検索

④ お気に入りに設定

⑤ 表示している画面の共有

⑥ メニューを表示

■ 一覧画面



- ① ノートの表示形式を変更
- ② ノート内を検索
- ③ ノートのメニューを表示
- ④ ノートを作成

ボイスレコーダー

音声を録音する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ボイスレコーダー」
- 2 ●
 - ・録音が始まります。
 - ・録音モードは、「標準」／「インタビュー」／「音声→テキスト変換」をタップして切り替えます。
- 3 ■
 - ・録音が停止します。ファイル名を入力し「保存」をタップすると、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ボイスレコーダー」
- 2 「リスト」
 - ・録音したデータの一覧画面が表示されます。
- 3 再生したいデータをタップ
 - ・再生が始まります。

ボイスレコーダーのメニュー

録音画面、録音したデータの一覧画面／再生画面で ⓘ をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「電卓」

- 画面の自動回転がONの状態では本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。また、画面の自動回転がOFFの状態でも、 をタップすることで、関数電卓に切り替えることができます。
-  をタップすると、単位コンバーターが使用できます。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「データ移行」

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、復元先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoおよび本体のアカウントとして登録されている電話帳です。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末やmicroSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中や省電力設定の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ & 復元」
- 2 「バックアップ」→ バックアップするデータにチェックを付ける → 「バックアップ開始」→「開始する」
 - ・ 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 「トップに戻る」

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ & 復元」
- 2 「復元」→ 復元するデータ種別の「選択」→ 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」
- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」→「開始する」
 - ・ データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - ・ 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 「トップに戻る」
 - ・ 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

電話帳をdocomoのアカウントにコピーする

Google アカウントおよび本体に登録された連絡先を docomo のアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ & 復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」→ コピーする電話帳の「選択」→「上書き」または「追加」
 - ・ コピーした電話帳が docomo のアカウントに保存されます。
- 3 「OK」

S Health

歩数計を使用して運動の管理を行ったり、消費カロリーや睡眠などの記録などを行い、健康管理をサポートします。

- ・ サーバー上にデータをバックアップするには、Galaxy アカウントの設定が必要です。Galaxy アカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「S Health」
 - ・ S Health 画面が表示されます。
- 2 アイテムをタップ

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

項目	説明
接続	→ P.105
サウンドとバイブ	→ P.110
通知	→ P.112
ディスプレイ	→ P.113
壁紙	→ P.114
テーマ	→ P.114
ロック画面	→ P.115
生体認証とセキュリティ	→ P.116
プライバシー	→ P.120
位置情報	→ P.97
アカウントとバックアップ	→ P.121
ドコモのサービス/クラウド	→ P.122
Google	→ P.123
便利な機能	→ P.37
デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール	→ P.124
デバイスカラ	→ P.124
アプリ	→ P.126
一般管理	→ P.127
ユーザー補助	→ P.128
ソフトウェア更新	→ P.130
ヒント	→ P.131

項目	説明
端末情報	→ P.131

お知らせ

- Q をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。
- 本端末の利用状況によっては、「接続」の上に情報が表示されることがあります。

接続

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
Wi-Fi	→ P.105
Bluetooth	→ P.134
NFC / おサイフケータイ 設定	→ P.107
機内モード	→ P.107
モバイルネットワーク	→ P.108
データ使用量	→ P.108
テザリング	→ P.109
その他の接続設定	→ P.110

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に5G / 4G / 3G / GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- インターネット接続がされないネットワークに接続している、またはユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の場合  が表示され、Wi-Fiではなく、モバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、以下のことを行ってください。
 - インターネット接続がされないネットワークの場合：「モバイルデータに切り替え」をOFF（P.106）
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」→「dアカウント設定」をタップして設定します。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2

- 接続可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ → 「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。
- 「自動再接続」をONにすると、Wi-Fiを有効にしたときに自動的にそのネットワークに接続されます。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワードは自動的に保存され、次の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fiネットワークにうまく接続できない場合は、Wi-Fi機器がルーターを再起動させてください。
-  をタップして接続したいネットワークのQRコードをスキャンすると、パスワードの入力なしに接続できます。

■ Wi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークの  →「削除」

お知らせ

- Wi-Fi ネットワークの設定を削除すると、Wi-Fi ネットワークのパスワードも削除され、次の接続時に入力が必要です。

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→  →「詳細設定」のMACアドレスで確認できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「ネットワークを追加」

3 ネットワーク名を入力 → セキュリティを設定

- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」「WPA/WPA2/WPA3-Enterprise」です。

4 パスワードを入力 → 「保存」

- セキュリティを「なし」「Enhanced Open」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■ モバイルデータ通信に切り替えるかを設定する

Wi-Fi接続が低速または不安定な場合、モバイルデータ通信に切り替えるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「モバイルデータに切り替え」→ 

■ 自動的にWi-FiをONにする

Wi-Fiを頻繁に使用する場所でWi-Fi が自動的にON になるようにします。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「自動的にWi-FiをON」→ 

■ 不審なネットワークを検出する

Wi-Fiネットワークで不審な動作が検出されたときに通知を受信するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「不審なネットワークを検出」→ 

■ Wi-Fi省電力モードを設定する

Wi-Fiのトラフィックパターンを分析して、バッテリー使用量を削減します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「Wi-Fi省電力モード」

■ ネットワークを管理する

保存されたWi-Fiネットワークを表示します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「ネットワークを管理」

■ Wi-Fi制御履歴を確認する

最近Wi-FiをON / OFFにしたアプリを表示します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「Wi-Fi 制御履歴」

■ Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2  →「詳細設定」

3 「Hotspot 2.0」の 

■ ネットワーク証明書をインストールする
ネットワーク証明書のインストールを行います。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
- 2  → 「詳細設定」
- 3 「ネットワーク証明書をインストール」

■ 静的IPアドレスを使用する
静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
- 2 接続するWi-Fiネットワークをタップ → 「詳細設定」
- 3 「IP設定」欄をタップ → 「静的」
- 4 必要な項目を設定
 - ・ 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
 - IPアドレス
 - ゲートウェイ
 - ネットワークプレフィックス長
 - DNS 1 / DNS 2
 - ・ プロキシの設定が必要な場合はプロキシから「手動」または「自動設定」を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- 5 「保存」→「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する
Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
- 2  → 「Wi-Fi Direct」
- 3 検索されたデバイス名をタップ
 - ・ 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続されます。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
- 2  → 「Wi-Fi Direct」
- 3 接続を解除するデバイス名をタップ

NFC / おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、モバイル決済やNFCタグの読み取り／書き込みを行うことができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「NFC / おサイフケータイ 設定」

2 項目を設定

項目	説明
NFC / おサイフケータイ ロック	NFC / おサイフケータイの機能をロックします。
Reader/Writer, P2P	NFCタグの読み取り／書き込みを行うかどうかを設定します。 → P.135
タップ&ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「機内モード」

2

お知らせ

- ・ 通知パネルで  をタップしても設定を切り替えることができます。
- ・ 「機内モード」を有効にするとWi-FiやBluetooth、NFCのReader/Writer, P2Pなどの機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

モバイルネットワーク

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■ アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「追加」

- 2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 → 「OK」

- 3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 → 「OK」

- 4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- ・「携帯番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 5 → 「保存」

お知らせ

- ・携帯番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」

- 2 → 「初期値にリセット」→ 「リセット」

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「データ使用量」

- ・データ使用量画面が表示されます。
- ・「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- ・「モバイルデータ使用量」をタップすると期間ごとやアプリごとのモバイルデータ使用量（目安）が表示されます。 をタップするとモバイルデータ使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「データ制限を設定」をONにしているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

データ使用量画面で「データセーバー」→ をタップすると、アプリが自動的に行うモバイルデータ通信を制限できます。
「データセーバー ON時にデータ使用を許可」をタップすると個々のアプリのモバイルデータの使用を許可できます。

Wi-Fiの使用状況を表示する

データ使用量画面で「Wi-Fiデータ使用量」をタップすると、期間ごとやアプリごとのWi-Fi 使用量（目安）が表示されます。

お知らせ

- ・表示されるデータ通信量は目安であり、実際の通信量とは異なる場合があります。ご利用のデータ通信量はMy docomo からご確認ください。
- ・データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されますのでご注意ください。モバイルデータ通信を再開するには、ポップアップ画面で、「再開」をタップするか、データ使用量の上限の設定値を変更してください。
- ・「データセーバー」をONに設定している場合は、テザリング機能を利用できません。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台、Bluetoothテザリングをご利用の場合は最大3台の機器を同時接続できます。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 

- Wi-Fiネットワークの共有に関する説明が表示された場合は、内容を確認し画面の指示に従って操作してください。

■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 

- Wi-Fiネットワークの共有に関する説明が表示された場合は、内容を確認し画面の指示に従って操作してください。

3  → 「Wi-Fiテザリングを設定」

4 「ネットワーク名」欄をタップ → ネットワーク名を入力

- あらかじめ「Galaxy S20+ 5G 」が設定されています。
※ の部分は端末によって異なります。

5 「セキュリティ」欄をタップ

- 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

6 「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力

- 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。
- 必要に応じてその他の設定を行ってください。

7 「保存」

お知らせ

- お買い上げ時は、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- 本端末に接続する際に、QRコードをスキャンして接続することもできます。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で  → 「Wi-Fiテザリングを設定」 → 「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける → 「保存」をタップすると、接続されている無線LAN対応機器の接続が解除されます。
- 「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiテザリング画面に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。
- Wi-Fiテザリング画面で  → 「タイムアウト設定」をタップすると、接続しているデバイスがない場合に、時間を決めて自動的にWi-Fiテザリングを無効にできます。
- Wi-Fiテザリング画面で  → 「Wi-Fi共有」をONにすると、無線LANの接続を他の機器と共有できます。

■ Bluetoothテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、Bluetooth対応機器をインターネットに3台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Bluetoothテザリング」

2 

お知らせ

- Bluetoothテザリング機能を利用するには本端末を検出可能にする必要があります。詳細については、「Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする」(P.134)をご参照ください。

■ USBテザリングを設定する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02 (別売) で接続し、インターネットに接続することができます。

1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to CのType-Cプラグを差し込む

- 接続方法については、「USBケーブル A to Cで接続する」(P.136)をご参照ください。

2 パソコンのUSBコネクタに、USBケーブル A to CのUSBプラグを差し込む

3 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「テザリング」→「USBテザリング」

お知らせ

- USB テザリング中は本端末と microSD カード内をパソコンから参照できません。
- USB テザリングに必要なパソコンの動作環境 (OS) は以下のとおりです。なお、OS のアップグレードや追加 / 変更した環境での動作は保証いたしかねます。
 - Windows 8.1
 - Windows 10

VPN (仮想プライベートネットワーク) に接続する

VPN (Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPN は一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末から VPN アクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

■ VPN を追加する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」

2 **:** →「VPN プロファイルを追加」

VPN を編集する場合

編集する VPN の  をタップ → 各項目を編集 → 「保存」をタップします。

VPN を削除する場合

削除する VPN の  をタップ → 「削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN 設定の各項目を設定

4 「保存」

■ VPN に接続する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」

2 接続したい VPN をタップ

3 必要な認証情報を入力 → 「接続」

- ステータスバーに  が表示されます。

■ VPN を切断する

1 通知パネルを開く → VPN 接続中を示す通知をタップ

2 「切断」

サウンドとバイブ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
サウンドモード	サウンド、バイブ、サイレントから選択します。
着信時にバイブ	→ P.111
着信音	→ P.111
通知音	→ P.111
システムサウンド	サウンドテーマを設定します。
音量	→ P.111
バイブパターン	→ P.111
バイブの強度設定	音声着信時や通知時などのバイブの強弱を調節します。
システムサウンド／バイブ設定	→ P.112
音質とエフェクト	お好みの音質にカスタマイズしたり、サウンドエフェクトを設定したりします。
アプリサウンドの出力デバイスを設定	選択したアプリのメディアサウンドを、別のオーディオデバイスで再生します。

マナーモードを設定する

マナーモード（バイブ、サイレント）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」

2 「バイブ」／「サイレント」

お知らせ

- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中に「音量」の「着信音」（P.111）を変更すると、マナーモード（バイブ、サイレント）が解除されます。
- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- サイレント設定中は「一時的に消音」をONにすると、直前に設定していた「サウンド」／「バイブ」に戻るまでの消音時間を設定できます。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
メディア	音楽などの再生音量を調節します。
通知	通知（P.112）があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS 起動時の音などの音量を調節します。

2 各音量の  を左右にドラッグ

■ 音量UPキー／音量DOWNキーで音量を調節する

1 ホーム画面などで音量UPキー／音量DOWNキーを押す

お知らせ

- 「音量キーでメディアを調整」をONにすると、メディアを再生していない場合でも、音量UPキー／音量DOWNキーでメディアの音量を調整できます。

着信／通知を音や振動で知らせる

電話着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 着信音を設定する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「着信音」

2 設定したい電話着信音をタップ

- 「サイレント」を選択すると、電話着信音は鳴りません。
- ✦ をタップすると、着信音を追加できます。

■ バイブのパターンを設定する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「バイブパターン」

2 設定したいバイブパターンをタップ

■ 通知音を設定する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「通知音」

2 設定したい通知音をタップ

- 「サイレント」を選択すると、通知音は鳴りません。

お知らせ

- マナーモード（バイブ、サイレント）が設定されていないときに「着信時にバイブ」をONにすると、着信時に着信音とバイブが鳴動します。「着信時にバイブ」をOFFにすると、着信音のみ鳴ります。

操作時やキータップ時の音を設定する

操作時やキータップ時に音を鳴らすかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「システムサウンド／バイブ設定」→「タッチ操作」／「画面ロック／ロック解除」／「GPS 通知」／「充電」／「ダイヤルキーパッド」／「Galaxy キーボード」

操作時やキータップ時の振動を設定する

操作時やキータップ時に、本端末を振動させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「サウンドとバイブ」→「システムサウンド／バイブ設定」→「タッチ操作」／「Galaxy キーボード」

通知

通知について設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「通知」
- 2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
操作と返信内容を表示	操作と返信内容を表示するかどうかを設定します。
スヌーズオプション を表示	スヌーズオプションを表示するかどうかを設定します。
アプリアイコンの バッジ	通知を受信したときにバッジをアプリアイコンに表示するかどうか、件数付きで表示するかどうかを設定できます。 ・一部のアプリでは設定できない場合があります。
ステータスバー	ステータスバーの通知内容を設定します。
通知をミュート	→ P.112
最近送信した通知	最近の通知が時間順に表示されます。アプリ名をタップすると、アプリごとに通知の詳細設定ができます。

お知らせ

- ・「通知」画面の最下部に最近送信した通知が表示されることがあります。「全て表示」をタップすると、通知を ON にするかどうか設定できます。

通知を消音する

選択した例外を除いて、着信音や通知音、アラーム音を鳴らさないようにしたり、通知を表示しないようにしたりします。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「通知」→「通知をミュート」
- 2 「今すぐ ON」

お知らせ

- ・通知を消音する時間帯を設定するには、「予定時刻に ON」→ **+** → スケジュールの各項目を設定 → 「保存」をタップします。
- ・通知を消音する期間を設定するには、「期間」をタップして設定します。
- ・「通知を非表示」をタップすると、非表示の設定ができます。
- ・例外を許可するには、「例外を許可」→ 例外にする項目、条件などを設定します。

ディスプレイ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
ダークモード設定	夜間でも快適に使用できるように、目に優しい暗いテーマを使用します。 - 一部のアプリでは反映されない場合があります。 - ダークモードへの切り替えは通知パネルからもできます。
明るさ	→ P.113
明るさ自動調整	ディスプレイの明るさ調整を記録し、周囲の明るさが記録時と同様の場合に自動的に調整します。
動きの滑らかさ	画面のリフレッシュレートを変更してよりスムーズなスクロール操作などができます。
ブルーライトフィルター	画面から発するブルーライトの量を制限します。
画面モード	画面のコントラストやホワイトバランスを設定します。→ P.113
文字サイズとフォントスタイル	文字サイズやフォントスタイルなどを変更できます。
画面のズーム	画面のズームを変更できます。
画面の解像度	画面の解像度を設定します。
全画面アプリ	全画面の縦横比で使用するアプリを選択します。
画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。
ホーム画面	ホーム画面のカスタマイズができます。 ホーム画面が「One UI ホーム」の場合に表示されます。
かんたんモード	シンプルなホーム画面レイアウトと大きなアイコンを使用するかんたんモードにします。 ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合は、画面のズームと文字サイズのみ大きくなります。
エッジスクリーン	エッジスクリーンの設定をします。→ P.52
ナビゲーションバー	→ P.35

項目	説明
誤操作を防止	本端末がポケットやバッグの中などの暗い場所にあるときに、画面のタッチ操作を検出しないようにします。
タッチ感度	画面保護フィルム使用時の画面のタッチ感度を向上させます。
充電情報を表示	Always On DisplayがOFF、または表示されていないときに、バッテリーレベルと充電完了までの推定時間を表示します。
スクリーンセーバー	→ P.113

ディスプレイの明るさを調整する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」

2 「明るさ」の を左右にドラッグ

画面のホワイトバランスを調整する

画面の色を詳細に調整できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」→「画面モード」

2 「ホワイトバランス」の を左右にドラッグ

- 「画面モード」が「鮮やか」のときのみ調整できます。
- 「ブルーライトフィルター」がONの間は調整ができません。
- 「鮮やか」モードは一部のアプリでは適用されない場合があります。
- 「暖色」側に調整すると赤のトーンが増加し、「寒色」側に調整すると青のトーンが増加します。
- 「詳細設定」をタップすると、赤、緑、青の色ごとに、より詳細にホワイトバランスを調整できます。

スクリーンセーバー

充電中に表示するスクリーンセーバーのON / OFF、種類を設定します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ディスプレイ」→「スクリーンセーバー」

2 スクリーンセーバーを選択

-  をタップすると選択したスクリーンセーバーの設定ができます。
- 端末の使用状況によっては表示される項目が異なることがあります。

壁紙

壁紙を設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「壁紙」
- 2 「マイ壁紙」／「ギャラリー」／「壁紙サービス」
- 3 設定したい壁紙を選択
- 4 画面の指示に従って設定

お知らせ

- 手順2で、「他の壁紙を検索」をタップすると、Galaxy Themesから壁紙をダウンロードできます。
- 「壁紙にダークモードを適用」をONにすると、壁紙にダークモードが適用できます（P.113）。

テーマ

テーマなどを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「テーマ」
- 2 「テーマ」／「壁紙」／「アイコン」／「AOD」
- 3 設定したいテーマなどを選択
- 4 画面の指示に従って設定

ロック画面

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ロック画面」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
画面ロックの種類	→ P.115
Smart Lock	承認済みの場所やデバイスが検出されると、自動的にモバイル端末のロックが解除されます。 ・あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。
安全ロック設定*	自動ロック、サイドキーですぐにロックなど安全ロック機能を設定します。 ・「自動初期化」がONのときに本端末のロック解除に15回失敗すると、本端末が初期化されます。
Always On Display	→ P.38
壁紙サービス	ガイドページの表示や壁紙サービスでダイナミックロック画面などを使用するかどうかを設定します。
時計のスタイル	ロック画面および Always On Display で使用する時計のスタイルおよびカラーを設定します。
ローミング時計	ローミング時に、現在地の都市とホーム都市のタイムゾーンを両方表示するデジタル時計に変更するかどうかを設定します。
FaceWidget	ロック画面および Always On Display で表示するウィジェットを選択します。
自分の連絡先情報	電話番号やEメールアドレスなどの情報を入力して、ロック画面に表示します。
通知	ロック画面および Always On Display での通知について設定します。
ショートカット	ロック画面から起動するアプリを選択します。
ロック画面について	ロック画面のバージョンやオープンソースライセンスを確認します。

※「画面ロックの種類」によって表示が異なります。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ロック画面」→「画面ロックの種類」

2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力

- ・「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の英数字で設定してください。
- ・ロック画面への通知情報の表示のしかたを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ・画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ロック画面」→「画面ロックの種類」→設定した解除方法を入力→「なし」をタップします。
- ・解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すること、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。10回連続して失敗すると、それ以降は失敗すること、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。
 - PINやパスワードを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobileのホームページにアクセスし、「ロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。本機能は本端末がWi-Fiまたはモバイルネットワークに接続され、Galaxyアカウントが設定されている場合に利用できます。詳細については、Find My Mobileのホームページをご参照ください。→ P.120
- ・Galaxyアカウントが設定されていない状態で画面のロック解除方法を忘れると、本端末を初期化するまで本端末が使えません。このことに関して当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

生体認証とセキュリティ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
顔認証	→ P.117
指紋認証	→ P.118
生体認証の詳細設定	画面切り替え効果：生体認証を使用して本端末のロックを解除するときに、切り替え効果を表示するかどうかを設定します。
生体認証セキュリティパッチ	セキュリティパッチのバージョンを確認します。
Google Play プロテクト	Google Play プロテクトの設定をします。
端末リモート追跡	→ P.120
セキュリティ アップデート	セキュリティの更新状態を確認したり、更新があるかをチェックしたりできます。
Google Play システム アップデート ^{※1}	Google Play システムの更新状態を確認したり、更新があるかをチェックしたりできます。
Galaxy Pass	→ P.119
不明なアプリをインストール	提供元不明なアプリのインストールを許可します。
セキュリティフォルダ	プライベートなコンテンツなどをロックしてセキュリティを強化します。
外部SDカードを暗号化または復号	「外部SDカードを暗号化」をタップし、microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。暗号化を行うと項目名が「外部SDカードを復号」に変わります。 microSDカードを暗号化した状態で「工場出荷状態に初期化」を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。「工場出荷状態に初期化」を行う前に、「外部SDカードを復号」をタップし、暗号化解除を行ってください。

項目	説明	
その他のセキュリティ設定	SIMカードロック設定	→ P.33
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を一時的に表示させるかどうかを設定します。
	デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを有効にするかどうかを設定します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	セキュリティ証明書を表示	セキュリティ証明書を表示します。
	ユーザー証明書	ユーザー証明書を表示します。
	ストレージからインストール ^{*2}	システムメモリ（本体）から証明書をインストールします。
	証明書を消去	VPNの設定情報など、すべての証明書データとパスワードを削除します。
	トラストエージェンツ ^{*3}	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。
	アプリ固定モード	本端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
セキュリティポリシーを更新	セキュリティポリシーを更新して本端末のセキュリティを向上させます。	

※1 Googleアカウントを設定している場合のみ表示されます。

※2 インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

※3 「画面ロックの種類」（P.115）によって表示が異なります。

顔認証

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

■ 顔認証利用時の注意事項

- ・ 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- ・ 顔認証の安全性はパターン、PIN、パスワードまたは指紋よりも劣ります。

■ 顔登録時の注意事項

- ・ 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- ・ 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- ・ 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

顔認証機能を設定する

■ 顔を登録する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「顔認証」
 - ・ 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作後に手順3へ進みます。
- 2 「続行」→ 画面のロック解除方法を設定
 - ・ 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.115)をご参照ください。
- 3 「続行」→ 画面の指示に従って顔を登録 → 「完了」

■ 顔データを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「顔認証」
 - ・ 顔認証を保護するセキュリティを解除します。
- 2 「顔データを削除」→ 「削除」

顔認証を行う

- 1 ロック画面／顔認証中の画面で、顔がフロントカメラの前になるように本端末を持つ
 - ・ 正しく認証されない場合は、顔登録時に登録したセキュリティ解除方法で認証操作を行ってください。

お知らせ

- ・ 本端末のロック解除に顔認証を使用しない場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「顔認証」で「顔認証ロック解除」をOFFにします。
- ・ 顔が正しく認証されない場合は、画面をスワイプして、顔登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。
- ・ 認証操作に5回失敗すると、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。

指紋認証

指紋認証機能は、指紋センサーに指を当てて行う認証操作です。

■ 指紋認証利用時の注意事項

- 画面保護フィルムを使用する場合、指紋センサーに対応した製品であることを確認してください。
- ディスプレイに市販の画面保護フィルムを貼り付けると、指紋認証に失敗する場合があります。
- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（新しく指を当てた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、画面上のセンサーに指を置き、振動したら指を離し、これを繰り返します。指紋の端までキャプチャできるように毎回指の位置を変えてください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に当ててください。
- （サイドキー）を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識することがあります。当社では本端末を使用したこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面や操作する指先に汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、ペン先など先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- ほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定します。指紋は最大4件まで登録できます。

■ 指紋を登録する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「指紋認証」
 - ・ 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作後に手順3へ進みます。
- 2 「続行」→ 画面のロック解除方法を設定
 - ・ 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.115)をご参照ください。
- 3 以降、画面の指示に従って指紋を登録 → 「完了」

■ 指紋を削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「指紋認証」
 - ・ 指紋認証を保護するセキュリティを解除します。
- 2 削除する指紋をロングタッチ → 「削除」→ 「削除」

指紋認証を行う

- 1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー全体を覆うように指を置く
・ 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

お知らせ

- ・ 本端末のロック解除に指紋認証を使用しない場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「指紋認証」で「指紋ロック解除」をOFFにします。
- ・ 指紋が正しく認証されない場合は、画面をスワイプして、指紋登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。
- ・ 認証操作に5回失敗すると、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。

Galaxy Pass

Galaxy Passを使うと顔認証（P.117）、指紋認証（P.118）の生体認証を使ってウェブページやアプリなどで簡単にサインインできます。

- ・ Galaxy Passを利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- ・ Galaxy Passを使ったサインインは「ブラウザ」アプリ（P.79）などの一部のアプリのみ対応しています。またいくつかのウェブページは本機能に対応していない場合があります。

Galaxy Passを設定する

Galaxy Passに各生体認証を登録する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「顔認証」／「指紋認証」
・ 各生体認証を保護するセキュリティを解除します。
- 2 「Galaxy Pass」
- 3 以降、画面の指示に従って設定
・ ホーム画面にGalaxy Passのアイコンが表示されます。

Galaxy Passの設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「Galaxy Pass」
・ Galaxy Pass設定時の生体認証（指紋認証）を使用してユーザー認証を行います。

2 各項目を設定

Galaxy Passのデータを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「Galaxy Pass」
・ Galaxy Pass設定時の生体認証（指紋認証）を使用してユーザー認証を行います。

- 2 ⓘ → 「設定」→「データを削除」→「削除」

- 3 Galaxyアカウントのパスワードを入力 → 「OK」

Galaxy Passを使用する

ウェブページのサインインにGalaxy Passを使用する

- 1 「ブラウザ」アプリでサインインしたいウェブページを開く
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、サインインをタップ
- 3 ポップアップ画面でチェックを付けて「保存」
・ Galaxy Passにサインイン情報が保存され、次回からGalaxy Passを使用してサインインができます。

アプリのサインインにGalaxy Passを使用する

- 1 サインインしたいアプリを起動する
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、サインインする
- 3 ポップアップ画面が表示されたら「保存」
・ Galaxy Passにサインイン情報が保存され、次回からGalaxy Passを使用してサインインができます。

■ Galaxy アカウントでのサインインに Galaxy Pass を使用する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「Galaxy Pass」
 - Galaxy Pass 設定時の生体認証（指紋認証）を使用してユーザー認証を行います。
- 2 ⓘ →「設定」→「アカウントと同期」
- 3 「Galaxy Pass で認証」
 - Galaxy Pass を使用して Galaxy アカウントへのサインインができます。

お知らせ

- 保存されたサインイン情報は Galaxy Pass 画面でアカウント情報をタップすると確認、編集、削除できます。

端末リモート追跡について

遠隔操作で端末の追跡や管理をします。

- 端末リモート追跡を利用するには、Galaxy アカウントの設定が必要です。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「生体認証とセキュリティ」→「端末リモート追跡」
- 2 ⓘ
 - 画面の指示に従って設定します。
 - 既存の Galaxy アカウントがある場合は、サインインしてください。→ P.32
- 3 パソコンで Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを開く
 - 詳細については以下のホームページをご覧ください。
<https://findmymobile.samsung.com/>
- 4 Galaxy アカウントでサインイン後、画面の指示に従って設定を行う

プライバシー

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「プライバシー」
- 2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
権限の管理	アプリの権限を設定します。
診断データを送信	診断情報の報告をするかどうかを設定します。
マーケティング情報を受信	Eメールやプッシュ通知などで特別キャンペーンやマーケティング情報を受信するかどうかを設定します。
Samsung プライバシーの Web サイト	Galaxy アカウントに関連付けられた個人データを管理します。
カスタマイズサービス	Samsung のアプリやサービスでコンテンツをカスタマイズします。
デバイス パーソナライズ サービス	交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。
Google の自動入力サービス	Google アカウントに保存されているパスワード、住所、クレジットカードなどの情報を確認、管理します。
Google ロケーション履歴	本端末を持って訪れた場所を保存するかどうかを設定します。データを保存すると、Google サービス全体でさらにカスタマイズされた機能を利用できます。
アクティビティ管理	ウェブとアプリのアクティビティを保存するかどうかを設定します。データを保存すると、Google サービス全体でさらにカスタマイズされた機能を利用できます。
広告	Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
使用状況と診断情報	使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかどうかを設定します。

アカウントとバックアップ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
アカウント	→ P.121
バックアップと復元	→ P.122
Galaxy クラウド	→ P.122
Smart Switch	古い端末から画像、連絡先などのコンテンツを転送します。

アカウント

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」

項目	説明
docomo	あらかじめ docomo のアカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.121
データを自動同期	アカウントのデータを自動同期するかどうかを設定します。

お知らせ

- 「アカウント追加」で Google アカウントを設定すると、Gmail や Google Play などの Google サービスがご利用になれます。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」→「アカウント追加」

2 追加したいアカウントの種類をタップ

3 画面の指示に従って設定

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」→ 変更するアカウントをタップ → 「アカウントを同期」→ 同期させる項目のみ ON にします。アカウントによって項目名称や手順が異なる場合があります。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」→ 同期するアカウントをタップ → 「アカウントを同期」→ 「今すぐ同期」をタップします。アカウントによって項目名称や手順が異なる場合があります。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウント」

2 削除したいアカウントをタップ → 「アカウントを削除」

- パスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- アカウントによっては手順が異なります。

3 「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」(P.128)を実行してください。

バックアップと復元

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「バックアップと復元」

項目	説明
データをバックアップ	Galaxy アカウントを使用して、データをバックアップします。
データを復元	Galaxy アカウントを使用して、バックアップデータを復元します。
データのバックアップ	Google アプリの設定やデータなどを Google サーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップする Google アカウントを設定します。
Google アカウント*	Google アカウントと関連するアプリの各種バックアップを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元するように設定します。
外部ストレージ転送	Smart Switch を使用してデータを外部 SD カードまたは USB ストレージデバイスにバックアップしたり、バックアップデータを復元したりすることができます。

※「データのバックアップ」を ON に設定している場合のみ表示されます。

Galaxy クラウド

Galaxy クラウドを利用した連絡先やカレンダーやブラウザ、ギャラリーなどのデータの同期やバックアップと復元について設定します。Galaxy クラウドの利用には、Galaxy アカウントへのサインインが必要です。

ドコモのサービス／クラウド

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
dアカウント設定	ドコモアプリで利用する dアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋）を利用した dアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリデータバックアップ	ドコモアプリのバックアップの設定をします。
ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定やこれまでに受信した通知の確認ができます。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを利用するための設定をします。
オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末アプリ情報送信	アプリ情報をドコモが管理するサーバへ送信するための設定を行います。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定	本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USB デバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加表示される場合があります。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、Google設定画面で ⓘ をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「Google」

2 項目を選択して設定を行う

デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール

本端末の日常の使用履歴やお子様の使用状況を確認できます。画面の点灯時間やロック解除の回数などが確認できます。各アプリの使用時間を制限したり、通知設定を変更することもできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
ダッシュボード	スクリーンタイム 画面点灯時間やアプリごとの点灯時間を確認できます。
	受信通知件数 受信通知件数が表示されます。
	ロック解除 ロック解除回数が表示されます。
スクリーンタイムの目標	本端末を1日に使用する時間を設定します。
ロック解除の目標	本端末を1日に何回ロック解除するかを設定します。
アプリタイマー	各アプリの「タイマーなし」をタップすると、アプリの使用時間を制限できます。制限時間に達すると、アプリは使用できなくなります。
フォーカスモード	自分の選択したアプリと一部のアプリのみの使用や、通知の受信ができます。
ウィンドダウン	就寝前にゆっくりとくつろげるように、画面をグレースケールに変更したり、アプリの通知をOFFにできます。 また、本機能を有効にする時刻の設定などができます。
音量モニター	音量をモニターする音源を選択して、耳を安全に保護します。
ペアレンタルコントロール	コンテンツやその他の制限を追加して、お子様が「スクリーンタイム」のバランスを取りやすくすることができます。 ・ペアレンタルコントロールを利用するには、Google ファミリーリンクアプリのインストールおよび設定が必要です。

デバイスケア

本端末の状態の確認やバッテリー、ストレージ、メモリ、セキュリティの設定を行います。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」
・本端末の状態が表示されます。さらに最適化を行うには「今すぐ最適化」などをタップしてください。

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
バッテリー	→ P.124
ストレージ	→ P.125
メモリ	→ P.125
セキュリティ	→ P.125

お知らせ

・デバイスケア画面で ⓘ →「詳細設定」→「自動最適化」をタップすると、1日に1回本端末を最適化するかどうかや最適化する時刻を設定できます。

バッテリー

電池使用量データや電池残量、パワーモードに関する設定、アプリごとの使用量などを表示します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「バッテリー」

項目	説明
バッテリーの推定残り使用時間*	充電していないときに、バッテリーが使用できる推定時間が表示されます。
充電完了までの時間*	充電しているときに、充電完了までの推定時間が表示されます。ただし、低温または高温の環境で充電した場合、充電完了までの推定時間が表示されない場合があります。
バッテリー残量*	電池残量がパーセントで表示されます。

項目		説明
バッテリーの使用状況		バッテリーの使用量を表示したり、バッテリーをどのアプリが消費しているか確認したりできます。また、アプリごとにバッテリー使用量を最適化できます。 バッテリー使用量の最適化の設定を変更するには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」→アプリを選択→「バッテリー」→「バッテリー使用量を最適化」→「非最適化アプリ」→「全て」で設定を変更するアプリを選択します。
パワーモード		パワーモードを「高精細モード」「最適化モード」「標準省電力モード」「最大省電力モード」から設定します。 「省電力を最適化」をONにすると、使用パターンに基づいてバッテリーの節約をするかどうかを設定できます。
アプリのバッテリー使用量を管理		頻繁に使用しないアプリのバッテリー使用量を制限したり、アプリをしばらく使用していない場合、スリープ状態に設定したりするかどうかを設定します。
ワイヤレスパワーシェア		ワイヤレスパワーシェアによる給電を行うかどうかを設定します。また、給電を停止する本端末のバッテリー残量を設定します。
充電	急速充電	ケーブル接続による急速充電を行うかどうかを設定します。
	超急速充電	ケーブル接続による超急速充電を行うかどうかを設定します。
	急速ワイヤレス充電	ワイヤレスによる急速充電を行うかどうかを設定します。

※ 端末の設定や使用状況によっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

- パワーモードの設定するモードによっては、一部のアプリの通知が表示されない場合があります。

ストレージ

本端末やmicroSDカードのメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「ストレージ」
 - ストレージの空き容量などが表示されます。
 - 「外部SDカード」をタップすると外部SDカードの空き容量などを確認できます。

■ ストレージの設定を行う

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「ストレージ」→「詳細設定」

項目	説明
システムメモリ（本体）	本端末のデータ容量を表示します。アプリや写真など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
外部SDカード*	microSDカードのデータ容量を表示します。 「初期化」をタップすると、microSDカードを初期化します。 「マウント解除」をタップすると、microSDカードのマウントが解除されます。マウント解除後に「外部SDカード」→「マウント」をタップすると、マウントできます。

※ microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

お知らせ

- 本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

メモリ

メモリの状態を確認します。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「メモリ」
 - メモリの空き容量などが表示されます。さらに空き容量を増やすには「今すぐ確保」をタップしてください。

お知らせ

- 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

セキュリティ

本端末の保護を行います。

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「セキュリティ」→「端末をスキャン」
 - 本端末の保護の状態が表示されます。
 - マルウェア対策を有効にするかどうかの画面が表示された場合は「ON」をタップします。

アプリ

アプリの設定をします。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」

2 アプリをタップ

- 画面の指示に従って各アプリを設定します。

お知らせ

- アプリ設定画面で ⓘ →「標準アプリ」をタップすると、通常使うホーム画面やブラウザアプリなどを設定できます。
- アプリ設定画面で ⓘ をタップすると、システムアプリを表示したり、アプリの権限の設定などができます。

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、ホーム画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」

2 無効化するアプリをタップ →「無効」→「アプリを無効化」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」→「全て」→「無効」→有効化するアプリをタップ →「有効」をタップします。

アプリのアクセス権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

許可してアクセス権限を付与すると、アプリ／機能は該当する機能や情報を利用できるようになります。

(例) ボイスレコーダーを初めて起動した場合

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ボイスレコーダー」

2 「許可」／「許可しない」

- 許可する権限により、「アプリの使用中的み許可」なども表示されます。画面の指示に従って操作します。

お知らせ

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アプリ」→ 設定を変更するアプリをタップ →「権限」→ 変更する権限をタップ →「許可」／「許可しない」をタップします。

一般管理

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
言語とキーボード	→ P.127
日付と時刻	→ P.127
お問い合わせ	Galaxy Membersを利用できます。
リセット	→ P.127

言語とキーボード

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」

項目	説明
言語	使用する言語を設定します。
オンスクリーンキーボード	Galaxyキーボード／ドコモ文字編集／Google音声入力について設定します。 「標準キーボード」をタップすると、標準で使用するキーボードを設定できます。 「キーボードボタンを表示」をONにすると、ナビゲーションバーにキーボードボタンが表示されます。
ハードウェアキーボード	外付けキーボードを使用する際の設定をします。
自動入力サービス	自動入力サービスの設定をします。
テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。
メインマウスボタン	メインマウスボタンを左／右表示に設定します。

日付と時刻

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「日付と時刻」

項目	説明
自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。お買い上げ時は自動的に補正されるように設定されています。
タイムゾーンを選択 ^{*1}	タイムゾーンを設定します。
日付設定 ^{*1*2}	日付を設定します。
時刻設定 ^{*1*2}	時刻を設定します。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。

※1 「自動日時設定」をOFFにすると表示されます。

※2 日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

お知らせ

- ・ バッテリーが放電されると、日付と時刻がリセットされます。

リセット

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「一般管理」→「リセット」

項目	説明
設定をリセット	個人データ、ダウンロードしたアプリの設定、セキュリティ、言語、およびアカウント設定を除き、本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。
ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothなどのネットワーク設定をお買い上げ時の状態にリセットします。
ユーザー補助設定をリセット	ユーザー補助設定をお買い上げ時の状態にリセットします。

項目	説明
工場出荷状態に初期化	本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 お買い上げ時にプリインストールされているアプリのうち、一部のアプリはアンインストールされますのでご注意ください。一度アンインストールされても「Play ストア」(P.94) などから再度ダウンロードできる場合があります。
自動再起動	設定した曜日・時刻から1時間以内に本端末を自動的に再起動させるかどうかを設定します。 再起動によって本端末は最適化されます。このとき、保存されていないデータは失われます。

ユーザー補助

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ユーザー補助」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
スクリーンリーダー	Voice Assistant ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	チュートリアル タッチ操作の練習やチュートリアルを行います。 ・「Voice Assistant」をON にすると使用できます。
	クイック入力 Galaxyキーボードおよびキーパッドを使用するときに、キーを1回タップするだけで入力できます。 ・「Voice Assistant」をON にすると表示されます。
	設定 「Voice Assistant」の設定を行います。
視認性向上	高コントラストのテーマ 高コントラストのテーマを設定します。
	高コントラストフォント フォントの色および輪郭を調整します。
	高コントラストキーボード Galaxyキーボードのサイズを調整してキーボードの色を変更します。
	ボタンを強調して表示 ボタンを色付きで表示します。
	色を反転 画面の色を反転します。
	色の調整 画面表示を最適な色に調整します。
	カラーレンズ 文字が読みづらい場合、画面全体に色フィルターを追加できます。
	アニメーションを削除 アニメーションや画面の動きが気になる場合、特定の画面エフェクトを削除します。
ルーペウィンドウ	画面上のコンテンツを拡大表示します。

項目		説明
視認性向上	拡大	画面の拡大操作を設定します。
	マウス／タッチパッドポインターを拡大	マウスやタッチパッドのポインターを大きくします。
	文字サイズとフォントスタイル	文字サイズやフォントスタイルなどを変更できます。
	画面のズーム	画面のズームを変更できます。
聴覚補助	補聴器サポート	補聴器を使用している時に、聞こえやすくするために音質を向上させます。
	周囲の音に合わせて音声を増幅	周囲の音に合わせて音声を増幅します。この機能を使用するには、イヤホンを接続してください。
	Adapt Sound	音質の最適化を行います。
	左右のサウンドバランス	イヤホンを使用して音楽を聴くときの左右のサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	モノラルイヤホンで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	全ての音を消音	受話音声を含む、すべての音を消音に設定します。
	音声文字変換	会話や音声をリアルタイムでテキストに変換して表示します。 ・音声文字変換を利用するには、音声文字変換アプリのインストールおよび設定が必要です。
	自動字幕起こし	メディアの音声を検出して自動的に字幕を生成します。英語のみに対応しています。
	字幕設定	字幕の表示方法を設定・確認します。
	音を検出して通知	ドアチャイムまたは赤ちゃんの泣き声を端末が検出したときに通知します。
制御と操作	ユニバーサルスイッチ	カスタマイズしたスイッチで本端末を操作します。
	アシスタントメニュー	ハードキーやジェスチャーなどの一般的な操作のかわりに、アクセスしやすいボタンのメニューを表示します。

項目		説明
制御と操作	通話応答／終了	かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、⏏(サイドキー)を押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。 ・「サイドキーを押して通話終了」がONの状態では、通話中にスリープモードになった場合は、⏏(サイドキー)を押してスリープモードを解除してから⏏(サイドキー)を押すと通話を終了できます。
	入力操作制御	タッチ操作をブロックする範囲などを設定します。 ・本機能を有効にして動作を設定するには、⏏(サイドキー)と音量UPキーを同時に長押しし、画面の指示に従って操作してください。 ・本機能を有効にすると、「自動回転」(P.35)が自動的にOFFになります。
	長押しの認識時間	画面がロングタッチを感知する時間を設定します。
	タップの認識時間	入力操作がタップとして認識されるまでの時間を設定します。
	繰り返しのタッチを無効化	タッチの繰り返しのタッチを無効にする時間を設定します。
	ポインター停止後にクリック	マウス使用時などにポインターが停止したら自動的にクリック操作とみなすかどうかを設定します。
	固定キー	Shift、Ctrl、Altなどのキーを押すと、そのキーが押されたままになります。
	スローキー	キーを誤って押さないように、キーを押し続けたとき、押したと認識されるまでの時間を設定します。
	バウンスキー	同じキーを誤って複数回押さないように、同じキーを2回押したと認識されるまでの時間を設定します。

項目	説明
詳細設定	サイドキーと音量アップキー ∅ (サイドキー) と音量UPキーを同時に押し て起動する機能を設定します。
	音量アップキーと 音量ダウンキー 音量UPキーと音量DOWNキーを同時に長押 して起動する機能を設定します。
	フラッシュ通知 通知を受信したときや、アラームが鳴った ときにカメラのライトまたは画面が点滅し ます。
	通知リマインダー アプリやサービスからの通知に関する定期 的なリマインダーについて設定します。
	画面に表示される 時間 操作の実行を求めるメッセージを表示する 時間を設定します。
	ボイスラベル NFCタグに音声録音を書き込み、周囲の対 象物に関する情報を提供します。
	ユーザー補助用 Bixby Vision テキストの読み上げ、風景の説明、色の検 出などのモードを追加できます。
インストール済みのサービス	インストール済みのサービスを設定します。
ユーザー補助について	ユーザー補助のバージョン、法定情報、オー プンソースライセンスが確認できます。
お問い合わせ	Galaxy Membersを利用できます。

お知らせ

- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。
- ホーム画面が docomo LIVE UX のときに、「Voice Assistant」が正常に動作しないことがあります。

ソフトウェア更新

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ソフトウェア更新」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
ダウンロードおよびインストール	→ P.151
Wi-Fi 接続時に自動ダウンロード	→ P.151
最終更新	ソフトウェアの更新状態を表示します。

ヒント

新機能やスマートな活用法を確認します。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ヒント」

2 項目をタップ

- ・画面の指示に従って各項目を確認します。

端末情報

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「端末情報」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
デバイス名称	本端末の名称を確認／変更します。 電話番号、モデル番号、シリアル番号、IMEIが表示されます。
ステータス	SIMカードの状態やIMEI情報などを表示します。
法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認します。
認証情報	本端末の認証情報を表示します。
ソフトウェア情報	Androidのバージョンなどを確認します。
バッテリー情報	本端末のバッテリー残量などを表示します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「端末情報」

- ・「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時に、内部ストレージ（/storage/emulated/0）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- ・ 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画や表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	画像データなどを保存します。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Ringtones	着信音として設定したい音楽データなどを保存します。
Samsung	Galaxy 関連サイトから取得したデータが保存されます。

microSD カード（外部ストレージ）

本端末は microSD カードを取り付けて使用することができます。

- ・ 本端末で利用できる microSD カードの詳細については「microSD カード」（P.25）をご参照ください。
- ・ microSD カードの取り付け／取り外し方については「microSD カードを取り付ける」（P.26）と「microSD カードを取り外す」（P.27）をご参照ください。

ファイル操作

フォルダやファイルの操作

「マイファイル」を利用して、本端末や microSD カードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

- ・ フォルダによっては、名前の変更や削除などの操作ができないものがあります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
 - ・ フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、メニューなどの項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 3 利用したいファイルをタップ
 - ・ ファイルが表示／再生されます。

ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 項目をタップ
- 3 ショートカットを作成したいフォルダ／ファイルをロングタッチ → ： → 「ショートカットを作成」→「ホーム画面」／「マイファイル」
 - ・ 「ホーム画面」を選択したときは、「作成する」をタップします。

マイファイルのメイン画面のショートカットを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 ： → 「ショートカットを管理」→ 削除したいショートカットを選択 → 「ショートカットを削除」

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 カテゴリ内以外の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 ： → 「フォルダ作成」→ フォルダ名を入力 → 「作成」

フォルダやファイルの名前を変更する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 名前を変更したいフォルダ／ファイルをロングタッチ → ⋮ → 「名前を変更」→ 名前を入力 → 「名前を変更」

フォルダやファイルを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 削除したいフォルダ／ファイルをロングタッチ → 「削除」→ 「削除」
 - ・「ごみ箱」をONに設定している場合は、「ごみ箱に移動」をタップします。

フォルダやファイルを移動／コピーする

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「マイファイル」
- 2 項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 移動／コピーしたいフォルダ／ファイルをロングタッチ → 「移動」／「コピー」
- 4 移動先／コピー先のフォルダを選択 → 「ここに移動」／「ここにコピー」

マイファイルのメニュー

マイファイルのメイン画面、フォルダ／ファイル一覧画面で ⋮ をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

データ検索

- 1 マイファイルのメイン画面、フォルダ／ファイル一覧画面で Q
- 2 ファイル名や拡張子などを入力
 - ・ 検索されたファイルが一覧表示されます。
 - ・ ファイルタイプからファイルを検索することもできます。

お知らせ

- ・ マイファイルの画面で「ストレージを分析」をタップすると、本端末のメモリ使用状況を確認できます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P.153)をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
 2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

- Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）が必要です。Bluetoothデバイスによっては、入力する必要があります。
- ・本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Bluetooth」
- 2 

お知らせ

- ・Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- ・Bluetooth機能のON / OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- ・Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。
- ・Bluetoothデバイスによって、ペアリング時にパスコード（PIN）の入力が必要な場合があります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Bluetooth」
- 2 

- ・検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- ・Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスキーを確認 →「OK」

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップします。

ペアリングを解除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「Bluetooth」
- 2 ペアリングを解除したいデバイスの  →「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」

- ステータスバーに  が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「ファイルを受信」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

NFC通信

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能（R / W）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したりすることができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」（P.96）をご参照ください。

NFCのReader/Writer, P2PをONにする

NFCタグの読み取り／書き込みをするには、Reader/Writer, P2P機能をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「NFC / おサイフケータイ 設定」→「Reader/Writer, P2P」の 

お知らせ

- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- NFC / おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Reader/Writer, P2Pを利用できません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

外部機器接続

パソコンとの接続

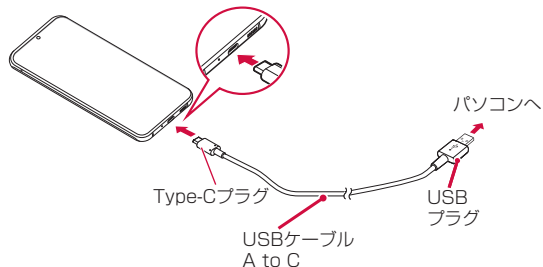
USBケーブル A to Cで接続する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売）で接続すると、パソコン用 Galaxy Smart Switch（P.137）とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識させたりできます。

- 接続可能なOSは、Windows 8.1、Windows 10、Mac OS X10.5以降です。

1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to CのType-Cプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続

- USBプラグとType-Cプラグは、水平に差し込みます。



2 通知パネルを開く → 「USBをファイル転送に使用」

- 本端末上に設定画面が表示されます。

項目	説明
ファイルを転送／Android Auto	本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。
USB デザリング	→ P.109
MIDI	本端末をMIDIプレーヤーまたは、MIDI対応機器の入力ソースとして使用します。
画像を転送	本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。 MTP 非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。
端末の充電のみ	充電のみ行います。

お知らせ

- USB ケーブル A to CのUSB プラグはパソコンのUSB コネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB 延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データを転送中にUSB ケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 「USBを制御するデバイス」で「接続デバイス」を選択すると、本端末に接続されたデバイスに給電できます。接続するデバイスによっては給電できない場合があります。

Galaxy Smart Switchを利用する

Galaxy Smart Switchを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

ご自分が所有または譲渡する権利を持つコンテンツのみ転送してください。

著作権法の侵害について Samsung Electronics Co., Ltd. は責任を負いかねます。

- パソコン用 Galaxy Smart Switch は Galaxy Smart Switch のホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。ご利用時の注意事項や詳細については、下記の Galaxy Smart Switch ホームページをご覧ください。

<https://www.galaxymobile.jp/apps/smart-switch/>

お知らせ

- データ移行用試供品を使って接続する方法については、別紙「データ移行用試供品取扱説明書」を参照ください。

パソコンと接続して Smart Switch を起動する

1 本端末とパソコンを USB ケーブル A to C で接続 (P.136)

2 パソコンで「Smart Switch」を起動

- 画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- データを転送中に USB ケーブル A to C を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- データを転送する前に十分にバッテリー容量があることを確認してください。

Wi-Fi Direct で接続して Smart Switch を起動する

Wi-Fi Direct で接続することで、ワイヤレスでデータを移行することができます。

例：以前の端末からデータを移行する

1 以前の端末の Smart Switch を起動する

- アプリがインストールされていない場合は、Play ストアや Galaxy Store からダウンロードしてください。

2 本端末のホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「Smart Switch」

3 「データを受信」→ 古い端末の種類を選択 → 「ワイヤレス」

- 選択した端末によって表示される文言が異なる場合があります。

4 画面の指示に従って操作

Windows と連携する

Microsoft アカウントを利用して、本端末に保存された写真やメッセージなどをパソコンから確認できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「便利な機能」

2 「Windows にリンク」

- Microsoft アカウントでサインインし、画面の指示に従って操作してください。

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。
- 使用するプリンターに接続するには、あらかじめプリンターのプラグインをインストールしておく必要があります。プラグインをインストールするには、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「印刷」→「プラグインをダウンロード」をタップして、画面の指示に従って設定してください。

プリンターで印刷する

1 印刷可能なアプリの画面で ⓘ →「印刷」

- 画面の指示に従って操作してください。
- 印刷する手順はアプリによって異なります。

その他の機器との接続

Smart Viewを利用する

本端末とScreen Mirroring対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに本端末の画面やコンテンツを表示します。

1 通知パネルを開く

2

3 検出されたScreen Mirroring対応機器をタップ

- Screen Mirroring対応機器と切断するには、通知パネル → 「Smart View」をタップしてください。

お知らせ

- Screen Mirroringを使った映像送信はトランスコードして送信するため、画像劣化が発生することがあります。

DeXを利用する

本端末とモニターなどをつないで、本端末をパソコンの様に利用できます。DeXを利用するには、別途アダプタなどが必要です。詳細はGalaxyのホームページをご確認ください。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■ 対応ネットワークについて

本端末は、LTE ネットワーク、3G ネットワークおよび GSM / GPRS ネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz / GSM850MHz に対応した国・地域でもご利用になれます。

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

(○：利用可能)

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定を ON にしてください (P.140)。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます (P.43)。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

- **ご契約について**
 - ・ WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **充電について**
 - ・ 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。
- **料金について**
 - ・ 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
 - ・ ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

- **ネットワークサービスの設定について**

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になります。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

 - ・ 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」の設定を行うこともできます。日本国内から（P.66）、海外から（P.143）
 - ・ 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国内の確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

- **接続について**

「通信事業者」の設定を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

■ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」

- 2 「データローミング」→ 注意画面の内容を確認して「OK」

■ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「通信事業者」→「自動選択」→ 
 - ・ 利用可能なネットワークが表示されます。
 - ・ 確認画面が表示された場合は「OK」をタップします。
 - ・ ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をOFFにして再度実行してください（P.108）。

- 2 通信事業者のネットワークを選択

お知らせ

- ・ 手順1で、「自動選択」をONにすると、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定を戻せます。

■ ネットワークモードの設定

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

- 2 「5G／4G／3G／GSM(自動接続)」／「4G／3G／GSM(自動接続)」／「3G／GSM(自動接続)」／「GSMのみ」

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」がONになっている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- ・ 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- ・ 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- ・ 「日付と時刻」（P.127）

■ お問い合わせについて

- ・本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- ・一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- ・先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- ・接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

2 +（「0」をロングタッチ）→ 国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- ・地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- ・電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- ・ビデオコールを発信する場合は、 をタップします。

4 通話が終了したら

お知らせ

- ・ビデオコールの詳細については、「電話をかける」（P.60）をご参照ください。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- ・あらかじめ国際ダイヤルアシストの電話番号自動変換機能をONに設定する必要があります (P.143)。
- ・地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で

2 地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

3

- ・国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「発信」をタップします。

4 通話が終了したら

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で

2 電話番号を入力

- ・一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3

- ・「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は「元の番号で発信」をタップします。

4 通話が終了したら

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- ・滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本への国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいたときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- ・国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいたときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で  →  → 「設定」 → 「海外設定」

2 必要に応じて設定を変更する

項目	説明
ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイドンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。
国際ダイヤルアシスト	→ P.143
ネットワークサービス	→ P.143

■ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で  →  → 「設定」 → 「海外設定」

2 「国際ダイヤルアシスト」

3 項目を選択

項目	説明
電話番号自動変換	国番号と国際プレフィックスを自動的に電話番号に追加します。
国番号:	自動変換機能で使用する国番号を選択します。
国際プレフィックス	自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

■ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始する必要があります（P.66）。
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で  →  → 「設定」 → 「海外設定」

2 「ネットワークサービス」→ 目的のサービスを選択

項目	説明
遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイドンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	→ P.143
ローミングガイドンス（有料）	→ P.143
留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイドンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

- ・「データローミング」(P.140)を「OFF」に設定してください。

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ・「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「5G / 4G / 3G / GSM (自動接続)」に設定してください (P.140)。
- ・「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定してください (P.140)。

付録

試供品

AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C)

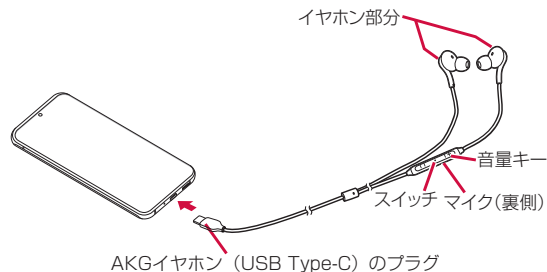
試供品のAKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) は、本端末専用のデジタル出力に対応しています。他の機器には対応しておりません。他のオーディオ出力のイヤホンや他社のイヤホンは本端末に対応しない場合があります。

- AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) を接続すると、スイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

ご使用方法

1 AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) のプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に差し込む

- ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
 - 音楽の再生／一時停止
 - 電話を受ける／終了する
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) のコードが本人や周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。



- 使い終わったら、プラグを本端末のUSB Type-C接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤホンチップのサイズが合わないときは

AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C) には、あらかじめ取り付けられているイヤホンチップ以外に、予備のイヤホンチップが2種類付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

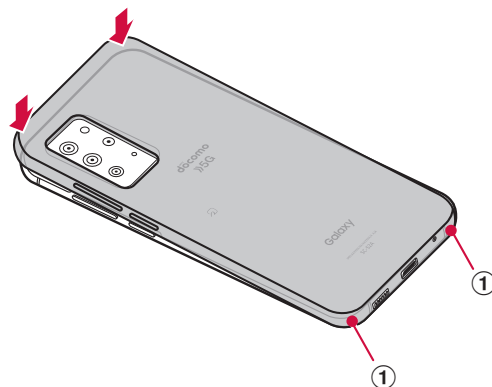
クリアケース

- クリアケースの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手で持って行ってください。また、指や手で〇(サイドキー)、音量UPキー／音量DOWNキーを押さないようにご注意ください。

ご使用方法

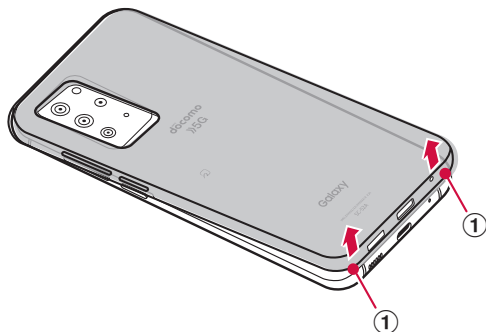
■ クリアケースを取り付ける

- 1 クリアケースの①の部分の本端末に引っ掛けて、矢印の向きにクリアケースを取り付ける



■ クリアケースを取り外す

- 1 クリアケースの①の部分に指先をかけて、矢印の向きに下からクリアケースを取り外す



トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- ・ 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ・ ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.150)。
- ・ 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	・ 電池切れになっていませんか。→ P.29
画面が動かない、電源が切れない	・ 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に 〇 (サイドキー) と音量DOWNキーを7～8秒間押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

□ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	・ アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリースocketに正しく差し込まれていますか。 ・ アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 ・ ACアダプタ (別売) をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→ P.29 ・ USBケーブル A to C 02 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながらアプリを長時間使用した場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	- 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。 - 複数のアプリを起動していませんか。使用していないアプリを終了してください。→ P.44 - Bluetooth 機能を使用していないときは、設定を OFF にしてください。→ P.134
タッチスクリーンをタップしても動作しない	画面ロックが設定されていませんか。Ⓜ(サイドキー)を押して画面ロックを解除してください。→ P.31、P.115
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末と microSD カードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 - 保護シートが貼られていますか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。
ドコモ nanoUIM カードが認識されない	ドコモ nanoUIM カードを正しい向きで挿入していますか。→ P.23
時計がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→ P.127

症状	チェック項目
端末動作が不安定	- お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 - セーフモードの起動方法 電源が OFF の状態から Ⓜ(サイドキー) を 2 秒以上押し、docomo ロゴが表示された状態から、音量 DOWN キーを押し続けてください。 電源を入れている状態では、Ⓜ(サイドキー) を 1 秒以上押し → 「電源 OFF」をロングタッチ → 「セーフモード」をタップしてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	本端末のメモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。→ P.125
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」(P.128)を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.126

□ 通話

症状	チェック項目
電話発信キーをタップしても発信できない	・ドコモ nanoUIM カードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.23 ・機内モードを設定していませんか。機内モードを無効にしてから再度操作してください。→ P.107
着信音が鳴らない	・「音量」を最小にしていませんか。→ P.111 ・「着信音」を「サイレント」にしていませんか。→ P.111 ・マナーモード（バイブ、サイレント）に設定していませんか。→ P.111 ・「番号指定拒否」を設定していませんか。→ P.66 ・機内モードに設定していませんか。→ P.107 ・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→ P.66 ・伝言メモの応答時間を「0秒」に設定していませんか。→ P.65
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、ドコモ nanoUIM カードを取り付け直してください。→ P.31、P.23 ・電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・「番号指定拒否」を設定していませんか。→ P.66 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ネットワークに接続できない	・電波の弱い場所で使用していませんか。 ・本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.31

□ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	・「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。→ P.113 ・ディスプレイの明るさを調整していませんか。→ P.113 ・パワーモードを省電力モードに設定していませんか。→ P.125 ・電池残量が少なくなっていないですか。→ P.131

□ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	・通話音量を変更していませんか。→ P.64

□ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	・「連絡先の同期」を OFF にしていませんか。ON にしてください。→ P.76

□ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
カメラを起動できない	・しばらく時間を置いてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。電池残量またはメモリの空き容量を確認してください。
録画に失敗する	・カメラアプリを終了し、アプリを再起動してください。

□ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	・おまかせロックを設定すると、NFC / おサイフケータイロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 ・NFC / おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.96 ・本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.96

□ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	■ アンテナマークが表示されている場合 ・ WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 ■ 圏外が表示されている場合 ・ 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。 ・ ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。「ネットワークモード」を「5G / 4G / 3G / GSM (自動接続)」に設定してください。→ P.140 ・ 「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。→ P.140 ・ 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.31
海外でデータ通信ができない	・ 「データローミング」をONにしてください。→ P.140
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	・ 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	・ 「ローミング時着信規制」をONに設定していませんか。→ P.143
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

□ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	・ microSDカードをマウントしてください。→ P.125 ・ microSDカードを取り付け直してください。→ P.26
画像が表示されない	・ 画像データが壊れている場合は  が表示されることがあります。
本端末をパソコンに接続しても動作しない	・ Galaxy Smart SwitchまたはWindows Media Player 12以上をパソコンにインストールしてください。

□ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	・ Bluetoothデバイス (市販品) 側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

□ 地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	・ 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.28、P.122 ・ 「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→ P.122

エラーメッセージ

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXXは停止しました。 ／プロセスXXXXは停止 しました。*	本端末や機能にエラーが発生したときに表示 されます。「強制終了」／「OK」をタップし てから再度操作してください。	－
モバイルネットワークは 利用できません。	ドコモ nanoUIM カードが正しく取り付けられ ていません。ドコモ nanoUIM カードが正しく 取り付けられていることを確認してください。	P.23
音声通話サービス停止 携帯通信会社によって一 時的にOFF にされてい ます	通話・通信回線においてアクセスが集中してい るため、通信規制がかかっているときに表示さ れます。規制が解除されてから再度操作してく ださい。	－
ビデオコールへの切り替 え要求に失敗しました。	ビデオコールへの切り替えができない場合に表 示されます。緊急通報中や音声ガイド中、 通話相手がキャッチホンを使用している場合、 サービスエリアの圏外で通話している場合など は、切り替えができません。	P.63
音声通話への切り替え要 求に失敗しました。	通信エラーなどにより、ビデオコールから音声 通話への切り替えができない場合に表示されま す。しばらく時間をおいてから操作をやり直し てください。	P.64
発信できませんでした	ビデオコールの発信ができない場合に表示され ます。サービスエリア圏内であることや、通話 モード設定、モバイルネットワークの設定など を確認してください。	P.60
ブラウズは停止しまし た。	ブラウズにエラーが発生したときに表示され ます。「OK」をタップし、しばらく時間をお いてから操作をやり直してください。	P.79

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

インターネット上のダウンロードサイトから本端末のアップデートファイルをダウン
ロードし、ソフトウェアのアップデートを行います。ソフトウェアアップデートには、
本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールしたパソ
コン用 Galaxy Smart Switch (P.137) を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェアアップデートについての注意事項

ソフトウェアアップデートは本端末に保存されているデータを残したまま行うことが
できますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保
護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデー
タは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアッ
プが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・ ソフトウェアアップデートの前に以下の準備を行ってください。
 - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する (P.44)
 - 本端末を充電 (P.28) し、電池残量を十分な状態にする
- ・ 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェアアップデートを行う場合は、電
波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場
合には、ソフトウェアアップデートを中断することがあります。
- ・ ソフトウェアアップデート（ダウンロード、アップデートファイルのインストール）
には時間がかかる場合があります。
- ・ ソフトウェアアップデートファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべ
ての機能を利用できません。
- ・ 国際ローミング中にアップデートを行う場合は、Wi-Fi 接続（ドコモ nanoUIM カ
ード未挿入）で行ってください。
- ・ ソフトウェアアップデートに失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、
大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いい
たします。

本端末だけでアップデートする

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアをアップデートできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ソフトウェア更新」→「ダウンロードおよびインストール」

- ・Wi-Fi接続時にソフトウェア更新を自動的にダウンロードする場合は、「Wi-Fi接続時に自動ダウンロード」をONにします。

2 画面の指示に従って操作

- ・アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、本端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ・ソフトウェアをダウンロードした後、インストール続行の確認画面で「設置予約」をタップすると、インストールの実行を延期できます。
延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。
- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「ソフトウェア更新」→「ダウンロードおよびインストール」→「今すぐインストール」
- 通知パネルを開く → 「ソフトウェア更新」→「今すぐインストール」
- ・アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。
- ・更新のダウンロードに失敗した場合は、しばらく時間をおいてから再度やり直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・AKG チューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）、イヤホンチップ、SIM取り出しツール、USBケーブル（C to C）、クリアケースは無料修理保証の対象外となります。
- ・AKG チューニングマイク付き高音質イヤホン（USB Type-C）、イヤホンチップ、SIM取り出しツール、USBケーブル（C to C）、クリアケースは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- ・本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

無料修理規定

- 1 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
- 2 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
- 3 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- 4 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 5 お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。

- 6 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
- 7 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧くださいとお調べください。

それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承ください。また、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
 - 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - 〉ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 〉接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 〉外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- ・本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ・ドコモ nanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- ・あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ・一部サポート対象外の操作・設定があります。
- ・あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

■ オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

ドコモの携帯電話からの場合：（局番なしの）15710（無料）

一般電話などからの場合：☎ 0120-783-360

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」→「電話で問い合わせる」→📞をタップします。

・アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択してください。

2 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

3 「接続画面に進む」→「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力し、「開始」をタップ

5 接続後、遠隔サポートを開始

あんしん遠隔サポートで契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※ LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

■ Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

2 「Q&Aサイト／アプリで調べる」

■ LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

2 「LINEで問い合わせる」

主な仕様

□ 本体

品名		SC-52A	
サイズ		高さ：約162mm、幅：約74mm、 厚さ：約7.8mm（最厚部：約9.1mm）	
重量		約186g	
ディスプレイ	サイズ	約6.7インチ	
	種類	Dynamic AMOLED（有機EL）	
	解像度（ピクセル数 横×縦）	Quad HD+（1440×3200）	
	発色数	16,777,216色	
内蔵メモリ		RAM：12GB ROM：128GB*1	
バッテリー容量		4500mAh	
連続待受時間 （静止時）*2		4G（LTE）	約360時間
連続通 話時間 *3	4G （LTE）	LTE（VoLTE）	約1590分
		LTE（VoLTE（HD+））	約1590分
		LTE（VoLTE：ピデ オコール）	約480分
充電時間		ACアダプタ 07：約95分*4	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠 （IEEE802.11n/ax対応周波数帯： 2.4GHz/5GHz）	
	MIMO対応	○（2x2MIMO）	
	MU-MIMO（クライ アント）対応	○	
	MIMO対応規格	IEEE802.11n（2.4GHz/5GHz） IEEE802.11ac IEEE802.11ax（2.4GHz/5GHz）	
	MU-MIMO（クライ アント）対応規格	IEEE802.11ac/ax	

Bluetooth機能	バージョン ^{※5}		5.0
	出力		Power Class 1
	対応プロファイル ^{※6} ／コーデック		HFP (mSBC：16kHz／RVP) (1.7)、HSP (1.2)、OPP (1.2)、SPP (1.2)、HID (1.0)、A2DP (aptX／SBC／AAC／LDAC) (1.3)、AVRCP (1.4)、PBAP (1.2)、PAN (PAN-NAP／PANU) (1.0)、SAP (1.1)、HOGP (1.0)、MAP (1.2)、DI (1.3)
カメラ	撮像素子	種類	広角カメラ：裏面照射型CMOS 超広角カメラ：裏面照射型CMOS 望遠カメラ：裏面照射型CMOS フロントカメラ：裏面照射型CMOS
		サイズ	広角カメラ：1/1.7 インチ 超広角カメラ：1/2.5 インチ 望遠カメラ：1/1.7 インチ フロントカメラ：1/3.2 インチ
	有効画素数		広角カメラ：約1200万画素 超広角カメラ：約1200万画素 望遠カメラ：約6400万画素 フロントカメラ：約1000万画素
	記録画素数		広角カメラ：約1200万画素 超広角カメラ：約1200万画素 望遠カメラ：約6400万画素 フロントカメラ：約1000万画素
	記録ファイル形式	動画	MP4
		静止画	JPEG、DNG、AGIF、HEIF
	動画1件あたりの最大録画時間		約33分 ^{※7}
	デジタルズーム	動画	アウトカメラ：最大約4.0倍 インカメラ：－
		静止画	アウトカメラ：最大約10.0倍 インカメラ：－

カメラ	光学ズーム	動画	アウトカメラ：最大約3.0倍 インカメラ：－
		静止画	アウトカメラ：最大約3.0倍 インカメラ：－
	デジタルズーム×光学ズーム	動画	アウトカメラ：最大約12.0倍 インカメラ：－
		静止画	アウトカメラ：最大約30.0倍 インカメラ：－
動画再生	対応コーデック		H.263、H.264(AVC)、MPEG4、VC-1、MP43、WMV7、WMV8、VP8、VP9、H.265(HEVC)、AV1
音楽再生	対応コーデック		MP3、AMR-NB/WB、AAC/ AAC+/ eAAC+、WMA、Vorbis、FLAC、Opus、APE、DSD、AC3、E-AC3、AC4
マルチリンガル機能	表示言語		日本語／英語／韓国語／中国語／ポルトガル語／ベトナム語
	入力言語		日本語／英語／韓国語
伝言メモ	保存可能件数		制限なし ^{※8}
	1件あたりの最大録音可能時間		最大13時間

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.125)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 「超急速充電」をONにした際の数値です。ホーム画面で「アプリフォルダ」→「設定」→「デバイスケア」→「バッテリー」→「充電」→「超急速充電」で設定できます。
- ※5 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※6 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※7 ビデオ解像度が1920 × 1080 (FHD) の場合の撮影時間です。
- ※8 最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

携帯電話機の電波防護への適合性について

携帯電話機の電波防護への適合性

この機種【SC-52A】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）を遵守するように設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部において最大値：0.689 W/kg（SAR）（※2）、身体に装着した場合において最大値：0.870（総合照射比）（※3）となっています（※4）。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリーをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ
<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

Galaxyのホームページ（※5）
<https://www.samsung.com/sar/sarMain.do>
→ LOCATION欄で「JAPAN」→ Phone Model欄で「SC-52A」を入力 → 「GO」

- ※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
- ※2 5G/LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※3 5G/LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、身体装着時：SAR 0.569 W/kg、PD 1.17 mW/cm²です。
- ※5 総合照射比を算出するために使用したSAR値とホームページに掲載のSAR値は異なる場合があります。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

This model [SC-52A] mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (*1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm², respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

In this mobile phone, the highest value when tested for use near the head is 0.689 W/kg (SAR) (*2) and when worn on the body is 0.870 (TER) (*3) (*4). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:
<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

Galaxy Website⁽⁵⁾:
<https://www.samsung.com/sar/sarMain.do>
→ Select "JAPAN" from "LOCATION" → Type "SC-52A" in Phone Model field
→ "GO"

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE/FOMA.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE/FOMA.

- *4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone is SAR of 0.569W/kg and PD of 1.17 mW/cm² when worn on the body.
- *5 The SAR values used for obtaining TER for this mobile phone and the SAR values posted on Website may be different.

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) adopted by the Federal Communications Commission (FCC).

These limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 1.6 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.

The highest SAR values under the FCC guidelines for this device model are:

Head : 0.57 W/Kg

Body-worn accessory : 0.71 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.

This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 1.5 cm. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:

The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.

Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> after searching on FCC ID A3LSMG986JPN.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <https://www.ctia.org/>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.

The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for this device model are:

Head SAR : 0.288 W/Kg

Body SAR : 1.721 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.

This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 0.5 cm.

To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:

The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.

Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

Declaration of Conformity

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : Mobile Phone

Model(s) : SC-52A

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the Radio Equipment Directive (2014/53/EU) by application of:

SAFETY	EN 50360 : 2017	EN 50566 : 2017
	EN 50663 : 2017	
	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011 + A2:2013	
EMC	EN 62311 : 2008	
	Draft EN 301 489-1 V2.2.1 (03-2019)	Draft EN 301 489-52 V1.1.0 (11-2016)
	EN 301 489-17 V3.1.1 (02-2017)	EN 301 489-19 V2.1.1 (04-2019)
RADIO	EN 301 489-3 V2.1.1 (03-2019)	EN 55035 : 2017
	Draft EN 303 660 V1.1.1_0.0.6	EN 300 328 V2.1.1 (11-2016)
	EN 300 330 V2.1.1 (02-2017)	EN 300 440 V2.1.1 (03-2017)
	EN 301 511 V12.5.1 (03-2017)	EN 301 893 V2.1.1 (05-2017)
	EN 301 908-1 V11.1.1 (07-2016)	EN 301 908-13 V11.1.2 (07-2017)
	EN 301 908-2 V11.1.2 (08-2017)	EN 303 413 V1.1.1 (06-2017)
	EN 303 417 V1.1.1 (09-2017)	

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

and the Eco-Design Directive (2009/125/EC) implemented by Regulation (EC) No 1275/2008 for standby and off mode, and network standby, electric power consumption using test methods from EN 50564:2011

The Notified Body TÜV SÜD Denmark, 2443 has reviewed the technical file for the product to assess the compliance of the product with requirements of the RED 2014/53/EU and has issued the EU-type examination certificate:RED1644I01

Signed for and on behalf of : Samsung Electronics

Samsung Electronics QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK *

2020.03.27
(Place and date of issue)



Stephen Colclough / Director of Regulatory Affairs
(Name and signature of authorised person)

* This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「FOMA」「マチキャラ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「dマーケット」「dメニュー」「dフォト」「dポイント」「あんしん遠隔サポート」「my daiz」および「おサイフケータイ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「iD」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「dポイント」ロゴ、「dブックマイ本棚」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標です。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ©Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2020 All Rights Reserved.

- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
利用条件はディズニーデラックス利用規約をご覧ください。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

HEVC Advance



その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを挿入
- 2 本端末を起動
- 3 SIMロック解除コードを入力
- 4 「ロック解除」

お知らせ

- SIMロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、SIMロック解除がブロックされます。
- SIMロック解除の状態は、本端末起動時のロック画面で確認できます。

索引

索引

かな

あ

アカウント	121
削除	121
設定	121
明るさ	113
アクセスポイント	
初期化	108
設定	108
アプリ	126
アプリ画面	56
暗証番号	
PINコード	33
PINロック解除コード (PUK)	33
ネットワーク暗証番号	33
あんしん遠隔サポート	153
位置情報	97
印刷	138
インテリジェント機能	89
ウェブブラウザ	79
エッジスクリーン	52
おサイフケータイ	95
音量を調節する	111

か

海外で利用可能なサービス	139
顔認証	117

カメラ	83
カメラの設定	86
撮影画面の見かた	84
静止画の撮影	85
動画の撮影	85
画面ロックの解除方法を設定する	115
画面ロックを解除する	31
画面ロックを設定する	31
カレンダー	99
かんたんモード	113
キーボードの種類 (入力方法) を切り替える	39
機内モード	107
キャッチホン	66
ギャラリー	91
緊急速報「エリアメール」	78
緊急通報	61
クリアケース	145
公共モード (電源 OFF) 設定	66
国際電話 (WORLD CALL)	65
国際ローミング (WORLD WING)	139

さ

最近使用したアプリの一覧	44
指定した電話番号からの着信や SMS を拒否する	67
自分の電話番号を確認	131
指紋認証	118
充電	28
仕様	153
初期設定	32
スーパースローモーション	90
スクリーンキャプチャ	35
スクリーンセーバー	113
スクロール	34
ステータスバー	42
主なステータスアイコン	42
主な通知アイコン	42
ストレージ	125
スワイプ	34

静止画	
撮影	85
表示	92
設定メニュー	104
ソフトウェアアップデート	150

た

タッチスクリーン	34
タップ	34
ダブルタップ	34
着信音	
設定	111
着信拒否	62
SMSで送信する拒否理由を登録する	67
メッセージを送信	62
通知音	
設定	111
通知パネル	43
通話設定	66
通話履歴	64
ディスプレイ	113
ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える	35
データ使用量	108
電源を入れる／切る	31
伝言メモ	65
転送でんわサービス	66
電卓	102
電話帳	69
電話をかける	71
登録	69
電話を受ける	62
電話をかける	60
電話帳	71
履歴	64
動画	
再生	92
撮影	85
時計	98
アラーム	98

ストップウォッチ	99
世界時計	98
タイマー	99
ドコモ nanoUIM カード	22
PINコード	33
取り付ける	23
取り外す	24
ドコモアプリ管理	122
ドコモデータコピー	102
ドコモメール	72
ドラッグ	34
トラブルシューティング (FAQ)	146

な

内蔵電池	
充電時間	153
内蔵電池の寿命について	28
連続通話時間	153
連続待受時間	153
ナビゲーションバー	35

は

パイプの 패턴を設定	111
パソコンとの接続	
USBケーブル A to Cで接続	136
発信者番号通知	66
パワーモード	125
比吸収率 (SAR)	155
ビデオコール	
通話中の画面	63
ピンチアウト	35
ピンチイン	35
フリック	34
分割画面表示	45
便利な機能	37
ボイスレコーダー	101
防水／防塵性能	18

ホーム画面のバックアップと復元	50
バックアップ	50
復元	50
ホーム画面の見かた	46
保留	64

ま

マイファイル	132
マイマガジン	50
マチキャラ表示	48
マナーモード	111
メール	72
Eメール	75
Gmail	77
ドコモメール	72
+メッセージ	72
文字入力	39
切り取り	40
コピー	40
設定	41
貼り付け	40

ら

留守番電話サービス	66
ロック画面	31
ロングタッチ	34

英数字

ACアダプタ	29
充電	29
AKGチューニングマイク付き高音質イヤホン (USB Type-C)	145
Always On Display	38
AR手描き	90
Bixby Vision	88
Bluetooth	134
docomo LIVE UX	46

きせかえ	48
dマーケット	93
dメニュー	93
Eメール	75
アカウントを設定	75
作成して送信	75
受信	76
設定	76
Galaxy Notes	100
Galaxy Pass	119
Galaxy Smart Switch	137
Galaxy Store	94
Galaxy アカウント	32
Galaxy キーボード	39
キーボードの種類	39
ワイルドカード予測	40
Gmail	77
Google Play	94
Google マップ	98
経路を検索	98
GPS	97
microSD カード	25
初期化	28
取り付ける	26
取り外す	27
NFC / おサイフケータイ 設定	107
One UI ホーム	54
Play ストア	94
S Health	103
SIM カードロック設定	33
SIM ロック解除	160
Smart Switch	137
Smart View	138
sp モード	108
VPN	110
Wi-Fi	105
WORLD CALL	65

記号

+メッセージ.....	72
スレッドを削除.....	74
設定.....	74
メッセージを削除.....	74
メッセージを送信.....	73
メッセージを転送.....	74
メッセージを読む.....	74

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.66）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.111）

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（バイブ、サイレント）（P.111）

キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.66）、転送でんわサービス（P.66）などのオプションサービスが利用できます。

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー → My docomo（お客様サポート）

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にならない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID / パスワード」が必要です。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

モバイルリサイクルネットワーク
各ドコモショップにて実施

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)
※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00 ～ 午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにて近頃のドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600 (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)
※ 「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600 (有料)

※ 日本向け通話料がかかります。
※ 国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)
※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

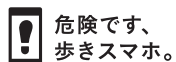
受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

■ Galaxy カスタマーサポートセンター

<https://www.galaxymobile.jp/support/>

- 試供品については、本書内でご確認ください。



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃



Li-ion 00